

藤井寺市
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
在宅介護実態調査
結果報告書

令和5年3月
藤井寺市

目 次

I. 調査の概要	1
1 調査目的	1
2 実施要領	1
3 報告書の見方	2
II. 調査結果	3
1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	3
1 調査対象者について	3
2 からだを動かすことについて	10
3 食べることについて	20
4 毎日の生活について	24
5 地域での活動について	32
6 助け合いについて	41
7 健康について	48
8 認知症や在宅医療などについて	53
9 生活機能評価等に関する分析	55
2. 在宅介護実態調査	67
1 調査対象者について	67
2 主な介護者について	78
調 査 票	87

I. 調査の概要

1 調査目的

本調査は、令和6年度から令和8年度までの3年間を計画期間とする「第9期藤井寺市いきいき長寿プラン」策定の基礎資料として、また、今後の高齢者保健福祉事業及び介護保険事業の充実に活用することを目的として実施したものです。

2 実施要領

	調査区分	
	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	在宅介護実態調査
(1) 調査対象	令和4年11月1日現在、市内在住の要介護認定（要介護1～5）を受けていない65歳以上の方 （標本調査）	令和4年11月1日現在、市内在住の要介護認定（要支援1・2及び要介護1～5）を受けている在宅の方 （標本調査）
(2) 調査期間	令和4年12月5日（月） ～12月28日（水）	令和4年12月5日（月） ～12月28日（水）
(3) 調査方法	郵送配布・郵送回収	郵送配布・郵送回収
(4) 配布数	2,000件	1,000件
(5) 有効回収数 [有効回収率]	1,191件 [59.6%]	585件 [58.5%]

3 報告書の見方

- (1) 図表中の「n (number of case)」は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。
- (2) 回答結果の割合「%」は有効標本数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- (3) 複数回答の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- (4) 図表中に次のような表示などがある場合は、複数回答を依頼した質問を示しています。
 - ・ M A % (Multiple Answer) :
回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合
 - ・ 3 L A % (3 Limited Answer) :
回答選択肢の中からあてはまるものを3つ以内で選択する場合上記以外の場合は、特に断りがない限り、単数回答（回答選択肢の中からあてはまるものを1つだけ選択する）形式の設問です。
- (5) 図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。

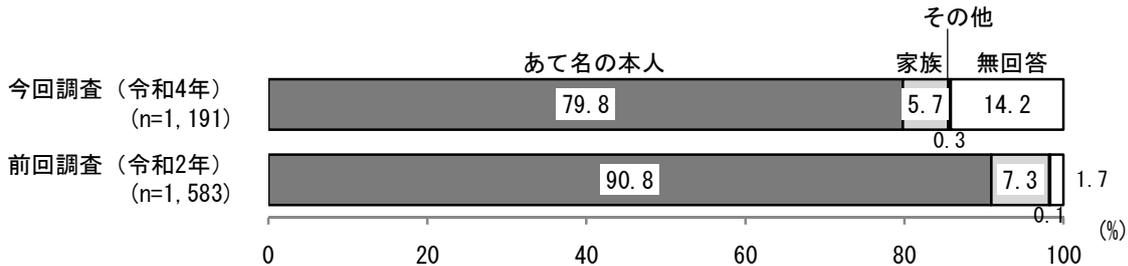
Ⅱ. 調査結果

1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

1 調査対象者について

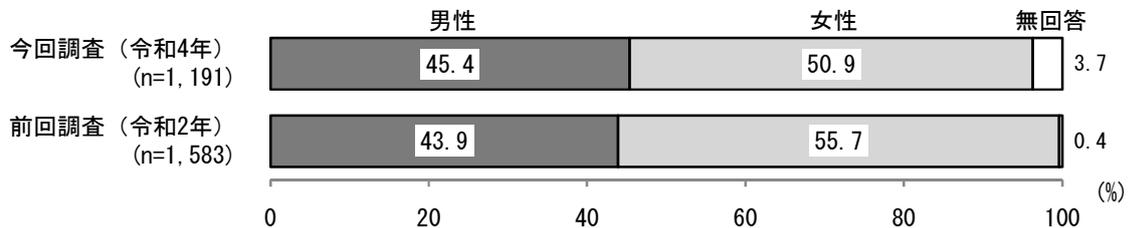
〔1〕 調査票の記入者

この調査票に記入されるのはどなたですか。(○は1つ)



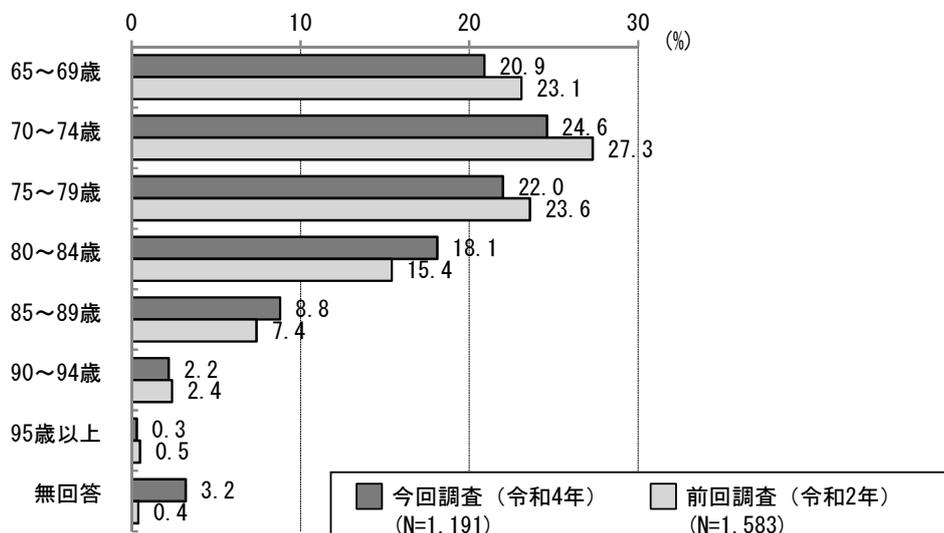
〔2〕 性別

問1：性別はどちらですか。(○は1つ)



〔3〕 年齢

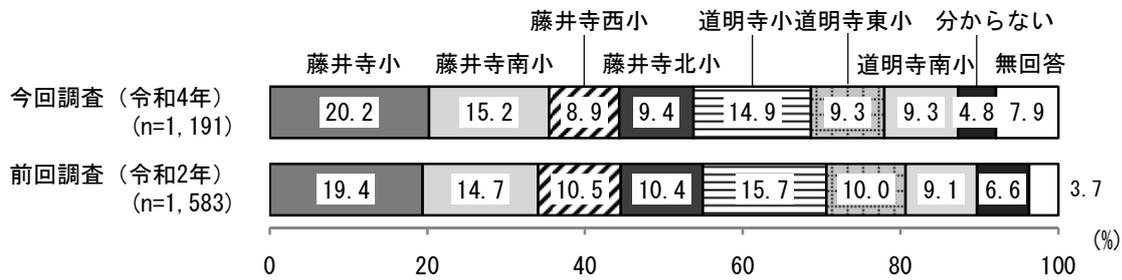
問2：令和4年11月1日現在の年齢はおいくつですか。(○は1つ)



II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

〔4〕居住する小学校区

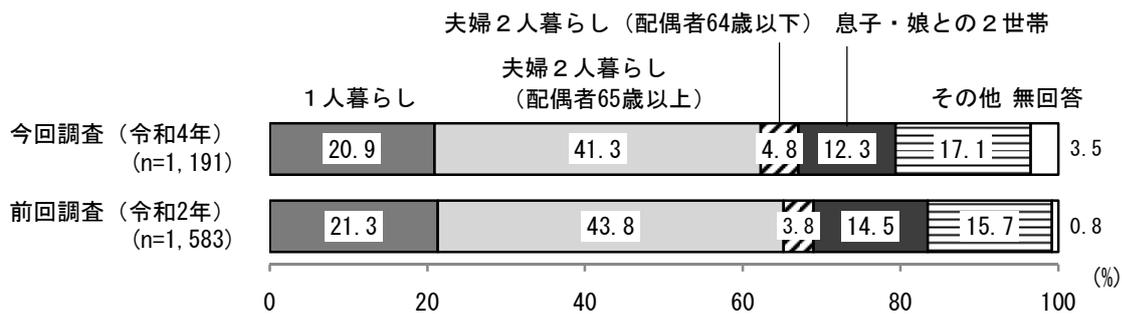
問3：お住まいの小学校区はどこですか。（○は1つ）



〔5〕家族構成

問4：家族構成はどのようになっていますか。（○は1つ）

家族構成について居住校区別にみると、「1人暮らし」の割合は、藤井寺小学校区で22.8%、道明寺小学校区で21.9%とやや多く、また、藤井寺西小学校区では「息子・娘との2世帯」が18.9%と多くなっています。



【家族構成 居住校区別】

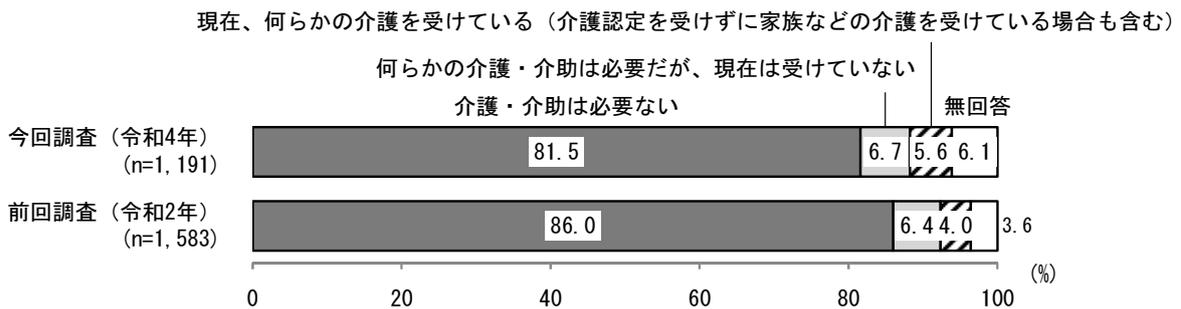
居住校区別	n	家族構成 (%)					
		1人暮らし	65歳以上夫婦2人暮らし	64歳以下夫婦2人暮らし	息子・娘との2世帯	その他	無回答
全体	1,191	20.9	41.3	4.8	12.3	17.1	3.5
居住校区別	藤井寺小	22.8	46.9	5.8	11.6	11.6	1.2
	藤井寺南小	17.7	42.0	3.3	14.9	22.1	0
	藤井寺西小	18.9	43.4	8.5	18.9	10.4	0
	藤井寺北小	14.3	46.4	6.3	9.8	23.2	0
	道明寺小	21.9	39.9	7.3	15.7	14.0	1.1
	道明寺東小	20.7	46.8	0	9.9	22.5	0
	道明寺南小	19.8	43.2	2.7	11.7	22.5	0

〔6〕 介護・介助の必要性

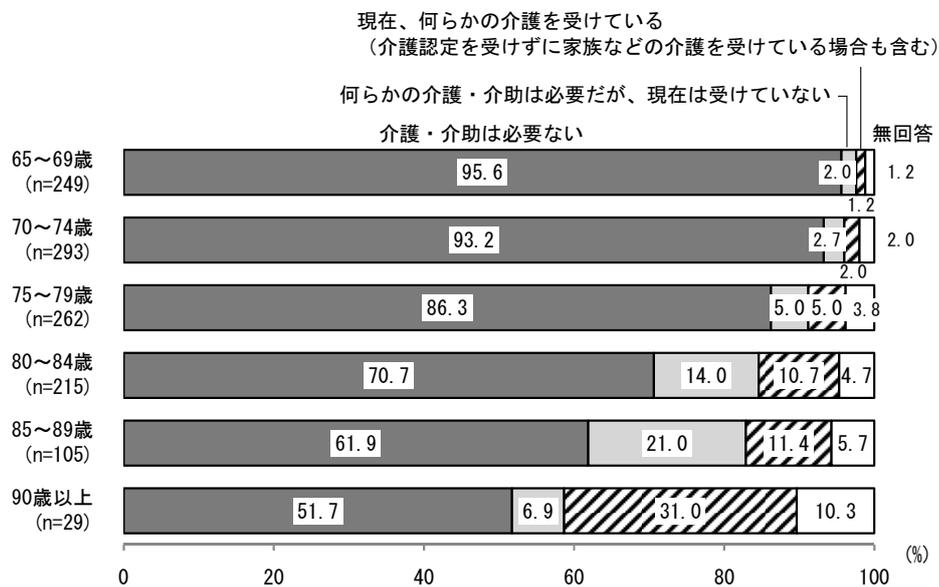
問5：あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（○は1つ）

介護・介助の必要性については、「介護・介助は必要ない」が 81.5%と最も多く、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」は 6.7%、「現在、何らかの介護を受けている」は 5.6%で、介護・介助の必要な人は合計 12.3%と、前回調査より 1.9 ポイントの増加となっています。

年齢別にみると、介護・介助の必要な人は80歳以上で増え始め、90歳以上では「現在、何らかの介護を受けている」が 31.0%となっています。



【介護・介助の必要性 年齢別】



※ 「95～99歳」、「100歳以上」は少数のため、「90歳以上」としました（以下同様）。

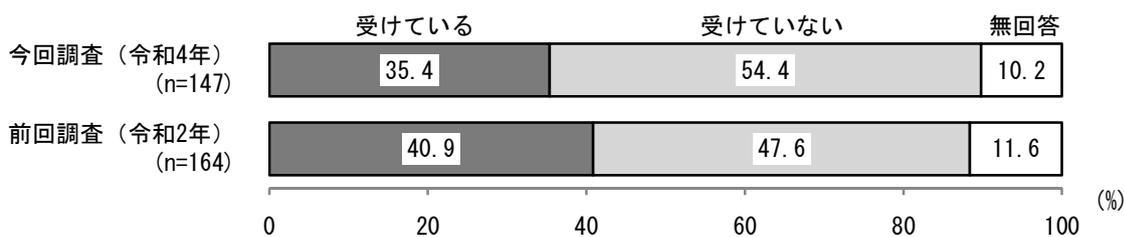
II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

〔7〕 要支援認定の有無

問5で「2」又は「3」（何らかの介護が必要）と回答された方のみ

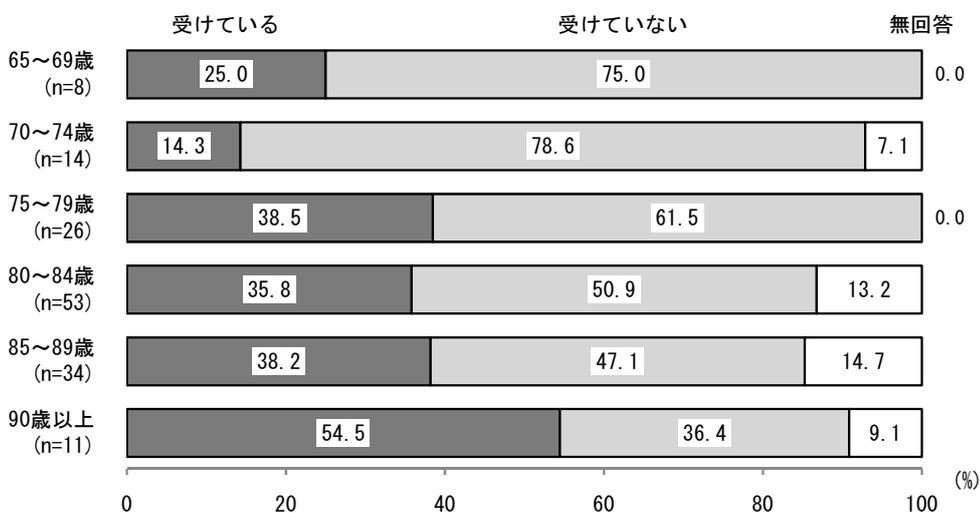
問5-1：現在、要支援認定を受けていますか。（○は1つ）

何らかの介護・介助が必要と回答された方の要支援認定の有無については、「受けている」が 35.4%、「受けていない」が 54.4%となっており、要支援認定を受けている人は、前回調査に比べて 5.5 ポイント減少しています。
年齢別にみると、75～89 歳では 4 割弱、90 歳以上では半数以上の方が要支援認定を受けています。



※前回調査は「要支援1」、「要支援2」、「総合事業の対象 (要支援以外)」、「どちらにも該当しない」の4区分。

【要支援認定の有無 年齢別】



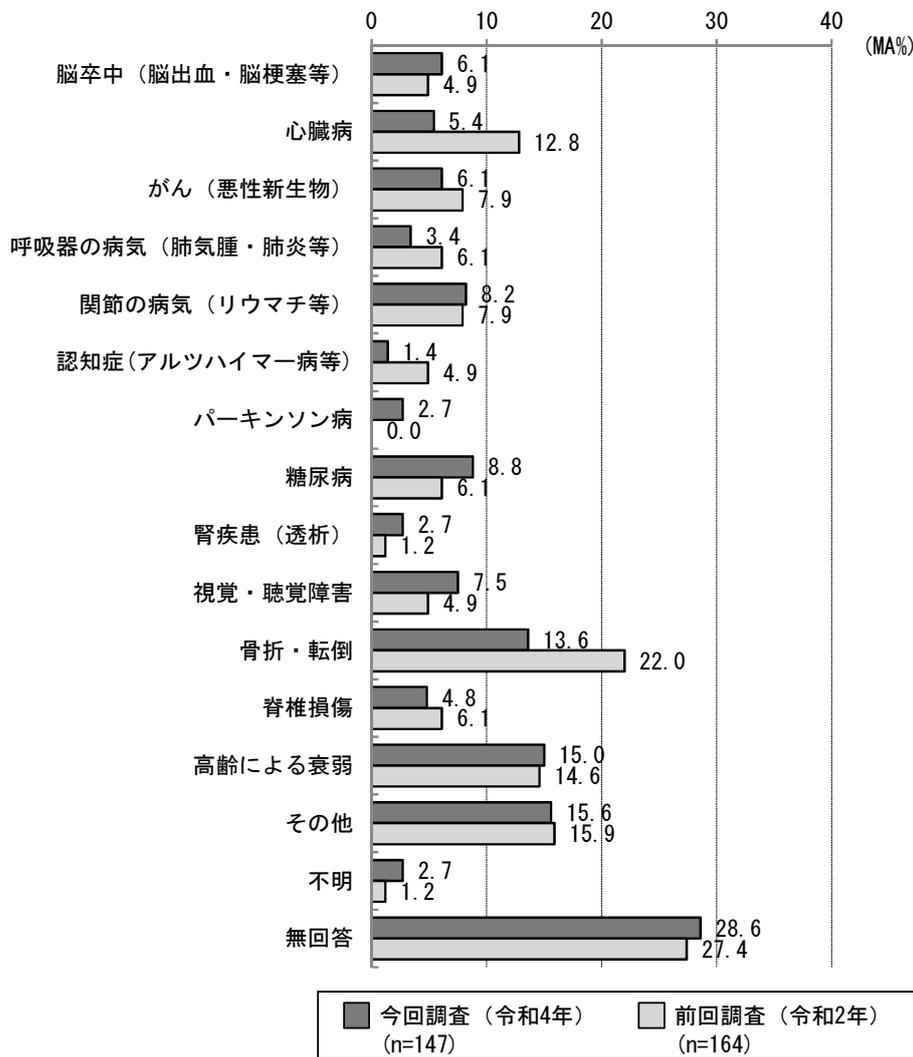
〔8〕介護・介助が必要になった主な原因

問5で「2」又は「3」（何らかの介護が必要）と回答された方のみ

問5-2：介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。（○はいくつでも）

介護・介助が必要になった主な原因は、「高齢による衰弱」が15.0%と最も多く、次いで、「骨折・転倒」が13.6%となっています。

前回調査と比較すると、「糖尿病」、「パーキンソン病」が2.7ポイント、「視覚・聴覚障害」が2.6ポイント増加している一方、「骨折・転倒」が8.4ポイント、「心臓病」が7.4ポイント、「認知症(アルツハイマー病等)」が3.5ポイント減少しています。



【「その他」の内容】

- 血管の病気（高血圧 大動脈瘤 下肢静脈瘤 リンパ浮腫）
- 背骨や関節の病気、足腰の痛み（変形性膝関節症 脊柱後弯症 腰痛 足腰の疼痛）
- 骨折、麻痺、歩行困難（圧迫骨折 半身不随）
- 目の病気（緑内障 黄斑変性） ■ 脳やこころの病気（うつ 失語症） など

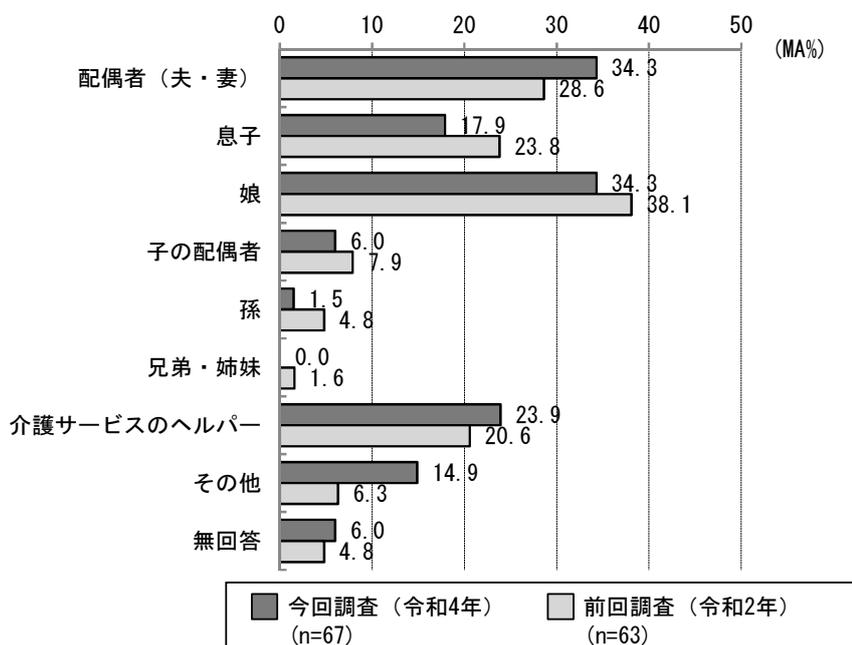
〔9〕主な介護者

問5で「3」（介護を受けている）と回答された方のみ

問5-3：主にどなたの介護・介助を受けていますか。（○はいくつでも）

主な介護者は、「配偶者（夫・妻）」、「娘」がそれぞれ 34.3%と最も多く、次いで、「介護サービスのヘルパー」が 23.9%、「息子」が 17.9%となっています。

前回調査と比較すると、「配偶者（夫・妻）」が 5.7 ポイント、「介護サービスのヘルパー」が 3.3 ポイント増加している一方、「息子」が 5.9 ポイント、「娘」が 3.8 ポイント、「孫」が 3.3 ポイント減少しています。



【「その他」の内容】

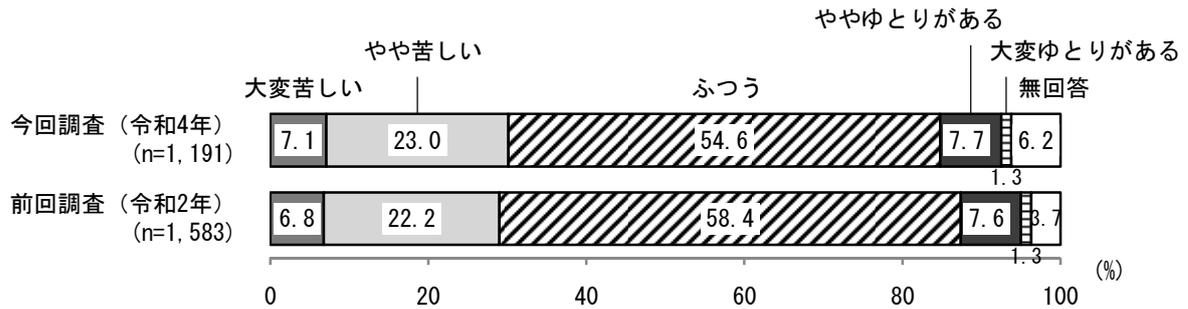
姪、通所リハビリ、整骨院の従業員 など

〔10〕暮らしの状況

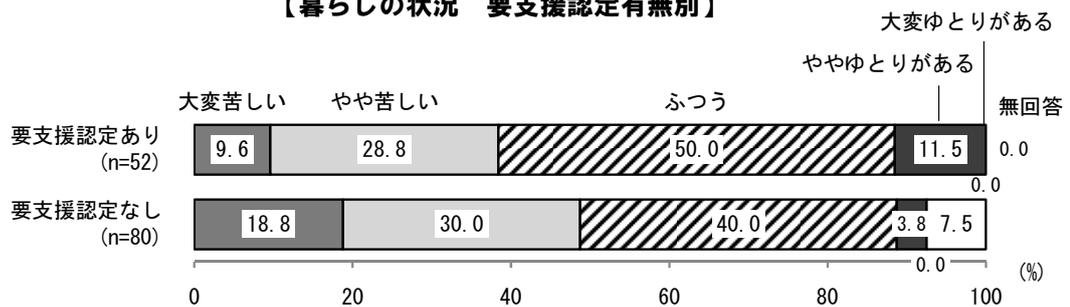
問6：現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

現在の暮らしの状況については、「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた『苦しい』が 30.1%、「大変ゆとりがある」と「ややゆとりがある」を合わせた『ゆとりがある』が 9.0%となっており、前回調査（『苦しい』29.0%、『ゆとりがある』8.9%）とほぼ同じ傾向となっています。

何らかの介護・介助が必要な人でありながら、要支援認定を受けていない人では、『苦しい』が 48.8%と半数近くを占めています。



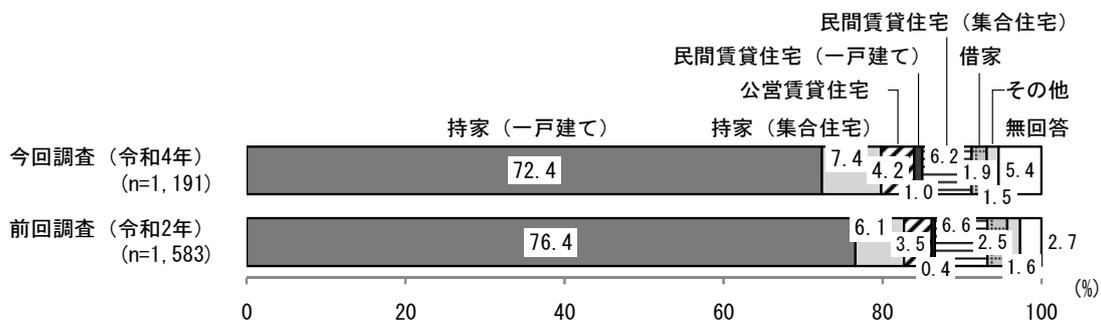
【暮らしの状況 要支援認定有無別】



※要支援認定あり：問5-1で認定を「受けている」と回答した方
 要支援認定なし：問5-1で認定を「受けていない」と回答した方

〔11〕住居形態

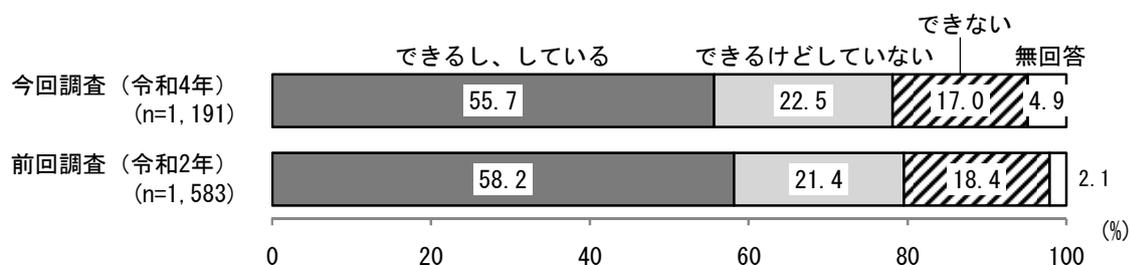
問7：お住まいは、次のどれにあたりますか。(○は1つ)



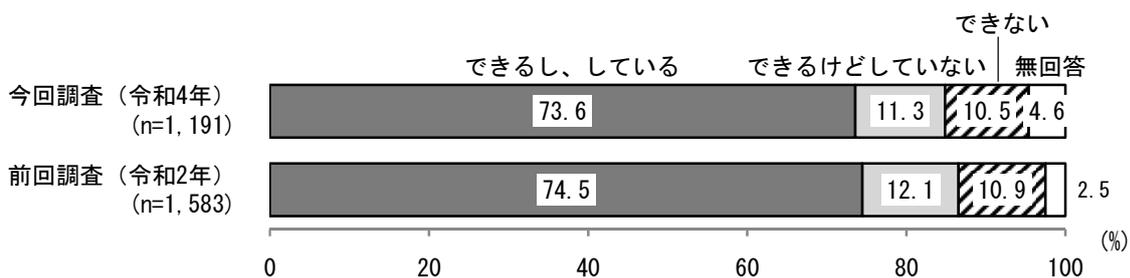
2 からだを動かすことについて

〔1〕運動機能の状況

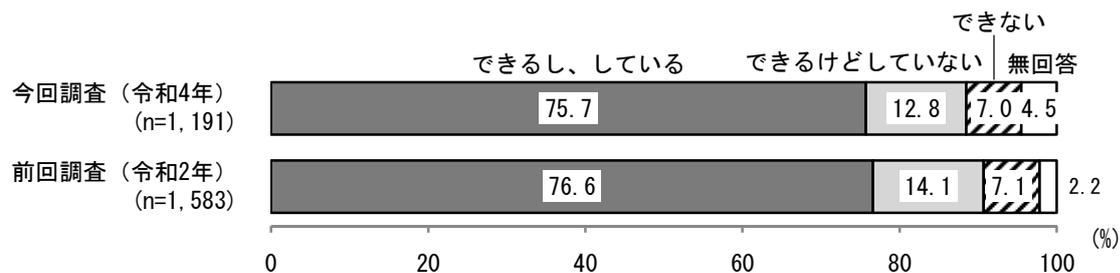
問8：階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ)



問9：椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)

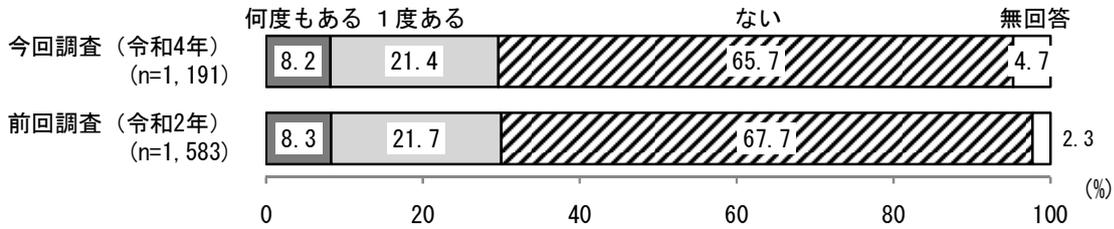


問10：15分位続けて歩いていますか。(○は1つ)



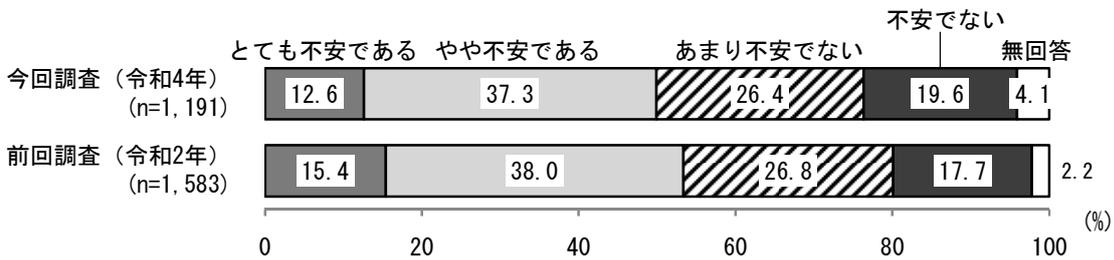
問 1 1 : 過去 1 年間に転んだ経験がありますか。(○は 1 つ)

過去 1 年間に転んだ経験があるかについては、「何度もある」と「1 度ある」を合わせた『ある』は 29.6%となっており、およそ 3 割の人が転倒の経験があると回答しています。



問 1 2 : 転倒に対する不安は大きいですか。(○は 1 つ)

転倒に対する不安については、「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた『不安である』が 49.9%と、約半数の人が転倒に対して不安を感じています。



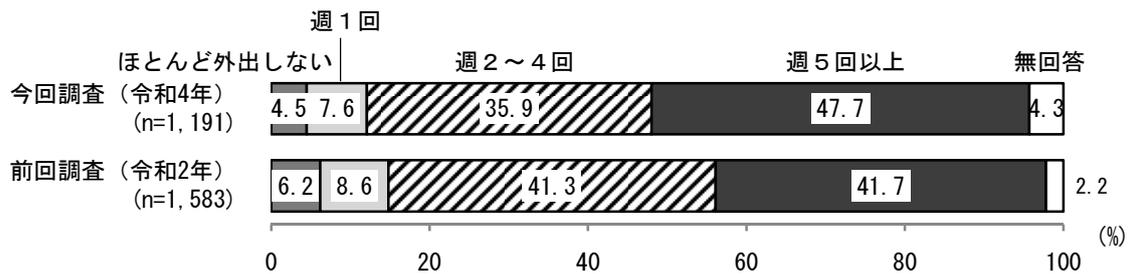
II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

〔2〕 1週間の外出回数

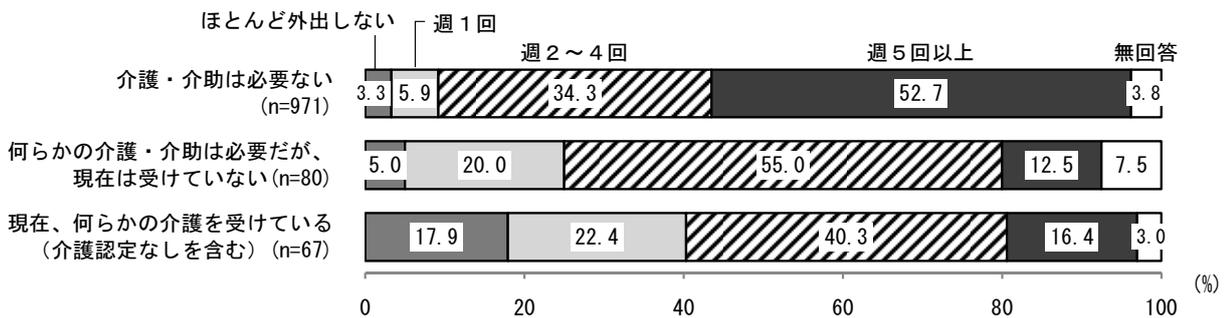
問 1 3 : 週に何回外出していますか。(○は1つ)

1週間の外出回数については、「週5回以上」が47.7%と最も多く、次いで、「週2～4回」が35.9%、「週1回」が7.6%、「ほとんど外出しない」が4.5%で、前回調査に比べて「週5回以上」の人が6.0ポイント増加しています。

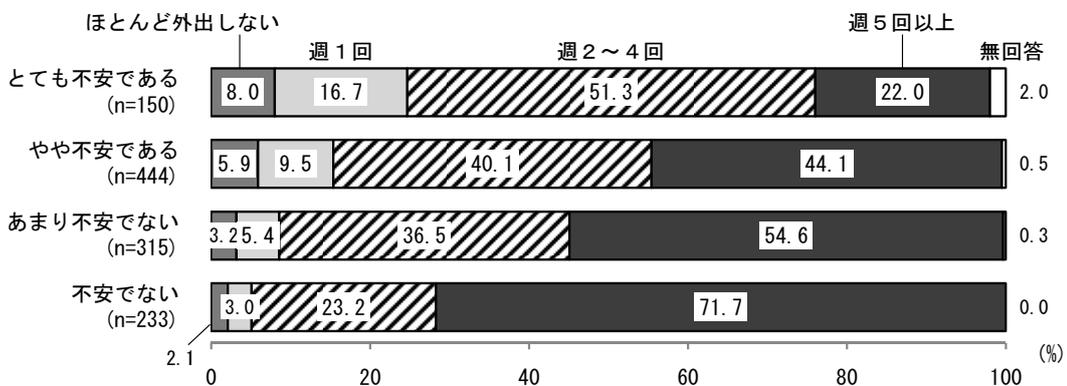
介護の必要性別にみると、「何らかの介護を受けている」人では、「週1回」と「ほとんど外出しない」を合わせた『週1回以下』が合計40.3%と多く、外出の回数が少なくなっていることがわかります。また、転倒への不安が大きい人ほど『週1回以下』の割合が多く、転倒への不安から外出を控える傾向があることもうかがえます。



【1週間の外出回数 介護の必要性別】



【1週間の外出回数 転倒への不安別】

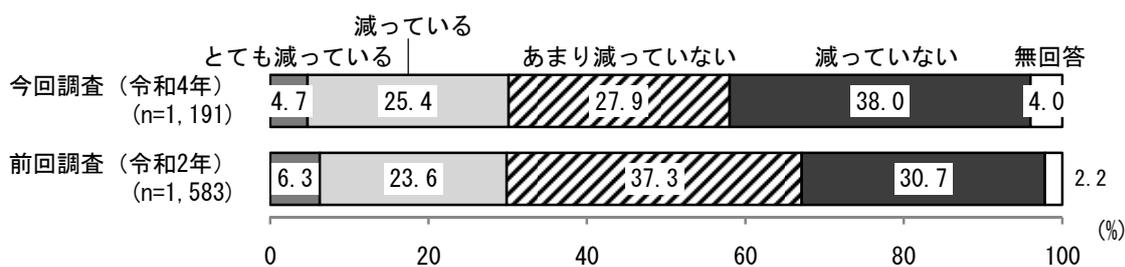


〔3〕昨年と比べての外出回数の増減

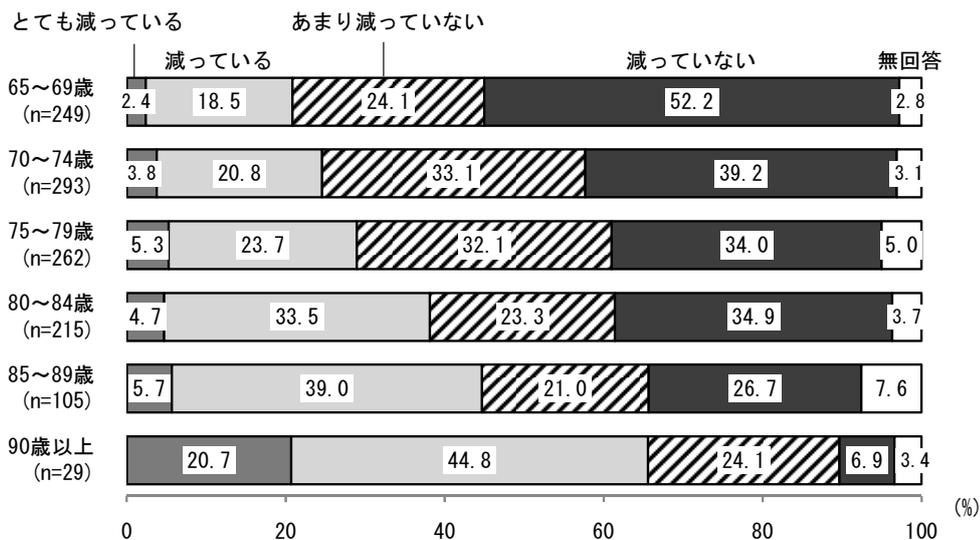
問14：昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)

昨年と比べて外出の回数が減っているかについては、「とても減っている」と「減っている」を合わせた『減っている』が合計 30.1%、「減っていない」と「あまり減っていない」を合わせた『減っていない』が合計 65.9%となっています。

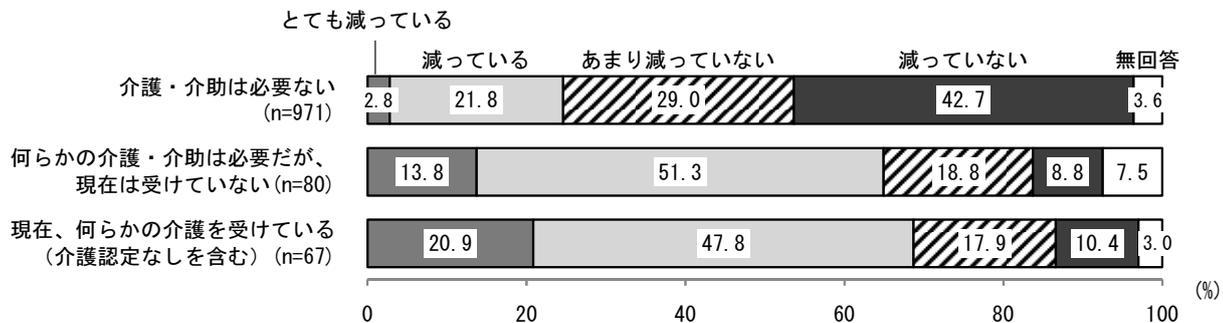
年齢別にみると、『減っている』は 80～84 歳では 38.2%、85～89 歳では 44.7%、90 歳以上では 65.5%と、年齢が上がるとともに外出回数が減っている傾向がみられます。また、何らかの介護が必要な人の 7 割弱が『減っている』と回答しており、介護が必要になると外出の回数が減ってしまうという状況もうかがえます。



【外出回数の増減 年齢別】



【外出回数の増減 介護の必要性別】

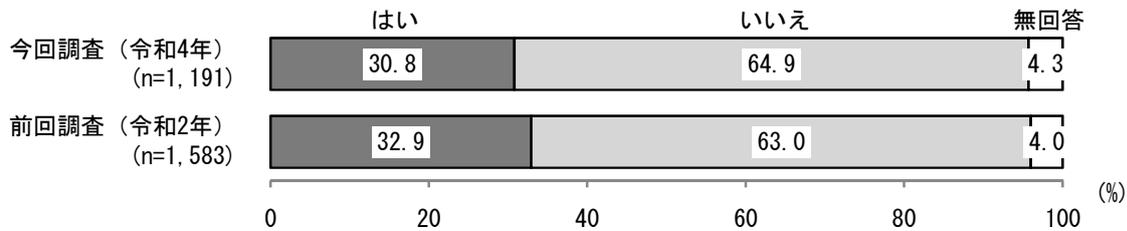


Ⅱ. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

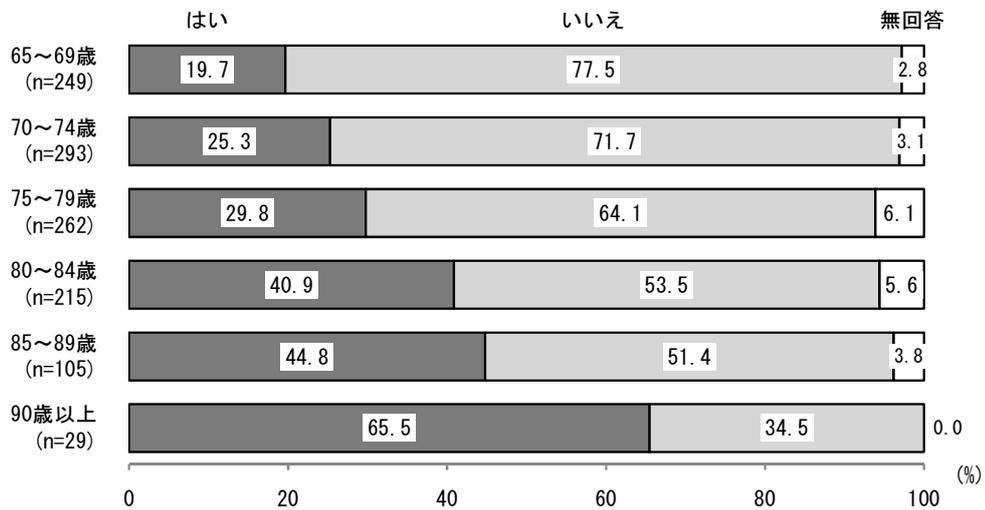
〔4〕外出控えの状況

問15：外出を控えていますか。(○は1つ)

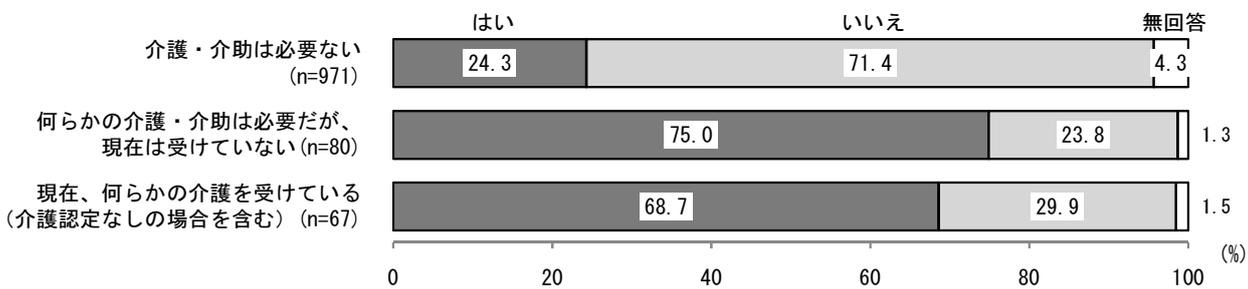
外出を控えているかについて年齢別にみると、「はい」は、80～84歳で40.9%、85～89歳で44.8%、90歳以上では65.5%と、年齢が上がるにつれて外出を控える人が多くなっています。また、何らかの介護が必要な人では、「はい」は7割前後と多く、介護が必要になると外出を控えている状況もうかがえます。



【外出控えの状況 年齢別】

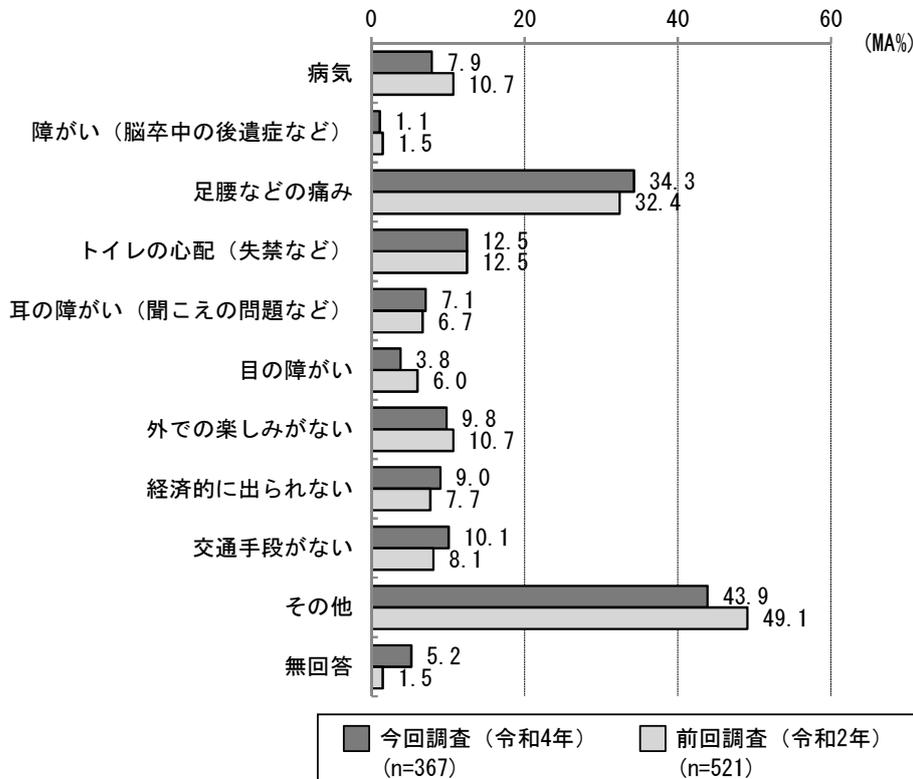


【外出控えの状況 介護の必要性別】



【問15で「1」（外出を控えている）と回答の方のみ】

問15-1：外出を控えている理由は何ですか。（○はいくつでも）



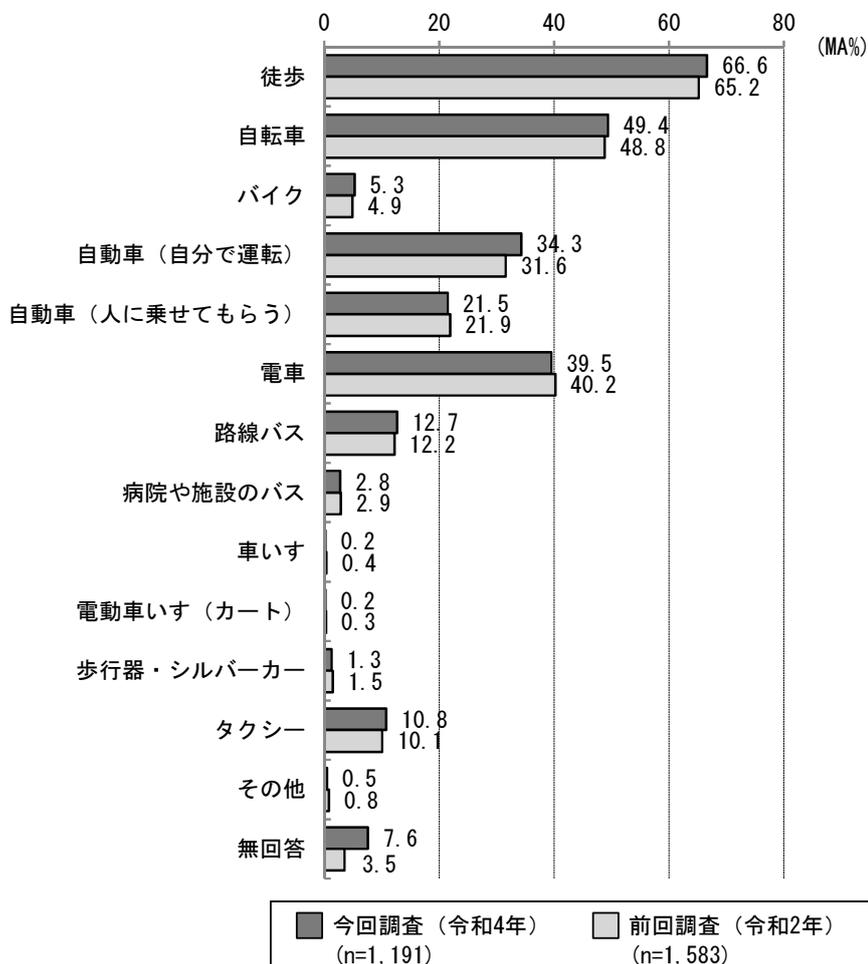
【「その他」の内訳】

- コロナ対策、感染予防のため（136件）
- 外出の必要がない、用事がない、催し物が少ない（8件）
- 家事がある、家族の介護がある、高齢者と同居している（5件）
- 歩けない、疲れる（3件）
- 無駄遣いをしてしまう、買い物は歩きなので帰りタクシー代がいる
- 電動車椅子がない、自転車移動を控えている、施設からの指導で など

〔5〕外出する際の移動手段

問16：外出する際の移動手段は何ですか。(○はいくつでも)

外出時の移動手段については、「徒歩」が66.6%と最も多く、次いで、「自転車」が49.4%、「電車」が39.5%となっています。



Ⅱ. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

「徒歩」と「自転車」以外の移動手段について性別にみると、男性は「自動車（自分で運転）」が 54.3%、女性は「電車」が 40.9%と多くなっています。年齢別には 85 歳以上、何らかの介護が必要な人では「自動車（人に乗せてもらう）」や「タクシー」の利用が多くなっています。

また、居住校区別には、藤井寺小学校区、藤井寺南小学校区、藤井寺西小学校区は「路線バス」の利用が 2 割前後と他の居住校区より多くなっています。

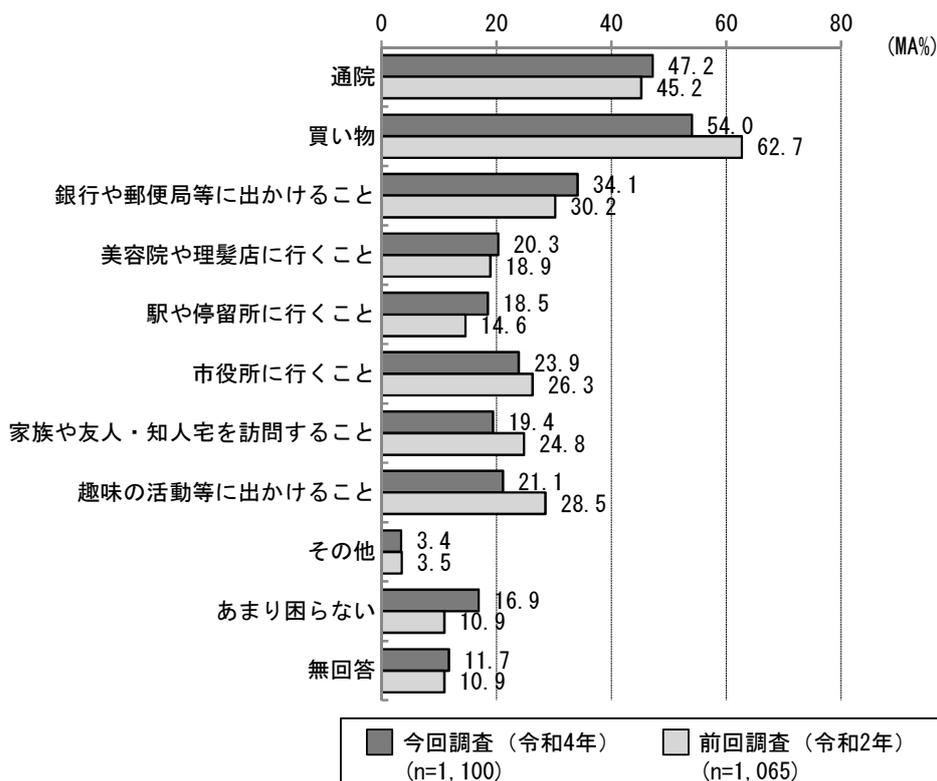
【外出する際の移動手段 性別・年齢別・居住校区別・介護の必要性別】

		n	徒歩	自転車	バイク	転自動車（自分で運	て自動車（人に乗せ	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	ト）電動	カー	歩	タク	その他	無回答
			(MA%)														
全体		1,191	79.3	58.8	6.3	40.9	25.6	47.1	15.1	3.3	2.0	2.0	1.5	12.9	6.0	9.1	
		100	66.6	49.4	5.3	34.3	21.5	39.5	12.7	2.8	0.2	0.2	1.3	10.8	0.5	7.6	
性別	男性	541	36.9	26.3	4.4	29.4	6.0	20.5	6.1	1.0	1.0	0.1	1.4	4.7	2.0	3.4	
	100	68.2	48.6	8.1	54.3	11.1	37.9	11.3	1.8	0.2	0.0	0.2	8.7	0.4	6.3		
	女性	606	39.8	30.5	1.9	10.2	18.8	24.8	8.5	2.2	1.1	2.4	14.7	7.5	4.0	5.0	
	100	65.7	50.3	3.1	16.8	31.0	40.9	14.0	3.6	0.2	0.3	2.3	12.4	0.7	8.3		
年齢別	65～69歳	249	17.9	12.5	2.4	11.8	5.9	12.7	2.9	2.0	0.0	0.0	0.0	1.7	1.0	1.6	
	100	71.9	50.2	9.6	47.4	23.7	51.0	11.6	0.8	0.0	0.0	0.0	6.8	0.4	6.4		
	70～74歳	293	20.3	17.0	2.3	13.1	6.0	12.3	2.8	4.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	1.8	
	100	69.3	58.0	7.8	44.7	20.5	42.0	9.6	1.4	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	6.1		
	75～79歳	262	16.2	14.4	1.0	8.8	4.3	9.1	3.4	8.0	1.1	1.4	4.0	2.4	2.0	2.8	
	100	61.8	55.0	3.8	33.6	16.4	34.7	13.0	3.1	0.4	0.4	1.5	9.2	0.8	10.7		
	80～84歳	215	14.6	9.2	4.0	4.9	4.0	7.5	4.1	1.2	1.0	0.3	3.0	3.8	1.0	1.3	
	100	67.9	42.8	1.9	22.8	18.6	34.9	19.1	5.6	0.5	0.0	1.4	17.7	0.5	6.0		
	85～89歳	105	6.2	3.4	2.0	1.3	3.3	3.2	1.2	4.0	0.0	1.0	7.0	2.3	2.0	9.0	
	100	59.0	32.4	1.9	12.4	31.4	30.5	11.4	3.8	0.0	1.0	6.7	21.9	1.9	8.6		
90歳以上	29	2.0	7.0	0.0	1.0	1.2	6.0	3.0	2.0	0.0	0.0	1.0	8.0	0.0	0.0		
100	69.0	24.1	0.0	3.4	41.4	20.7	10.3	6.9	0.0	0.0	3.4	27.6	0.0	0.0			
居住校区別	藤井寺小	241	17.3	11.7	1.1	7.9	5.8	9.6	4.4	9.0	0.0	0.0	4.0	3.1	0.0	1.5	
	100	71.8	48.5	4.6	32.8	24.1	39.8	18.3	3.7	0.0	0.0	1.7	12.9	0.0	6.2		
	藤井寺南小	181	12.0	9.5	7.0	7.2	3.6	7.5	3.9	6.0	0.1	2.0	2.3	1.0	1.6		
	100	66.3	52.5	3.9	39.8	19.9	41.4	21.5	3.3	0.0	0.6	1.1	12.7	0.6	8.8		
	藤井寺西小	106	8.4	4.7	5.0	3.5	2.5	4.9	2.0	3.0	0.0	0.0	1.3	1.0	5.0		
	100	79.2	44.3	4.7	33.0	23.6	46.2	18.9	2.8	0.0	0.0	0.9	12.3	0.9	4.7		
	藤井寺北小	112	6.7	6.3	1.2	4.2	1.7	3.9	1.6	5.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	1.0	
	100	59.8	56.3	10.7	37.5	15.2	34.8	14.3	4.5	0.0	0.0	0.0	8.9	0.0	8.9		
	道明寺小	178	12.0	8.9	9.0	7.0	4.2	7.2	5.0	4.0	0.0	0.0	2.0	1.6	0.0	1.3	
	100	67.4	50.0	5.1	39.3	23.6	40.4	2.8	2.2	0.0	0.0	1.1	9.0	0.0	7.3		
道明寺東小	111	7.1	6.1	6.0	3.6	3.1	4.2	3.0	2.0	0.0	0.0	1.0	1.2	2.0	8.0		
100	64.0	55.0	5.4	32.4	27.9	37.8	2.7	1.8	0.0	0.0	0.9	10.8	1.8	7.2			
道明寺南小	111	7.1	5.5	5.0	3.6	2.2	5.0	7.0	2.0	1.0	1.0	3.0	9.0	2.0	7.0		
100	64.0	49.5	4.5	32.4	19.8	45.0	6.3	1.8	0.9	0.9	2.7	8.1	1.8	6.3			
介護の必要性別	必要ない	971	67.5	51.6	6.1	37.1	19.1	41.3	12.6	2.2	0.0	0.0	5.0	7.5	0.0	7.4	
	100	69.5	53.1	6.3	38.2	19.7	42.5	13.0	2.3	0.0	0.0	0.5	7.7	0.0	7.6		
	必要だが受けていない	80	4.5	3.0	2.0	9.0	2.4	1.9	8.0	4.0	0.0	1.0	3.0	1.7	4.0	5.0	
	100	56.3	37.5	2.5	11.3	30.0	23.8	10.0	5.0	0.0	1.3	3.8	21.3	5.0	6.3		
何らかの介護を受けている	67	3.3	1.1	0.0	6.0	2.9	1.5	1.1	6.0	2.0	1.0	6.0	2.5	2.0	1.0		
100	49.3	16.4	0.0	9.0	43.3	22.4	16.4	9.0	3.0	1.5	9.0	37.3	3.0	1.5			

〔6〕移動手段が利用できない場合の困りごと

問16-1：問16でお答えいただいたような移動手段が利用できない場合、どんなことに困りますか。(○はいくつでも)

外出する際の移動手段が利用できない場合に困ることは、「買い物」が54.0%と最も多く、次いで、「通院」が47.2%、「銀行や郵便局等に出かけること」が34.1%となっています。また、前回調査に比べて、「買い物」は8.7ポイント、「趣味の活動等に出かけること」は7.4ポイント、「家族や友人・知人宅を訪問すること」は5.4ポイント減少しています。



年齢別にみると、80歳未満では「買い物」、80歳以上では「通院」が最も多くなっています。何らかの介護が必要な人でも「通院」が多く、また、現在何らかの介護を受けている人では、「銀行や郵便局等に出かけること」が42.4%、「市役所に行くこと」が40.9%と、他の区分に比べて多くなっています。

居住校区別にみると、「買い物」、「通院」、「銀行や郵便局等に出かけること」以外では、藤井寺小学校区で「家族や友人・知人宅を訪問すること」、藤井寺南小学校区で「市役所に行くこと」、「趣味の活動等に出かけること」、道明寺東小学校区で「美容院や理髪店に行くこと」、「駅や停留所に行くこと」、「市役所に行くこと」、道明寺南小学校区で「趣味の活動等に出かけること」が、他の居住校区より多くなっています。

【移動手段が利用できない場合の困りごと 性別・年齢別・居住校区別・介護の必要性別】

		n	通院	買い物	ご等銀行 とに出 か郵便 局	店美容 に行院 くや理 こと髪	行駅 くや こ停 と留 所に	こと市 と役 所 に 行く	す知家 る人族 こと宅や を友人 訪問・	とに趣 出味の か活 ける動 こ等	その他	いあ まり 困ら な	無 回 答
全体		1,100 100	519 47.2	594 54.0	375 34.1	223 20.3	204 18.5	263 23.9	213 19.4	232 21.1	37 3.4	186 16.9	129 11.7
性別	男性	507 100	233 46.0	244 48.1	151 29.8	81 16.0	84 16.6	120 23.7	102 20.1	133 26.2	20 3.9	81 16.0	63 12.4
	女性	556 100	271 48.7	329 59.2	213 38.3	134 24.1	115 20.7	135 24.3	103 18.5	92 16.5	16 2.9	98 17.6	61 11.0
年齢別	65～69歳	233 100	95 40.8	134 57.5	83 35.6	49 21.0	46 19.7	61 26.2	52 22.3	57 24.5	7 3.0	43 18.5	18 7.7
	70～74歳	275 100	130 47.3	158 57.5	98 35.6	58 21.1	62 22.5	72 26.2	57 20.7	69 25.1	12 4.4	46 16.7	30 10.9
	75～79歳	234 100	110 47.0	120 51.3	67 28.6	42 17.9	39 16.7	44 18.8	45 19.2	53 22.6	7 3.0	37 15.8	28 12.0
	80～84歳	202 100	100 49.5	100 49.5	73 36.1	38 18.8	38 18.8	46 22.8	36 17.8	32 15.8	5 2.5	31 15.3	39 19.3
	85～89歳	96 100	55 57.3	50 52.1	33 34.4	25 26.0	11 11.5	27 28.1	13 13.5	13 13.5	5 5.2	17 17.7	6 6.3
	90歳以上	29 100	17 58.6	16 55.2	13 44.8	5 17.2	5 17.2	7 24.1	3 10.3	3 10.3	0 0	6 20.7	3 10.3
	居住校区別	藤井寺小	226 100	110 48.7	125 55.3	81 35.8	54 23.9	40 17.7	48 21.2	60 26.5	54 23.9	11 4.9	40 17.7
藤井寺南小		165 100	83 50.3	91 55.2	58 35.2	29 17.6	38 23.0	50 30.3	35 21.2	45 27.3	5 3.0	26 15.8	16 9.7
藤井寺西小		101 100	45 44.6	56 55.4	33 32.7	21 20.8	23 22.8	28 27.7	21 20.8	22 21.8	2 2.0	21 20.8	7 6.9
藤井寺北小		102 100	48 47.1	52 51.0	34 33.3	20 19.6	17 16.7	17 16.7	16 15.7	23 22.5	2 2.0	17 16.7	16 15.7
道明寺小		165 100	74 44.8	87 52.7	54 32.7	31 18.8	24 14.5	40 24.2	28 17.0	30 18.2	5 3.0	28 17.0	23 13.9
道明寺東小		103 100	61 59.2	60 58.3	39 37.9	28 27.2	28 27.2	30 29.1	20 19.4	16 15.5	3 2.9	18 17.5	12 11.7
道明寺南小		104 100	42 40.4	63 60.6	35 33.7	19 18.3	14 13.5	25 24.0	14 13.5	26 25.0	4 3.8	15 14.4	10 9.6
介護の必要性別		必要ない	897 100	398 44.4	491 54.7	301 33.6	185 20.6	172 19.2	204 22.7	180 20.1	211 23.5	31 3.5	161 17.9
	必要だが受けていない	75 100	47 62.7	38 50.7	28 37.3	16 21.3	12 16.0	19 25.3	14 18.7	8 10.7	3 4.0	6 8.0	8 10.7
	何らかの介護を受けている	66 100	48 72.7	35 53.0	28 42.4	13 19.7	10 15.2	27 40.9	7 10.6	6 9.1	2 3.0	5 7.6	4 6.1

〔7〕移動や外出に関する困りごと

問16-2：今現在、外出や移動に関して困っていることがあれば、お聞かせください。

- 健康上の問題がある（23件）
- タクシー利用で費用がかかる（13件）
- 道路、駅の設備が危険（9件）
- コロナによる外出自粛の影響（7件）
- その他（36件）
 - ・一人で外出する不安がある。
 - ・自転車での移動時の転倒がこわい。
- 特になし、困っていない（129件）
- バスが不便（20件）
- 重たいものは買い物できない（12件）
- 免許を返納して足がない（8件）
- 徒歩移動が辛い（6件）

3 食べることについて

〔1〕身長・体重・BMI

問17：身長と体重をお教えてください。

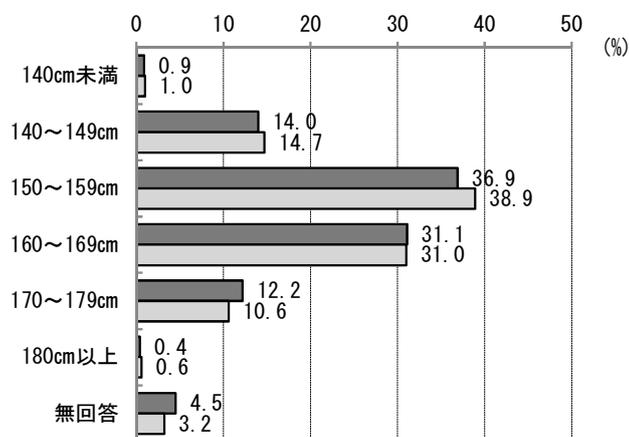
(小数点以下は省略し、右詰めで整数の数字を記入)

身長は、「150～159 cm」が 36.9%、「160～169 cm」が 31.1%となっています。

体重は、「50～59 kg」が 32.4%、「60～69 kg」が 25.6%、「40～49 kg」が 20.5%となっています。

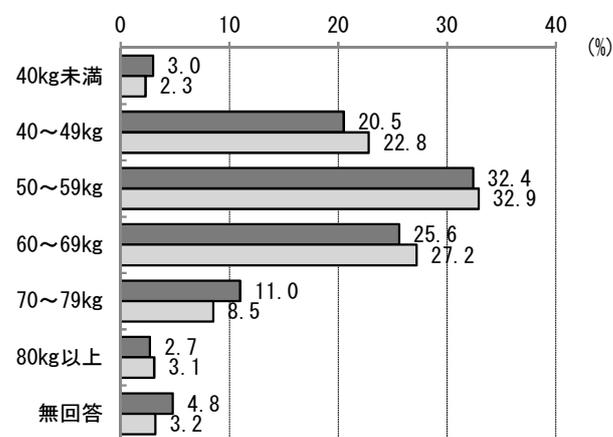
身長・体重から算出したBMI値をみると、「普通体重 [18.5 以上 25 未満]」の人が 64.4%を占め、「肥満 [25 以上]」の人は 21.7%、「低体重 (やせ) [18.5 未満]」の人は 8.7%となっています。

【身長】



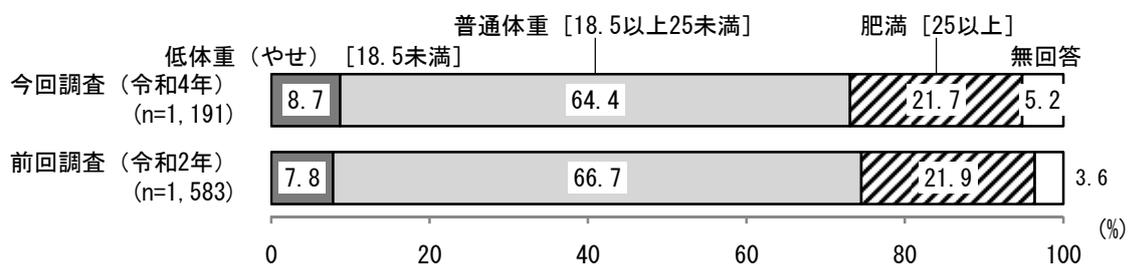
■ 今回調査 (令和4年) (n=1,191) □ 前回調査 (令和2年) (n=1,583)

【体重】



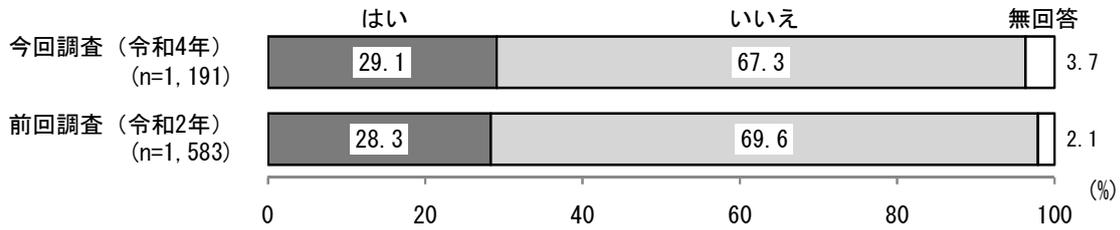
■ 今回調査 (令和4年) (n=1,191) □ 前回調査 (令和2年) (n=1,583)

【BMI】

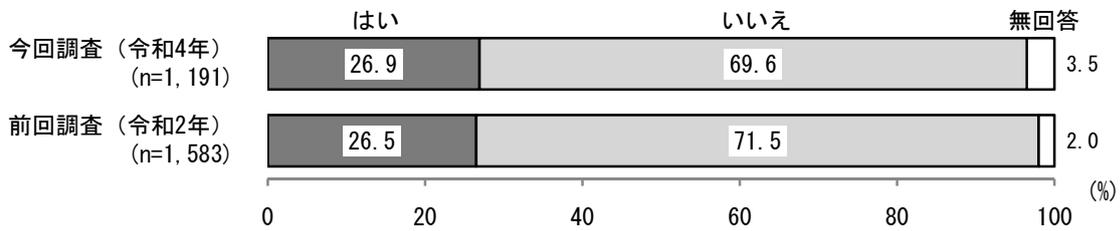


〔2〕 口腔機能の状況

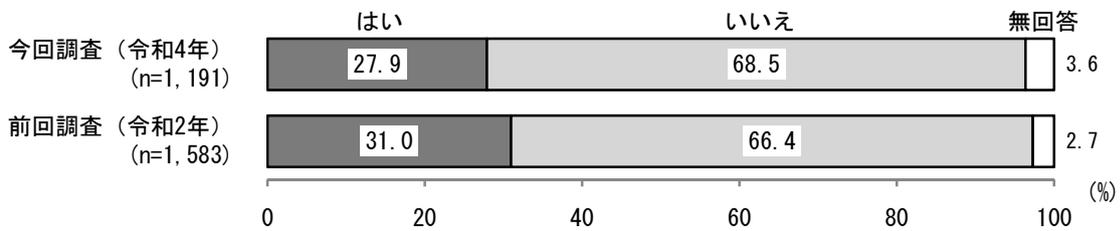
問18：半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)



問19：お茶や汁物等でむせることがありますか。(○は1つ)

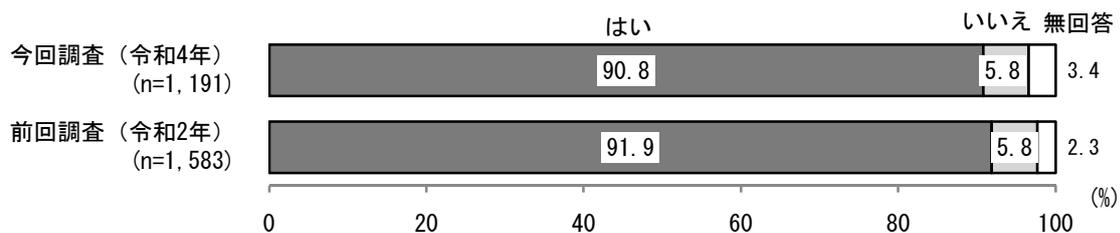


問20：口の渇きが気になりますか。(○は1つ)



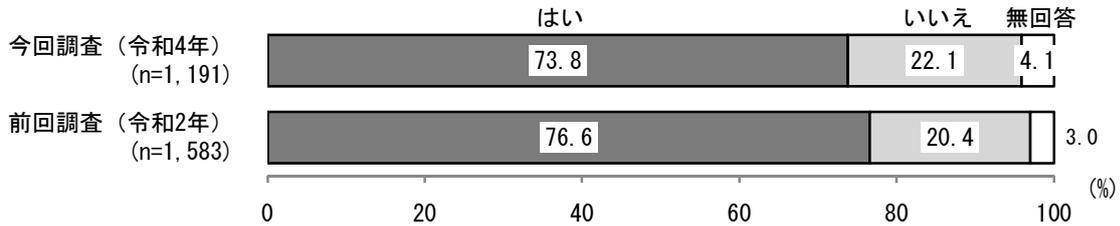
〔3〕 口腔ケアの状況

問21：歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。(○は1つ)



Ⅱ. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

問 2 2 : 噛み合わせは良いですか。(○は1つ)

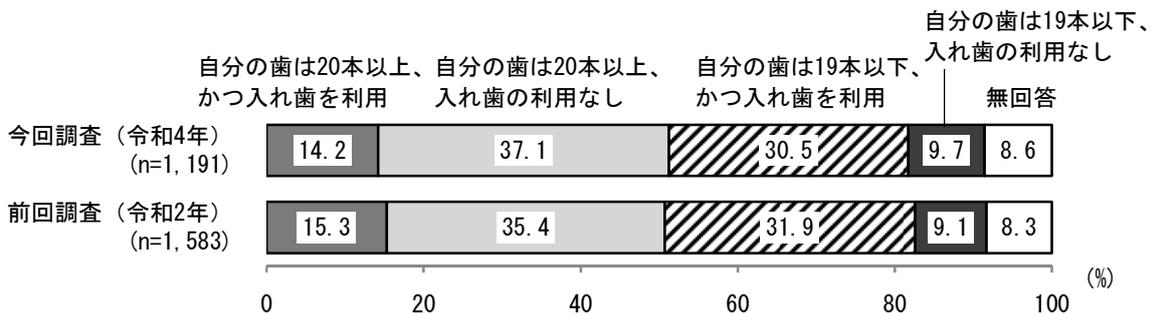


〔4〕 歯の数と入れ歯の利用状況

問 2 3 : 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(○は1つ)

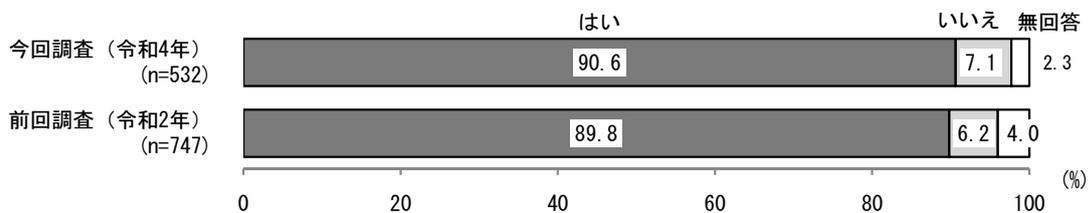
※成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本

歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 37.1%と最も多く、次いで、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 30.5%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 14.2%で、『自分の歯は 20 本以上』と回答した人は合計 51.3%、『入れ歯を利用』と回答した人は合計 44.7%となっています。



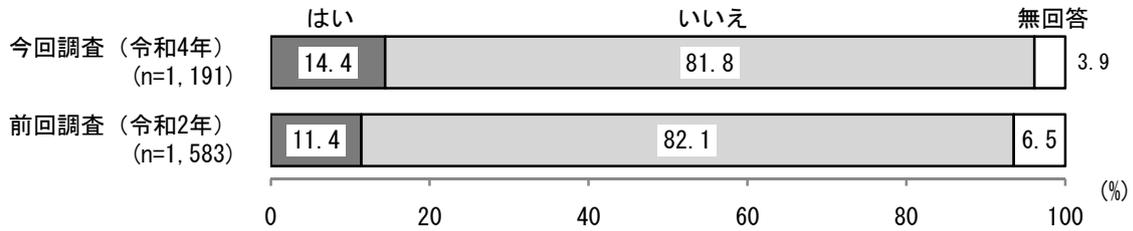
問 2 3 で「1」又は「3」(入れ歯を利用) と回答の方のみ

問 2 3-1 : 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○は1つ)



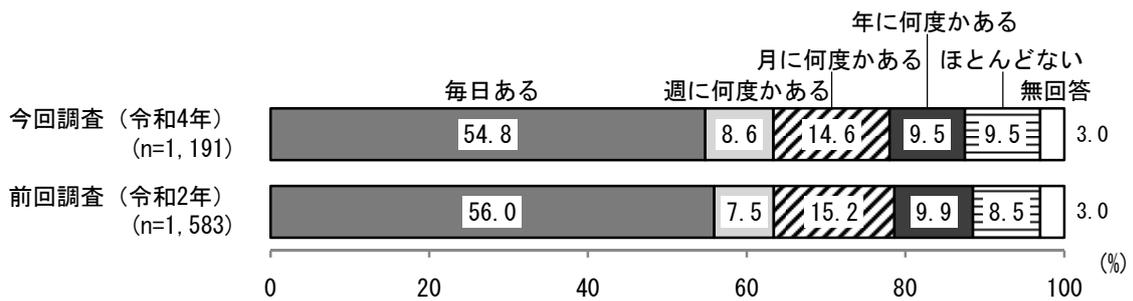
〔5〕 体重減少の有無

問24：最近6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(○は1つ)



〔6〕 共食の状況

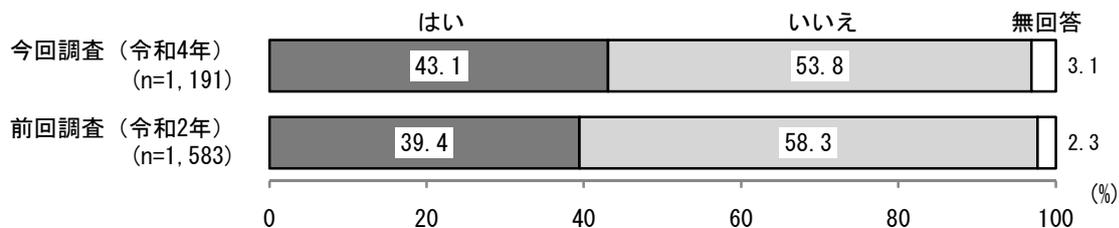
問25：どなたかと食事をとる機会がありますか。(○は1つ)



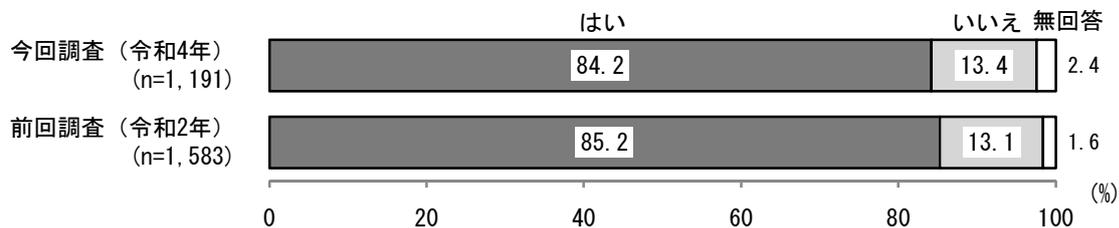
4 毎日の生活について

〔1〕認知機能の状況

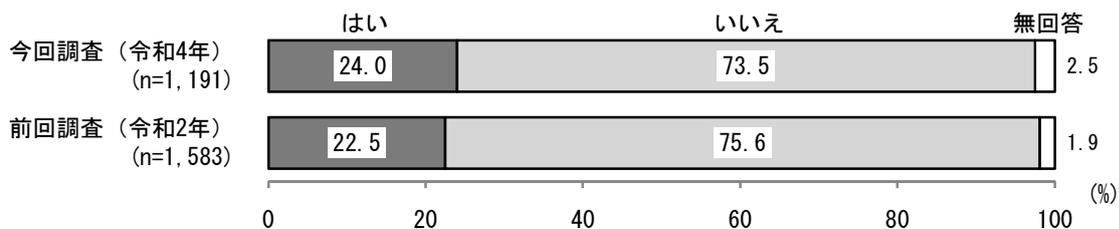
問26：物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)



問27：自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(○は1つ)



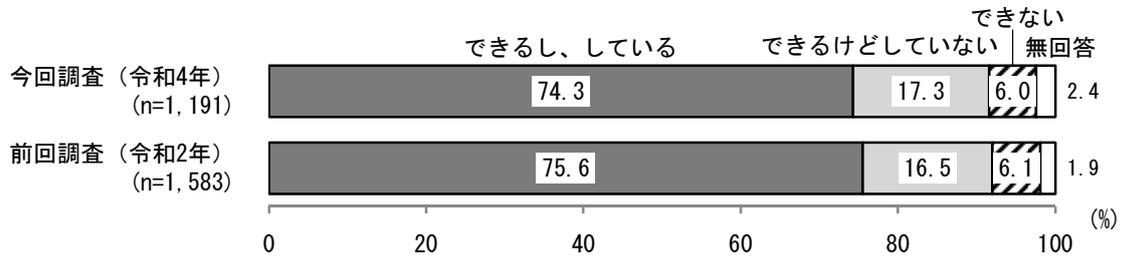
問28：今日が何月何日かわからない時がありますか。(○は1つ)



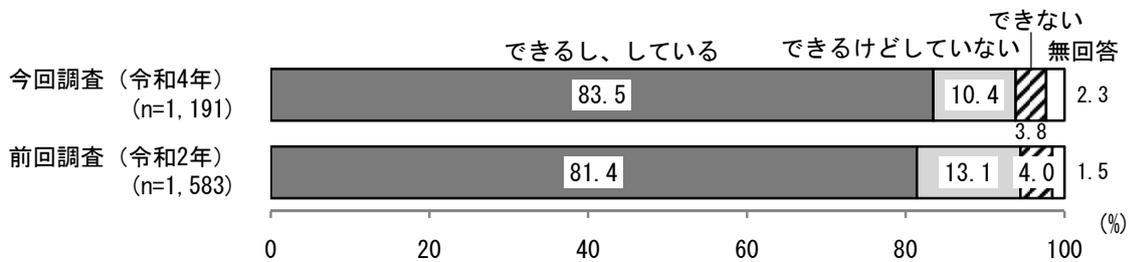
〔2〕手段的日常生活動作の状況

問29：バスや電車を使って1人で外出していますか。(○は1つ)

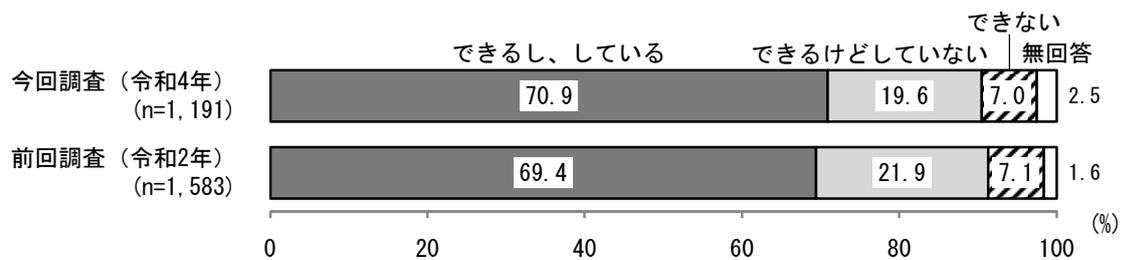
※自家用車も含む



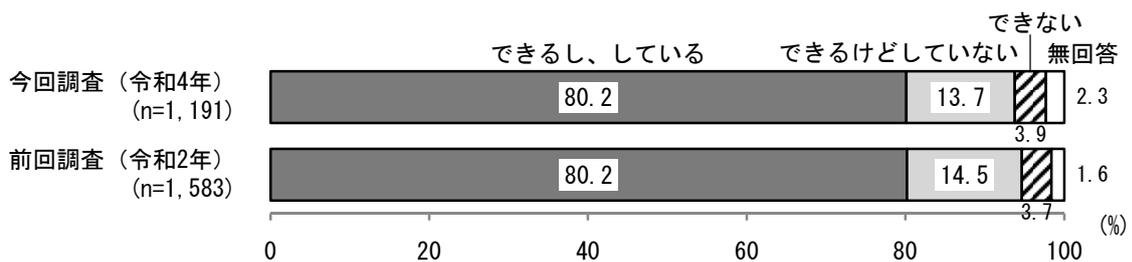
問30：自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○は1つ)



問31：自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)

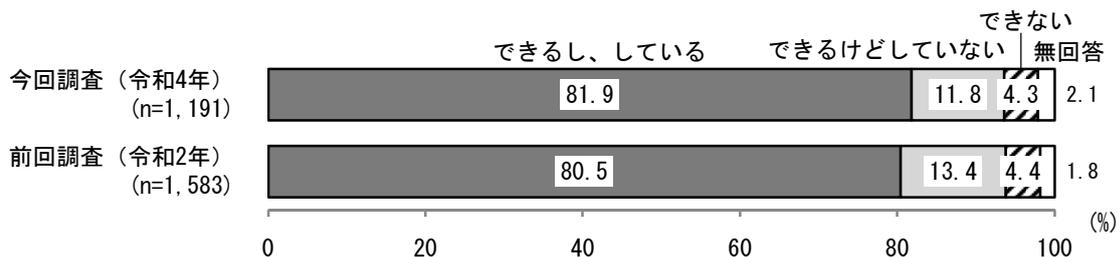


問32：自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)



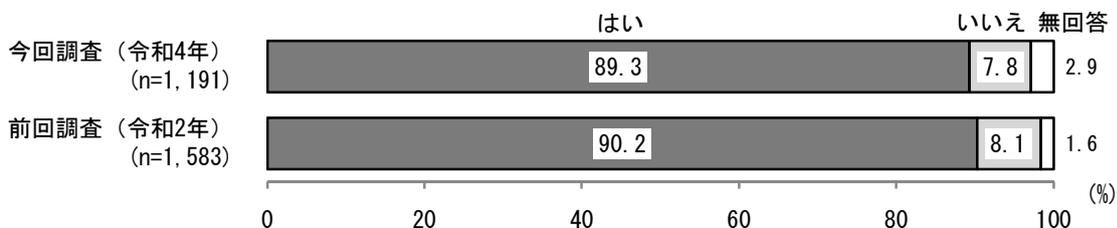
II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

問33：自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)

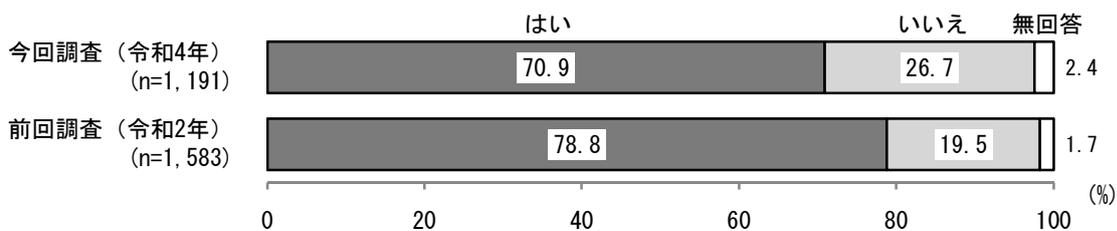


〔3〕 知的能動性の状況

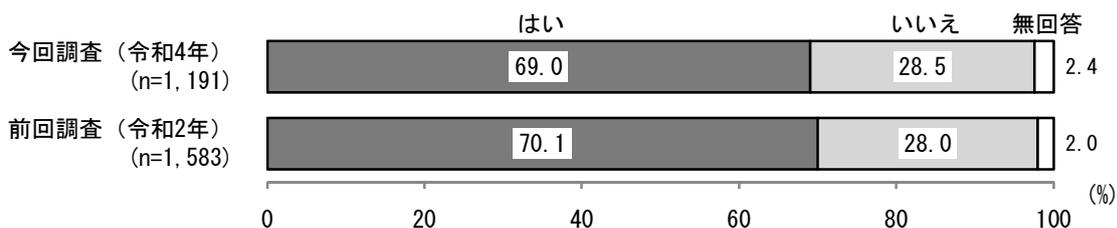
問34：年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。(○は1つ)



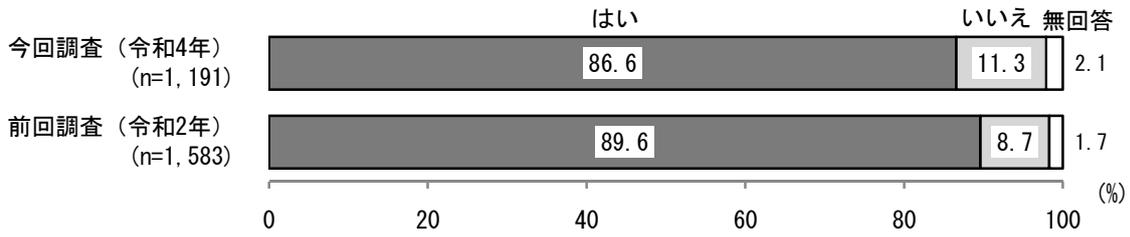
問35：新聞を読んでいますか。(○は1つ)



問36：本や雑誌を読んでいますか。(○は1つ)

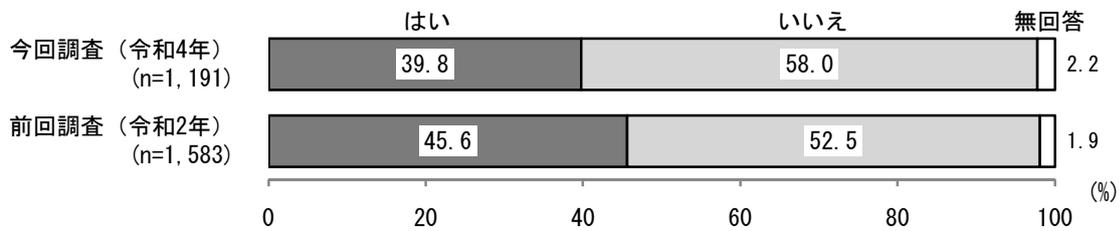


問37：健康についての記事や番組に関心がありますか。(○は1つ)

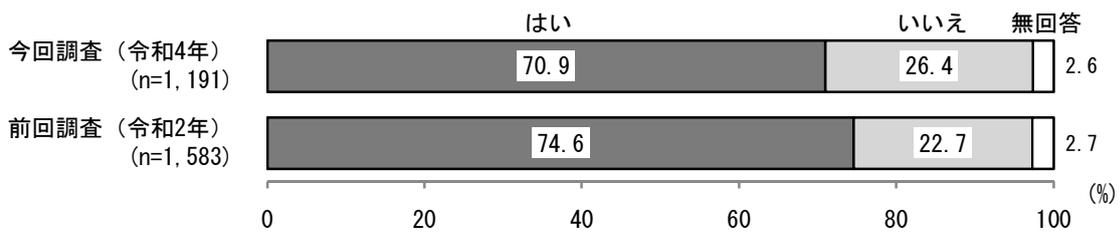


〔4〕他者との関わりの状況

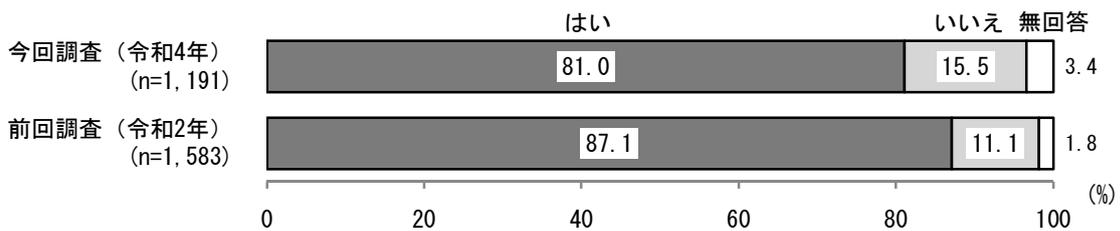
問38：友人の家を訪ねていますか。(○は1つ)



問39：家族や友人の相談にのっていますか。(○は1つ)

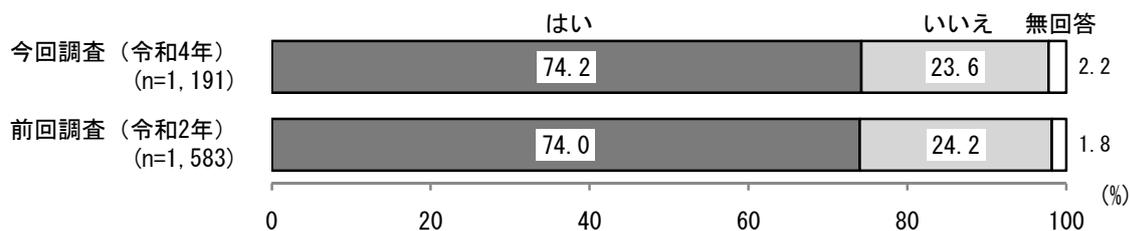


問40：病人を見舞うことができますか。(○は1つ)



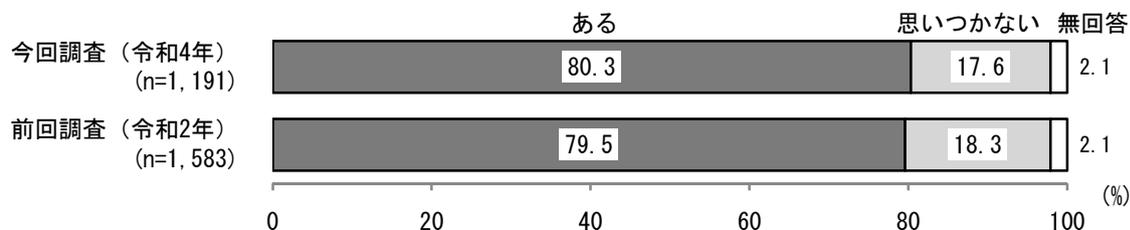
II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

問4 1：若い人に自分から話しかけることがありますか。(○は1つ)

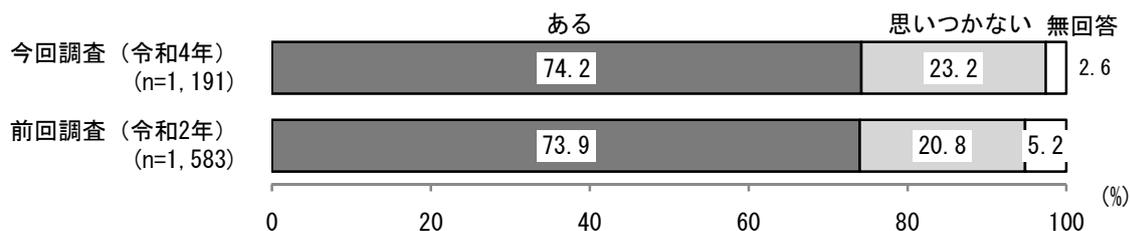


〔5〕 趣味や生きがいの有無

問4 2：趣味はありますか。(○は1つ)



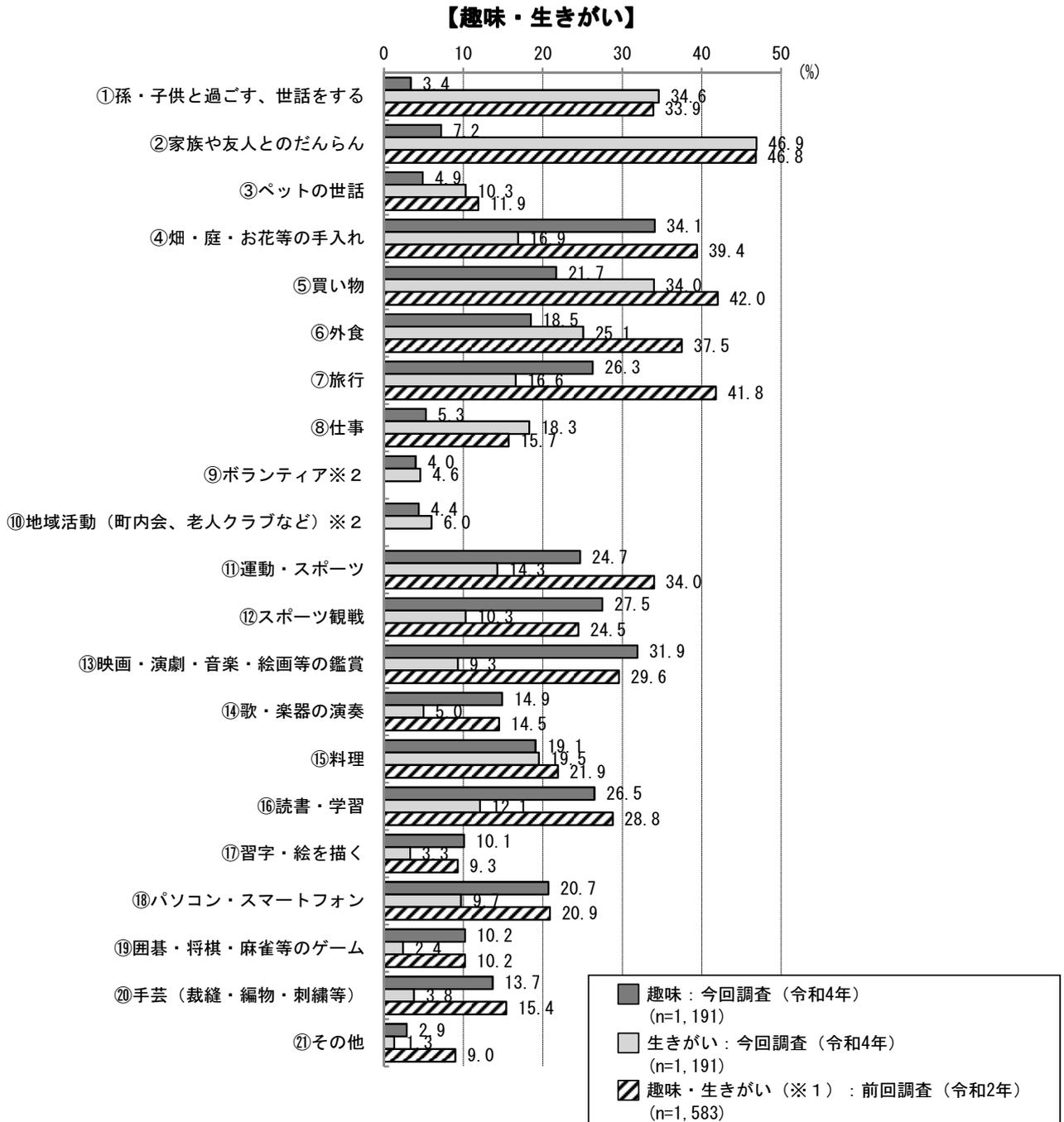
問4 3：生きがいはありますか。(○は1つ)



問44：以下の活動などに関して、趣味や生きがいになっているものはありますか。また、現在やっていないもので今後やってみたいことや、やりたいが諦めていることはありますか。(以下の①～⑳の項目ごとに○はいくつでも)

趣味は、「④畑・庭・お花等の手入れ」が34.1%と最も多く、次いで、「⑬映画・演劇・音楽・絵画等の鑑賞」が31.9%となっています。生きがいは、「②家族や友人とのだんらん」が46.9%と最も多く、次いで、「①孫・子供と過ごす、世話をする」が34.6%、「⑤買い物」が34.0%となっています。

前回調査に比べて、「⑥外食」、「⑦旅行」、「⑪運動・スポーツ」などの回答が減っています。



※1 前回調査は「趣味・生きがい」としての回答

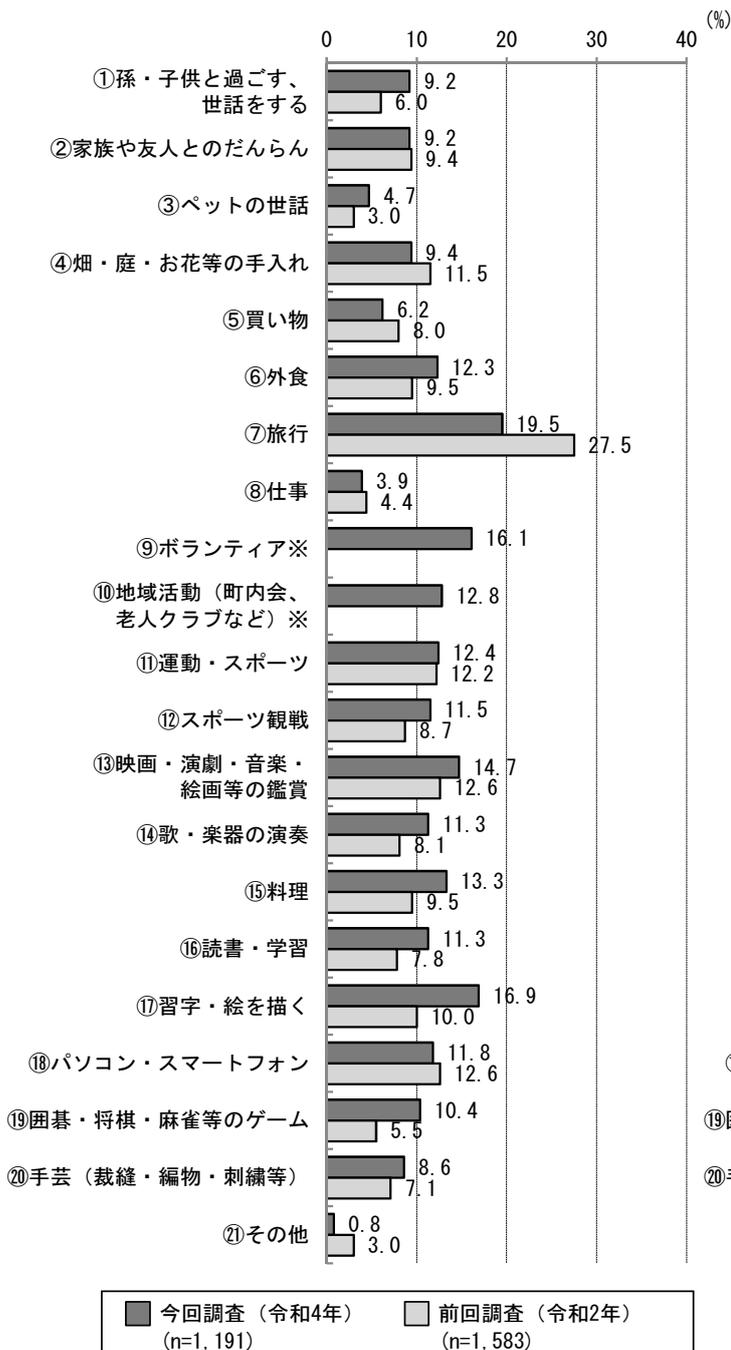
※2 前回調査では「ボランティア・地域活動」として10.3%。

II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

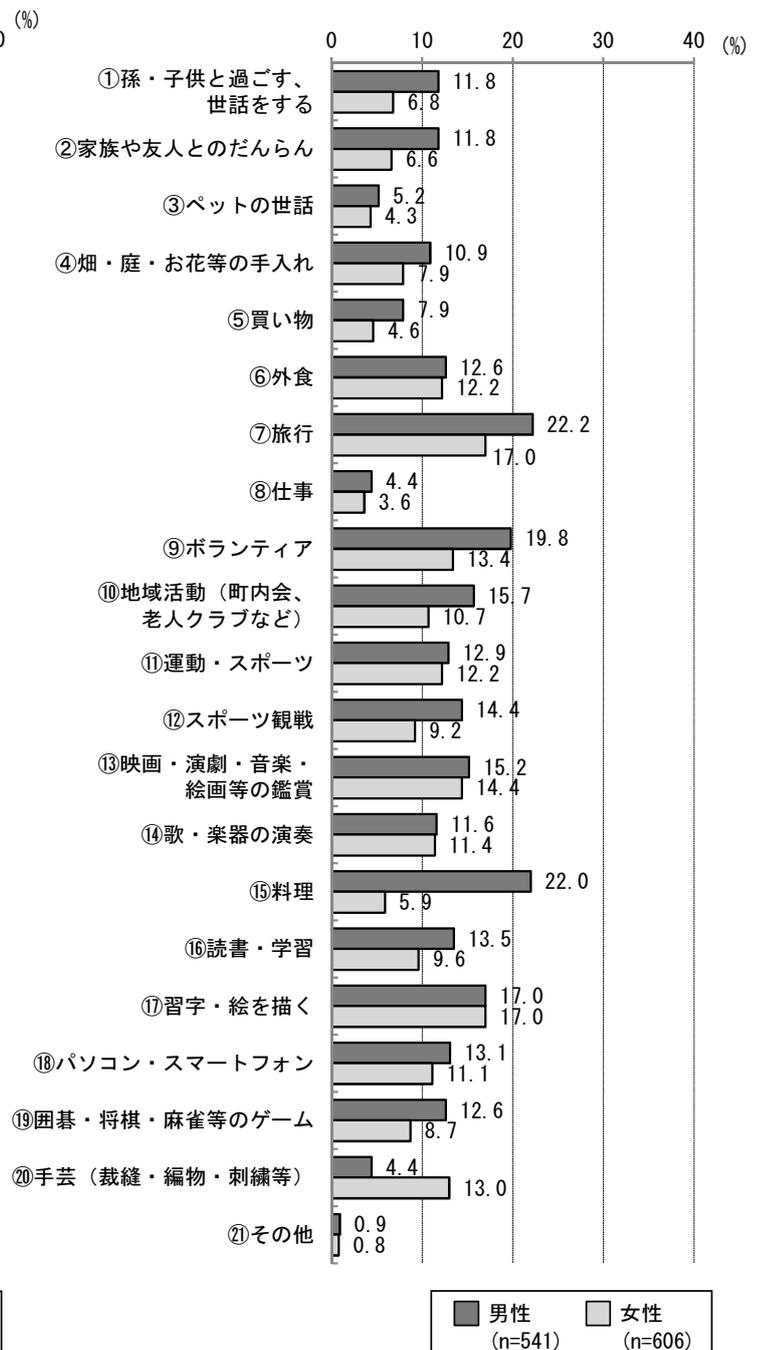
「今後やってみたいこと」は、「⑦旅行」が 19.5%と最も多く、次いで、「⑰習字・絵を描く」が 16.9%となっていますが、「⑦旅行」は前回調査に比べて 8.0 ポイント減少し、「⑰習字・絵を描く」が 6.9 ポイント増加しています。

性別にみると、男性は「⑦旅行」が 22.2%と最も多く、次いで、「⑮料理」が 22.0%、「⑨ボランティア」が 19.8%となっています。女性は「⑦旅行」と「⑰習字・絵を描く」がそれぞれ 17.0%と最も多くなっています。男女差の大きな項目としては、「⑮料理」で男性が 16.1 ポイント多く、「⑳手芸（裁縫・編物・刺繍等）」で女性が 8.6 ポイント多くなっています。また、「⑰習字・絵を描く」と「⑳手芸（裁縫・編物・刺繍等）」以外のすべての項目で、男性のほうが多くなっています。

【今後やってみたいこと】



【性別】

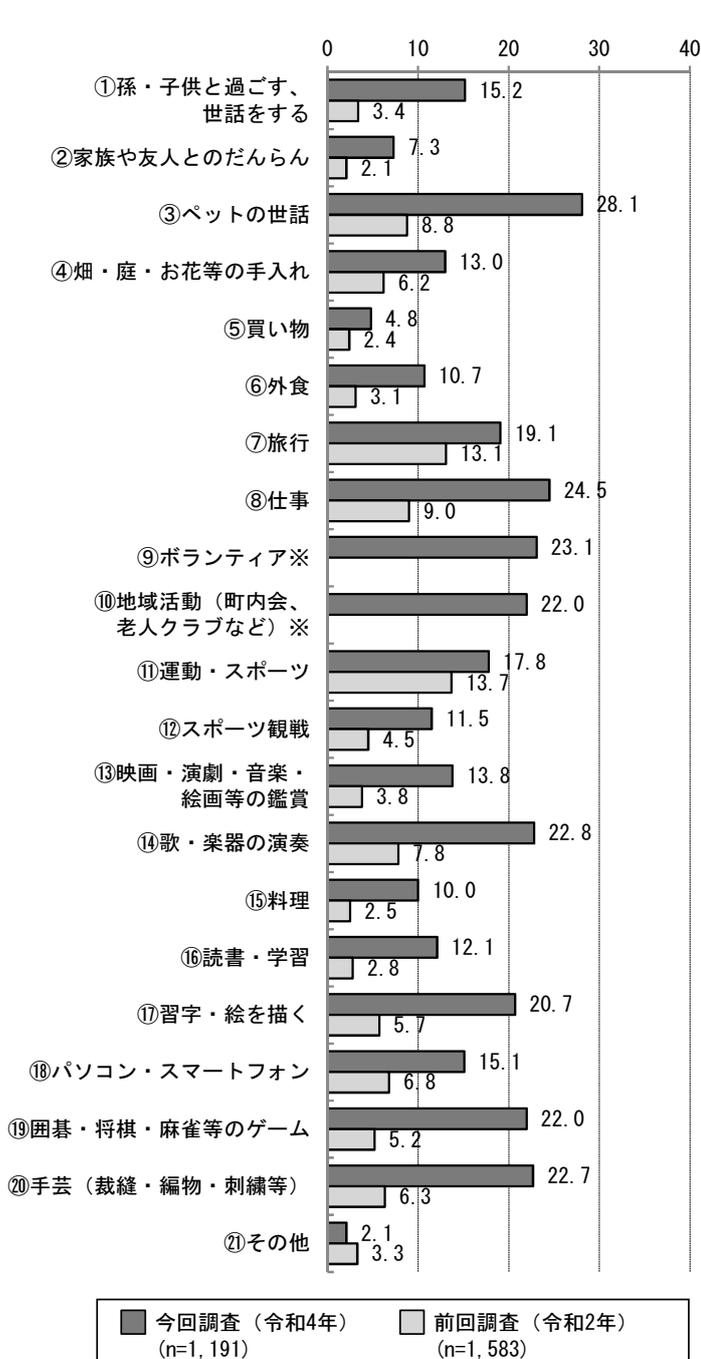


※前回調査では、「ボランティア・地域活動」は 7.8%。

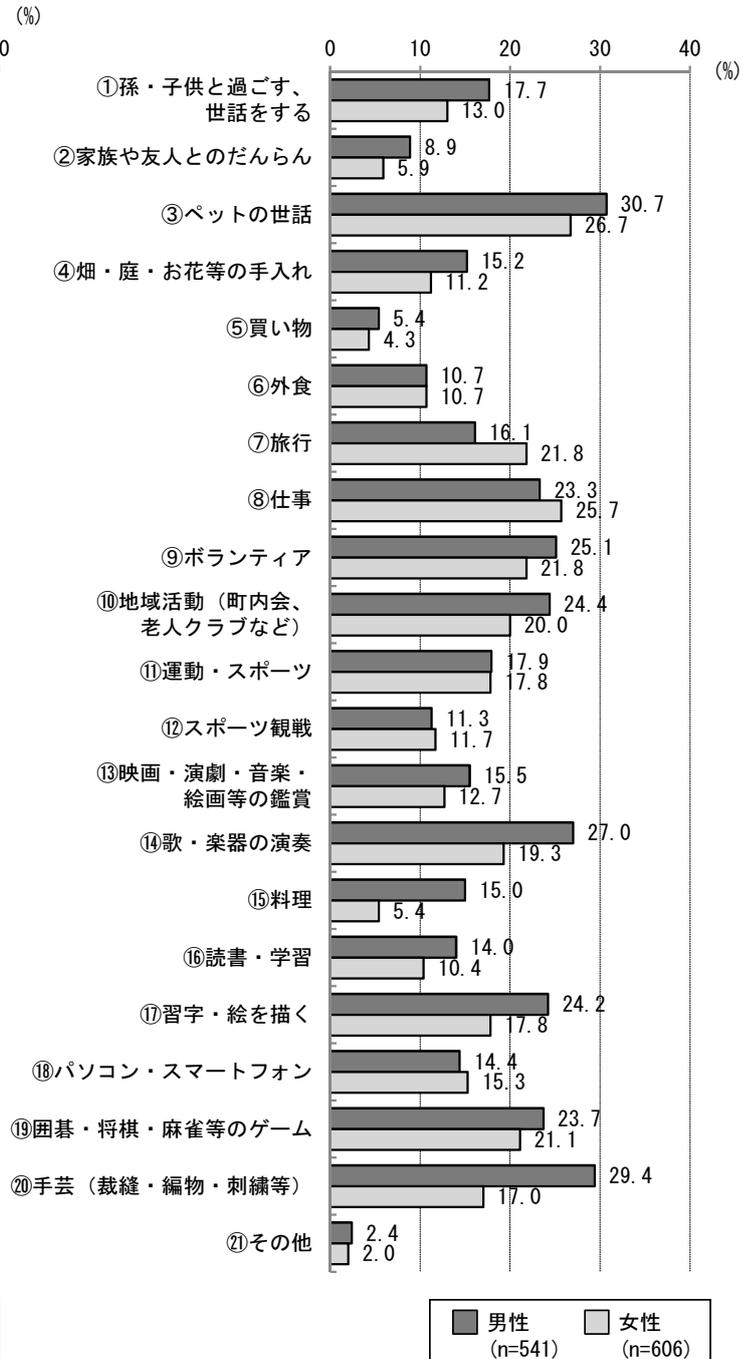
「やりたいが諦めていること」は、「③ペットの世話」が28.1%と最も多く、次いで、「⑧仕事」が24.5%となっており、いずれも前回調査に比べて多くなっています。

性別にみると、男性は「③ペットの世話」が30.7%と最も多く、次いで、「⑳手芸（裁縫・編物・刺繍等）」が29.4%、「⑭歌・楽器の演奏」が27.0%となっています。女性は「③ペットの世話」が26.7%と最も多く、次いで、「⑧仕事」が25.7%、「⑦旅行」と「⑨ボランティア」がそれぞれ21.8%となっています。男女差の大きな項目としては、「⑳手芸（裁縫・編物・刺繍等）」で12.4ポイント、「⑮料理」で9.6ポイント、「⑭歌・楽器の演奏」で7.7ポイント、男性のほうが多くなっています。

【やりたいが諦めていること】



【性別】



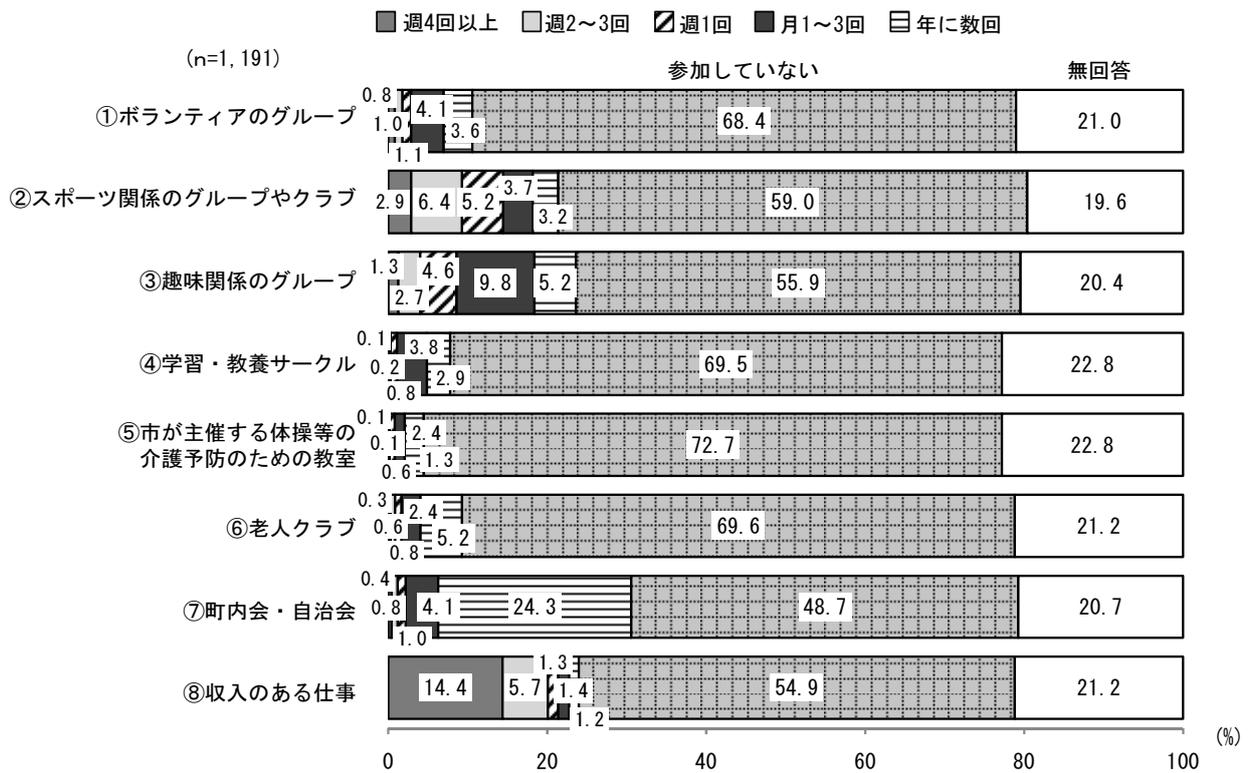
※前回調査では、「ボランティア・地域活動」は6.4%。

5 地域での活動について

〔1〕地域の会・グループ活動等への参加状況

問45：ボランティア活動や趣味・スポーツのサークル、町内会の活動や収入のある仕事などをどの程度行っていますか。(以下の①～⑧の項目ごとに○は1つ)

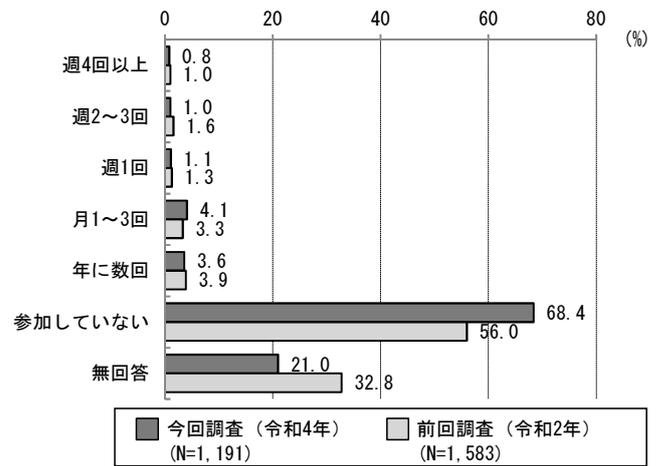
地域の会・グループ活動等への参加について、「週4回以上」から「年に数回」までを合わせた『参加している』は、「⑦町内会・自治会」が30.6%と最も多く、次いで、「⑧収入のある仕事」が24.0%、「③趣味関係のグループ」が23.6%、「②スポーツ関係のグループやクラブ」が21.4%となっています。



II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

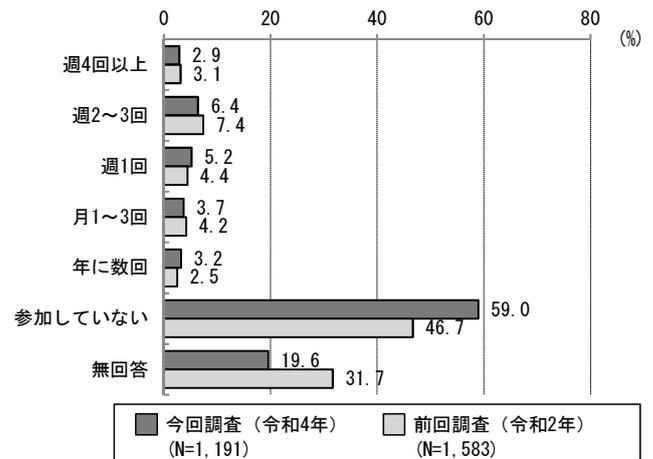
①ボランティアのグループ

ボランティアのグループに『参加している』は合計 10.6%で、前回調査（11.1%）とほぼ同程度となっています。参加頻度は「月1～3回」が 4.1%と最も多く、次いで、「年に数回」が 3.6%となっています。



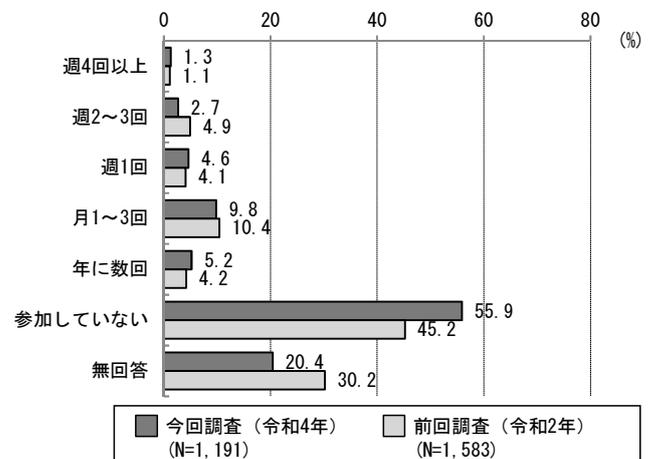
②スポーツ関係のグループやクラブ

スポーツ関係のグループやクラブに『参加している』は合計 21.4%で、前回調査（21.6%）とほぼ同程度となっています。参加頻度は「週2～3回」が 6.4%、「週1回」が 5.2%、「月1～3回」が 3.7%となっています。



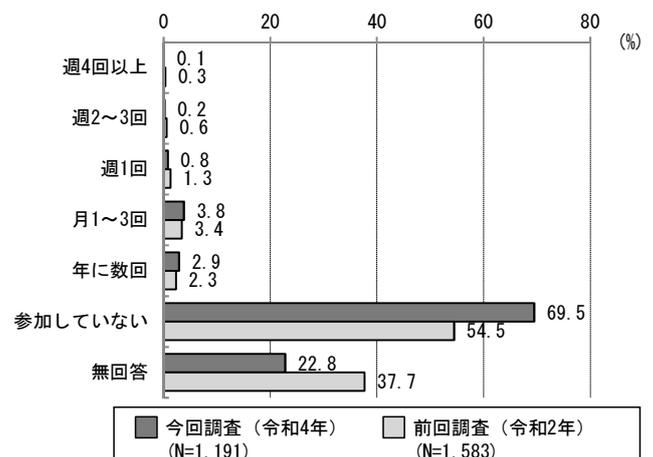
③趣味関係のグループ

趣味関係のグループに『参加している』は合計 23.6%で、前回調査（24.7%）とほぼ同程度となっています。参加頻度は「月1～3回」が 9.8%と最も多く、次いで、「年に数回」が 5.2%、「週1回」が 4.6%となっています。



④学習・教養サークル

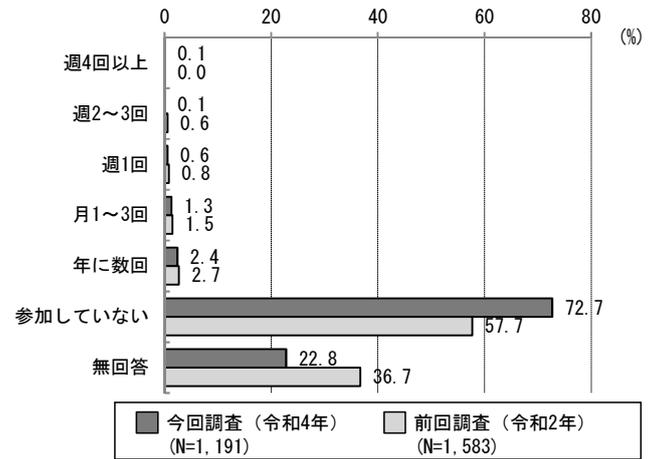
学習・教養サークルに『参加している』は合計 7.8%で、前回調査（7.9%）とほぼ同程度となっています。参加頻度は「月1～3回」が 3.8%、「年に数回」が 2.9%となっています。



II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

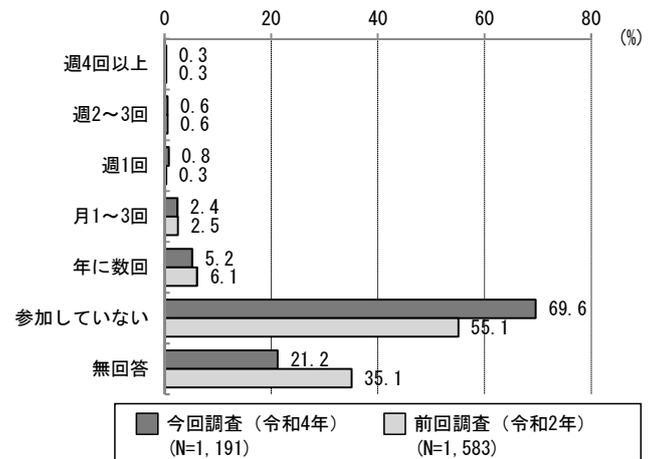
⑤市が主催する体操等の介護予防のための教室

市が主催する体操等の介護予防のための教室に『参加している』は合計 4.5%で、前回調査（5.6%）とほぼ同程度となっています。参加頻度は「年に数回」が 2.4%となっています。



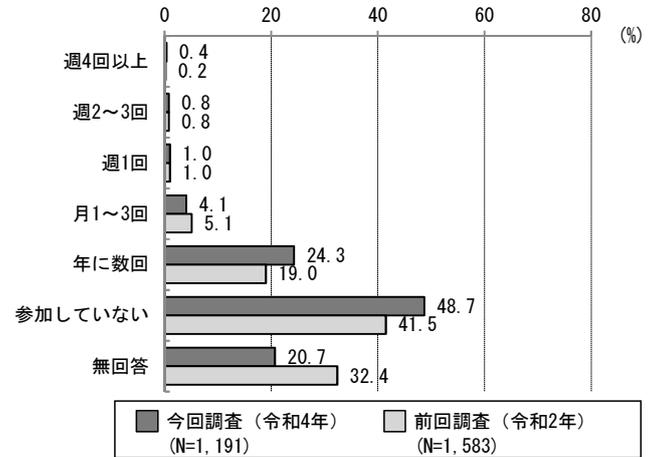
⑥老人クラブ

老人クラブに『参加している』は合計 9.3%で、前回調査（9.8%）とほぼ同程度となっています。参加頻度は「年に数回」が 5.2%と最も多く、次いで、「月1~3回」が 2.4%となっています。



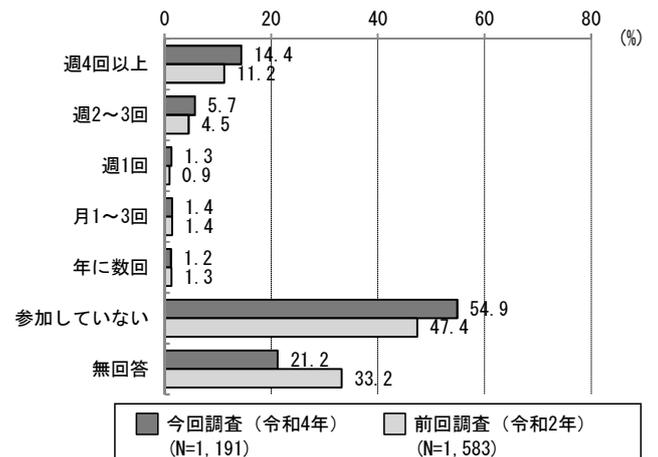
⑦町内会・自治会

町内会・自治会に『参加している』は合計 30.6%で、前回調査（26.1%）に比べて4.5ポイント増加しています。参加頻度は「年に数回」が 24.3%と最も多く、次いで、「月1~3回」が 4.1%となっています。



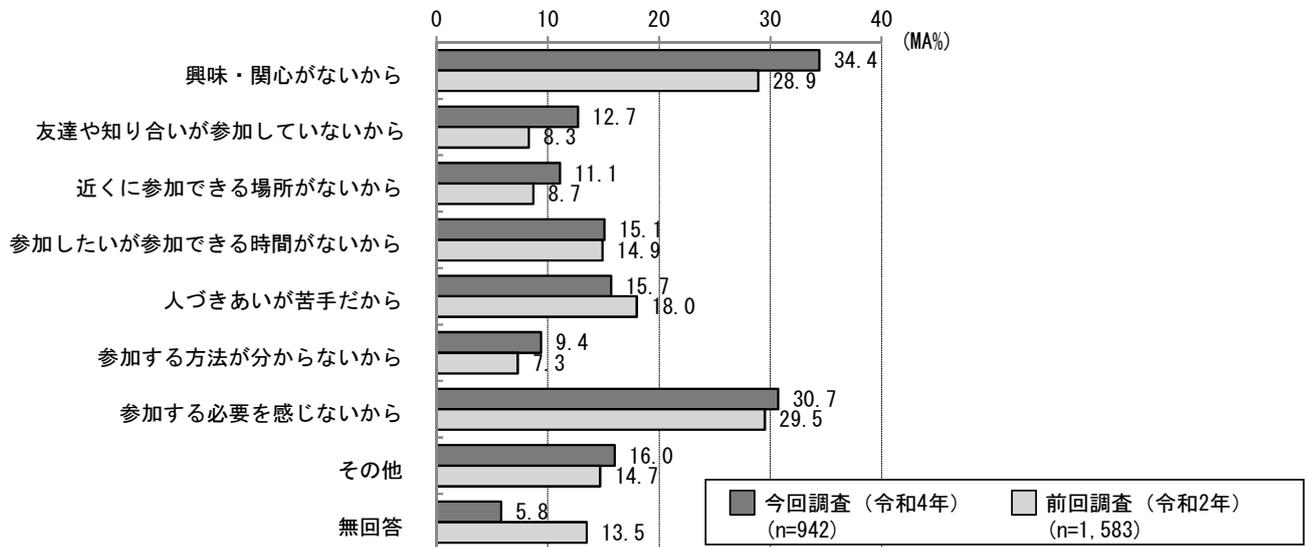
⑧収入のある仕事

収入のある仕事を『している』は合計 24.0%で、前回調査（19.3%）に比べて4.7ポイント増加しています。参加頻度は「週4回以上」が 14.4%と最も多く、次いで、「週2~3回」が 5.7%となっています。



問45①～⑧のいずれかで「6」（参加していない）と回答された方のみ

問45-1：問45のような活動に参加しない理由は何ですか。（○はいくつでも）



【「その他」の内訳】

- 健康上の問題がある（45件）
- 仕事のため時間がない（33件）
- 新型コロナウイルス感染症の影響（18件）
- 他の活動に参加している（10件）
- 家族の世話や介護がある（8件）
- 高齢のため（5件）
- 時間がない、忙しい（4件）
- 人間関係（3件）
- その他（28件）
 - ・家族の理解が無い
 - ・迷惑をかけるから
 - 決まった時間に参加することが難しい
 - ・参加したいものがない
 - ・魅力のある活動が見つからない
 - ・アプローチがない
 - など

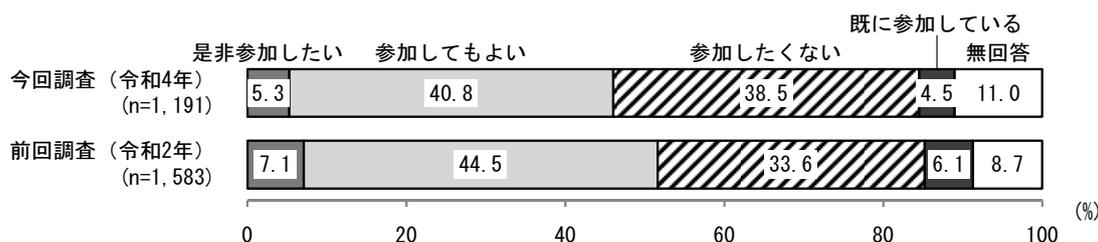
II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

〔2〕地域の会・グループ活動等への参加意向

①参加者としての参加

問46：地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

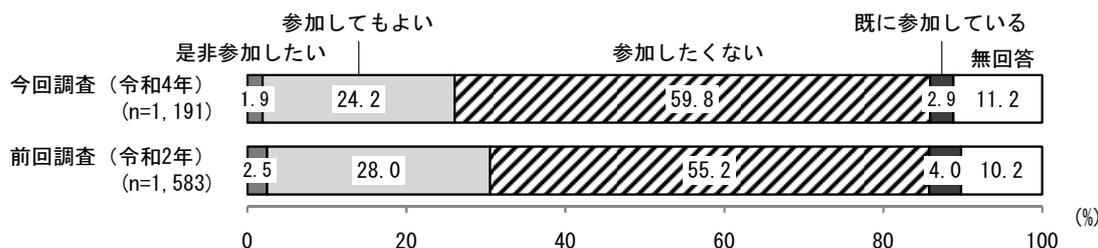
地域の会・グループ活動等への参加者としての参加意向については、「是非参加したい」が5.3%、「参加してもよい」が40.8%で、「既に参加している」の4.5%も合わせて、『参加意向あり』は合計50.6%となっています。



②企画・運営としての参加

問47：地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

地域の会・グループ活動等への企画・運営（お世話役）としての参加意向は、「是非参加したい」が1.9%、「参加してもよい」が24.2%で、「既に参加している」の2.9%も合わせて、『参加意向あり』は合計29.0%となっています。

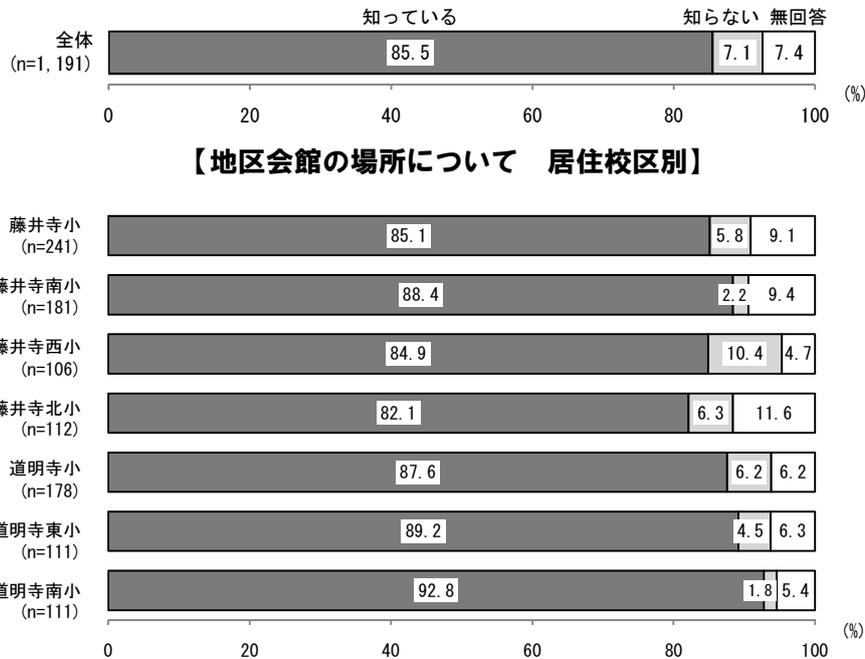


〔3〕 地区会館について

問48：お住まいの地域の地区会館がどこにあるかを知っていますか。(○は1つ)

地区会館の場所を「知っている」人は85.5%となっています。

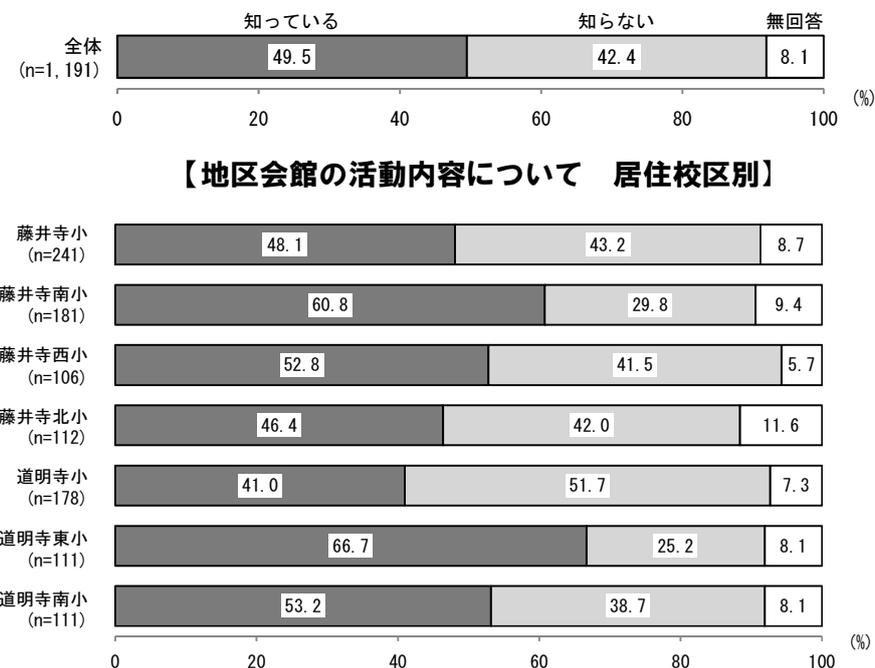
居住校区別にみると、道明寺南小学校区で92.8%と最も多く、藤井寺北小学校区では82.1%とやや少なくなっています。



問48-1：お住まいの地域の地区会館ではどのような活動が行われているかを知っていますか。(○は1つ)

地区会館で行われている活動内容を「知っている」人は49.5%、「知らない」人は42.4%となっています。

居住校区別にみると、「知っている」は道明寺東小学校区で66.7%と最も多く、次いで、藤井寺南小学校区で60.8%、道明寺小学校区では41.0%とやや少なくなっています。

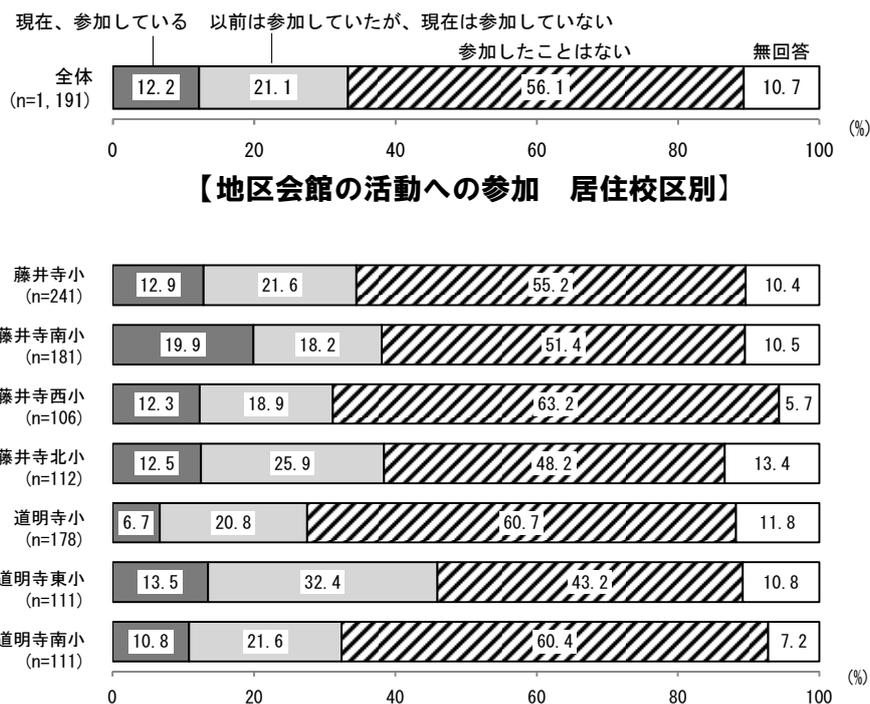


II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

問4 8-2 : お住まいの地域の地区会館での活動に参加したことがありますか。
(○は1つ)

地区会館での活動に「現在、参加している」は 12.2%、「以前は参加していたが、現在は参加していない」が 21.1%、「参加したことはない」が 56.1%で、参加経験のある人は合計 33.3%となっています。

居住校区別にみると、道明寺東小学校区で 45.9%と最も多く、次いで、藤井寺北小学校区で 38.4%、藤井寺南小学校区では 38.1%となっています。一方、道明寺小学校区では 27.5%（「現在、参加している」は 6.7%）と少なくなっています。



問48-2で「2. 以前は参加していたが、現在は参加していない」と回答された方のみ

問48-3：現在活動に参加していない理由は何ですか。
また、今後再び活動に参加したいお気持ちはありますか。(○は1つ)

①活動に参加していない理由

- 健康上の問題がある(37件) ■新型コロナウイルス感染症の影響(32件)
 - 仕事のため(23件) ■以前は参加していたが、今はしていない(21件)
 - 高齢のため(20件) ■ほかにやっていることがあるから、忙しいから(16件)
 - したくない、興味がない(16件) ■活動自体がなくなった(13件)
 - 面倒、人間関係がわずらわしい(12件) ■家族の世話や介護がある(5件)
 - 内容がわからない(5件) ■機会がない、参加手段がない(4件) ■予定が合わない(3件)
 - その他(30件)
- ・地域の状況が変わってきており、同じやり方なので参加はしたくない
 ・世代交代があって身近なものと思えないので ・生活環境、状況の変化
 ・役員でないから ・順番に回って来るのでその時に ・地区会館が狭すぎる など

②今後の参加意向

地区会館の活動に、「以前は参加していたが、現在は参加していない」人の今後の参加意向については、「再び参加する予定」が6.0%、「条件が整えば参加したい」が35.1%、「参加する予定はない」が53.0%で、参加意向のある人は合計41.1%となっています。

居住校区別に見ると、道明寺小学校区で51.3%、藤井寺西小学校区で50.0%となっています。一方、道明寺東小学校区では27.8%と少なくなっています。



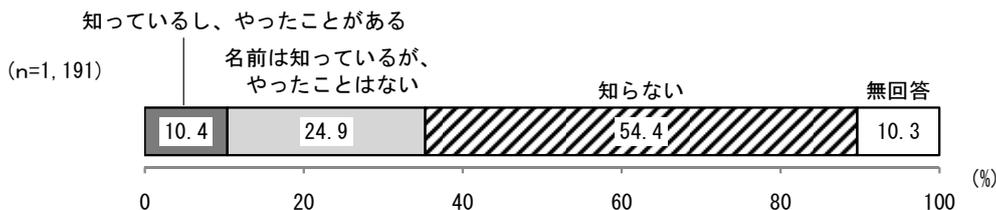
II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

〔4〕「ええとこふじいでら♪体操」について

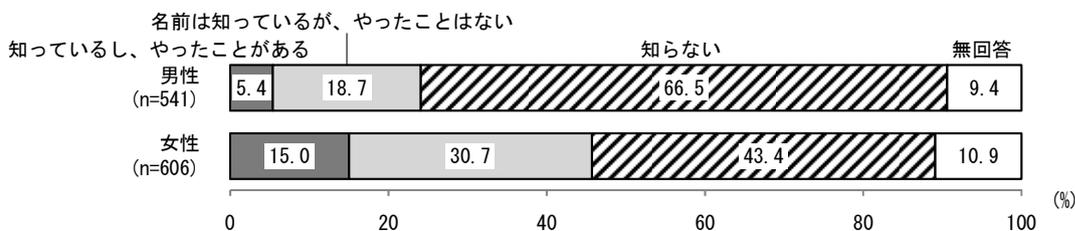
問49：藤井寺市のご当地体操、「ええとこふじいでら♪体操」を知っていますか。(○は1つ)

「ええとこふじいでら♪体操」を「知っているし、やったことがある」は10.4%で、「名前は知っているが、やったことはない」24.9%と合わせて、『知っている』人は合計35.3%となっています。

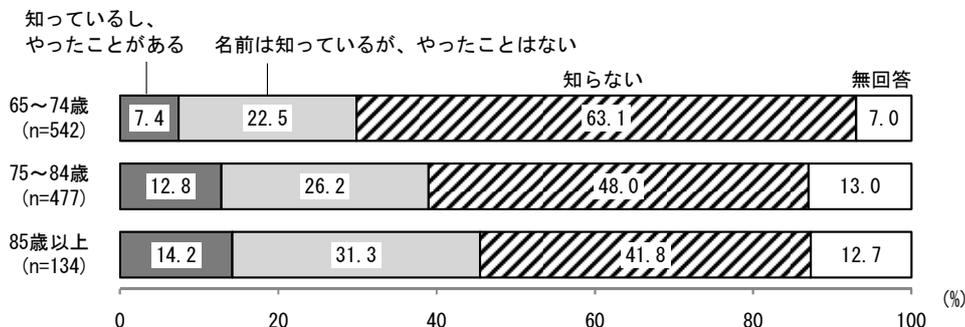
性別にみると、男性では「知っているし、やったことがある」が5.4%、『知っている』が24.1%と、女性に比べて少なくなっています。年齢別にみると、「知っているし、やったことがある」、「知っている」ともに、年齢が上がるにつれて多くなっています。



【「ええとこふじいでら♪体操」について 性別】

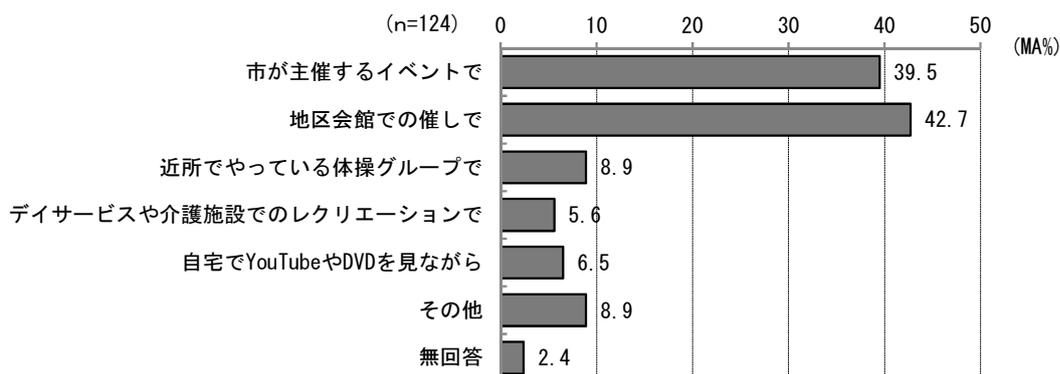


【「ええとこふじいでら♪体操」について 年齢別】



問49で「1. 知っているし、やったことがある」と回答された方のみ

問49-1：「ええとこふじいでら♪体操」はどこでされましたか。(○はいくつでも)



6 助け合いについて

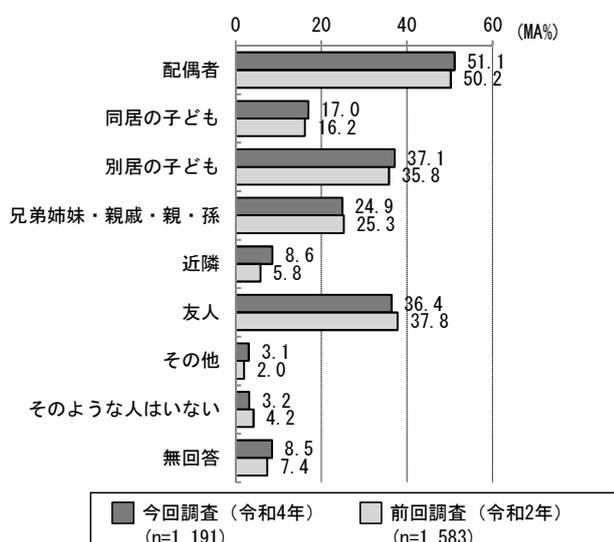
〔1〕心配事や愚痴を聞いてくれる人、聞いてあげる人

問50：心配事を聞いてくれる人や、聞いてあげる人などはどなたですか。
(以下の①～④の項目ごとに○はいくつでも)

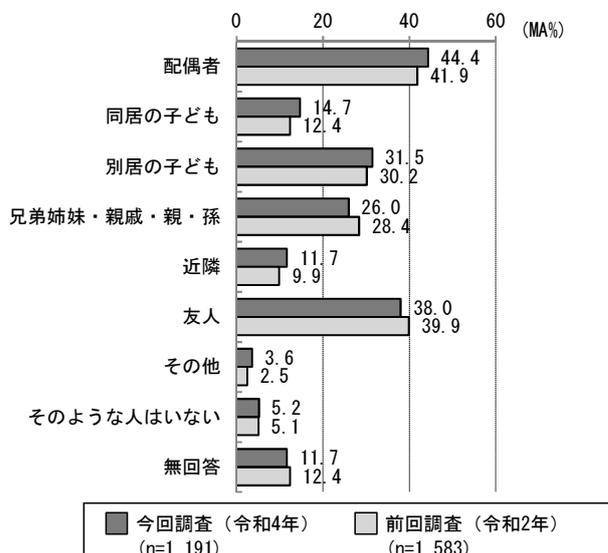
①心配事や愚痴を聞いてくれる人は、「配偶者」が51.1%と最も多く、次いで、「別居の子ども」が37.1%、「友人」が36.4%となっています。反対に、②心配事や愚痴を聞いてあげる人は、「配偶者」が44.4%と最も多く、次いで、「友人」が38.0%、「別居の子ども」が31.5%となっています。

③病気で寝込んだ時に看病や世話をしてくれる人は、「配偶者」が54.2%と最も多く、次いで、「別居の子ども」が32.2%となっています。反対に、④看病や世話をしあげる人も、「配偶者」が54.2%と最も多く、次いで、「別居の子ども」が24.1%となっています。

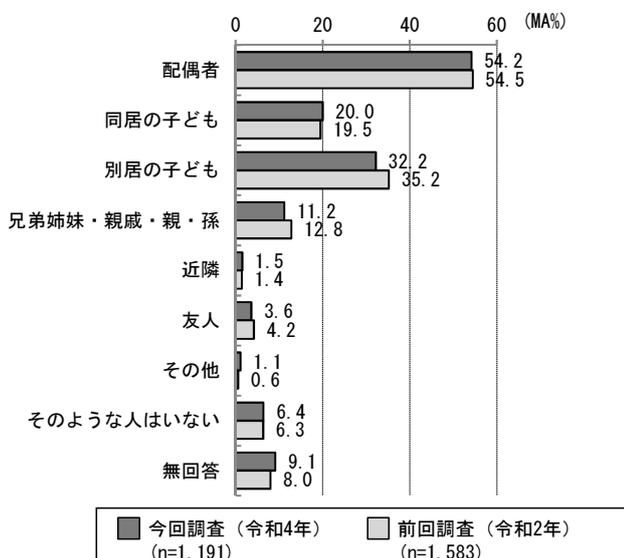
①心配事や愚痴を聞いてくれる人



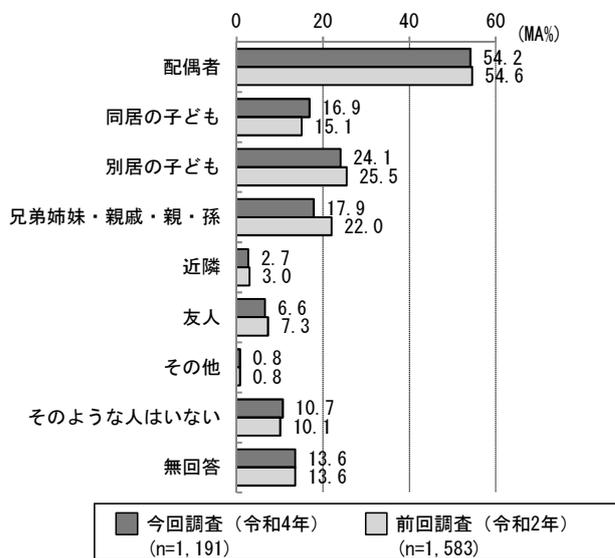
②心配事や愚痴を聞いてあげる人



③病気で数日間寝込んだ時に、看病や世話をしてくれる人



④看病や世話をしあげる人



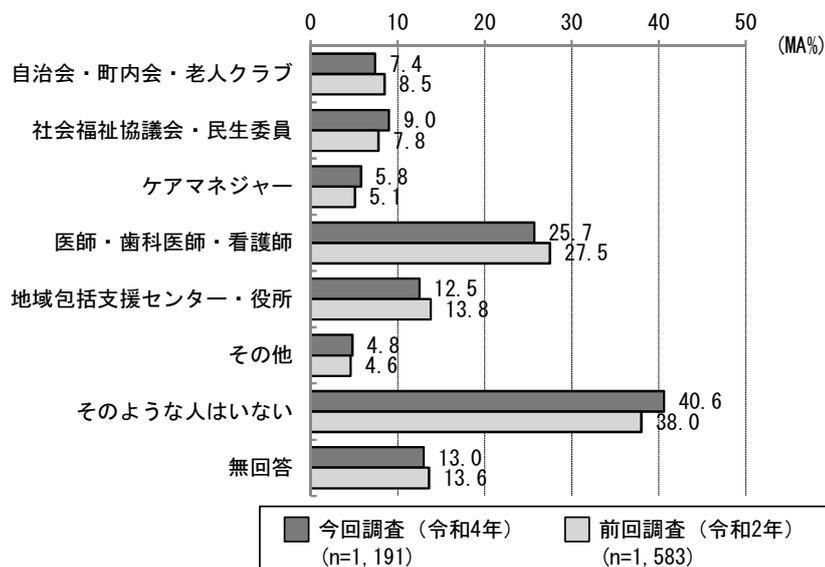
II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

〔2〕相談相手

問51：家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
(〇はいくつでも)

家族や友人・知人以外の相談相手は、「医師・歯科医師・看護師」が25.7%と最も多く、次いで、「地域包括支援センター・役所」が12.5%となっていますが、「そのような人はいない」が40.6%と多くみられます。

家族構成別にみると、「1人暮らし」の人の相談相手は「医師・歯科医師・看護師」に次いで「社会福祉協議会・民生委員」が14.1%と、他の世帯に比べて多くなっています。介護の必要性別にみると、「現在、何らかの介護を受けている」人では、「ケアマネジャー」が40.3%、「地域包括支援センター・役所」が22.4%と多くなっています。



【相談相手 家族構成別・介護の必要性別】

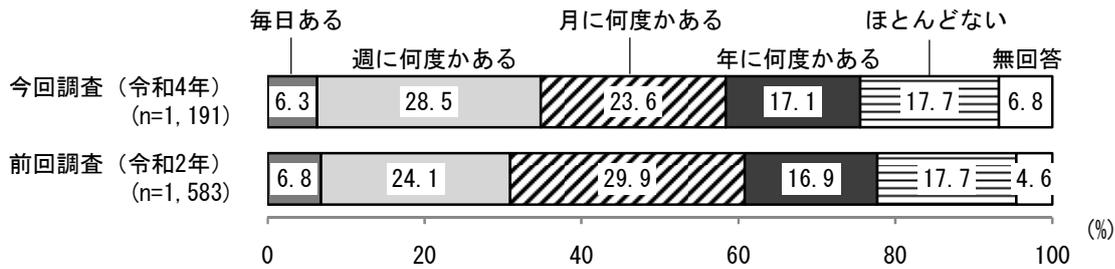
		n	自治会・町内会・老人クラブ	民生委員・社会福祉協議会	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1,191	88	107	69	306	149	57	484	155
家族構成別	1人暮らし	249	15	35	16	54	31	17	99	34
		100	7.4	9.0	5.8	25.7	12.5	4.8	40.6	13.0
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	492	6.0	14.1	6.4	21.7	12.4	6.8	39.8	13.7
		100	8.5	8.1	5.9	26.0	15.4	4.9	37.6	13.8
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	57	5	4	2	17	4	4	24	8
		100	8.8	7.0	3.5	29.8	7.0	7.0	42.1	14.0
	息子・娘との2世帯	147	9	9	10	44	10	4	69	15
	100	6.1	6.1	6.8	29.9	6.8	2.7	46.9	10.2	
その他	204	14	14	10	52	25	6	91	22	
	100	6.9	6.9	4.9	25.5	12.3	2.9	44.6	10.8	
介護の必要性別	介護・介助は必要ない	971	71	78	30	255	118	49	408	120
		100	7.3	8.0	3.1	26.3	12.2	5.0	42.0	12.4
	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	80	5	9	10	16	8	3	29	14
		100	6.3	11.3	12.5	20.0	10.0	3.8	36.3	17.5
現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)	67	3	12	27	19	15	1	19	11	
	100	4.5	17.9	40.3	28.4	22.4	1.5	28.4	16.4	

〔3〕友人・知人と会う頻度

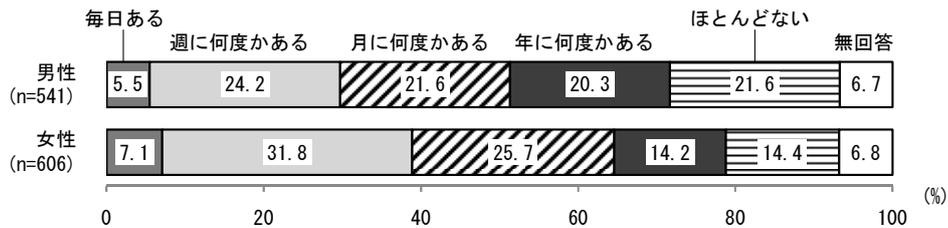
問52：友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

友人・知人と会う頻度は、「週に何度かある」が28.5%と最も多く、次いで、「月に何度かある」が23.6%、「年に何度かある」が17.1%、「毎日ある」が6.3%、「ほとんどない」が17.7%となっています。

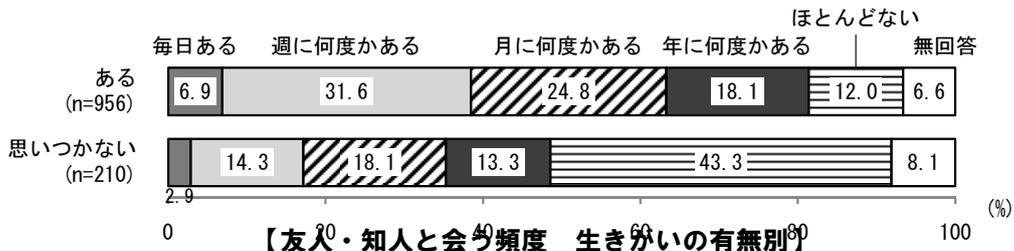
性別にみると、女性のほうが頻度の高い人が多く、また、趣味や生きがいが「ある」と回答している人のほうが頻度の高い人が多くなっています。



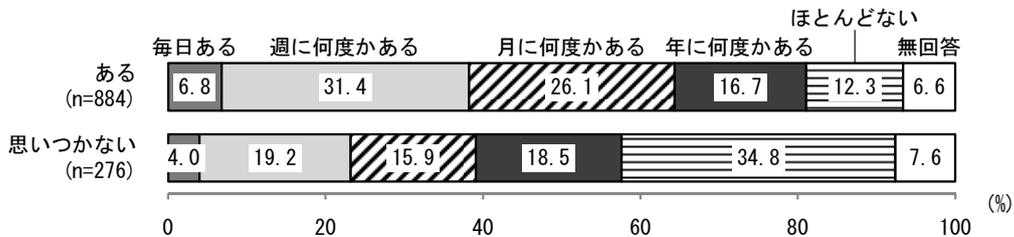
【友人・知人と会う頻度 性別】



【友人・知人と会う頻度 趣味の有無別】



【友人・知人と会う頻度 生きがいの有無別】



II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

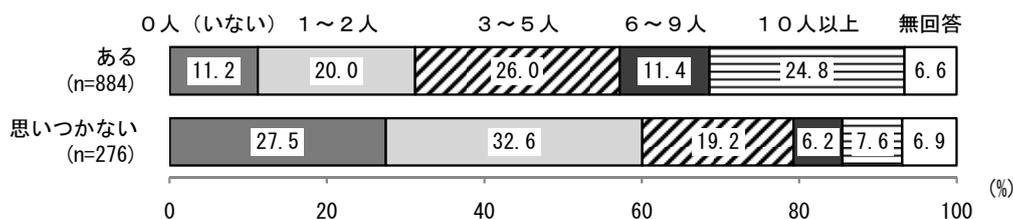
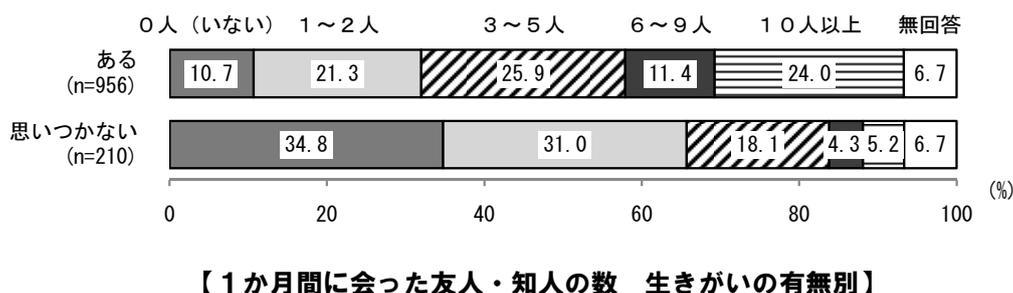
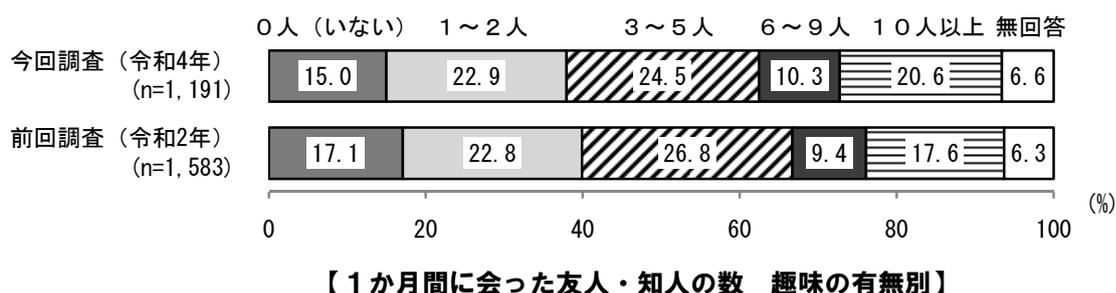
〔4〕 1か月間に会った友人・知人の数

問53：この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。(○は1つ)

※同じ人には何度会っても1人と数える

この1か月間に会った友人・知人の人数は、「3～5人」が24.5%と最も多く、次いで、「1～2人」が22.9%、「10人以上」が20.6%で、「0人（いない）」が15.0%となっています。

「0人（いない）」を選択した人は趣味を「思いつかない」人で34.8%、生きがいを「思いつかない」人で27.5%と多くなっています。

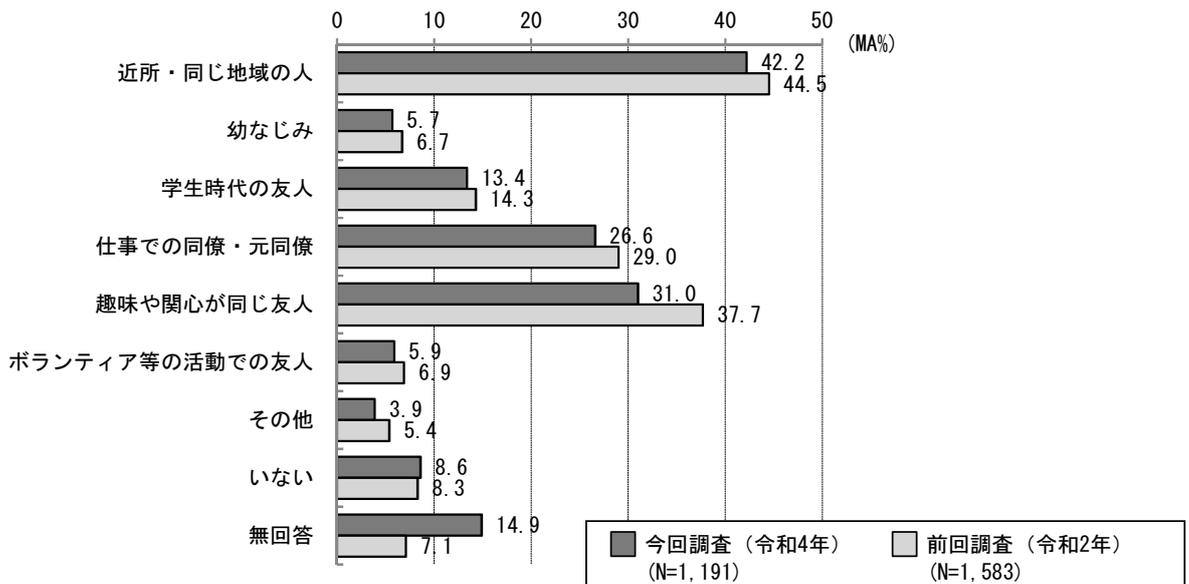


〔5〕よく会う友人・知人との関係

問54：よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(○はいくつでも)

よく会う友人・知人との関係は、「近所・同じ地域の人」が42.2%と最も多く、次いで、「趣味や関心が同じ友人」が31.0%、「仕事での同僚・元同僚」が26.6%となっています。

性別にみると、女性は「近所・同じ地域の人」が53.1%と、男性（30.5%）に比べて22.6ポイント多くなっています。年齢別にみると、「65～69歳」では「仕事での同僚・元同僚」が43.4%と他の年代に比べて多くなっています。また、趣味が「ある」と回答している人では、「趣味や関心が同じ友人」が36.4%となっています。



【よく会う友人・知人との関係 性別・年齢別・趣味の有無別】

	n	(MA%)									
		近所・同じ地域	幼なじみ	学生時代の友人	仕事・元同僚	趣味や関心が	ボランティア等の活動	その他	いない	無回答	
全体	1,191	503	68	159	317	369	70	46	102	177	
	100	42.2	5.7	13.4	26.6	31.0	5.9	3.9	8.6	14.9	
性別	男性	541	165	25	76	162	147	25	15	65	89
	100	30.5	4.6	14.0	29.9	27.2	4.6	2.8	12.0	16.5	
性別	女性	606	322	41	81	148	208	44	28	33	80
	100	53.1	6.8	13.4	24.4	34.3	7.3	4.6	5.4	13.2	
年齢別	65～69歳	249	81	11	44	108	62	16	9	20	41
	100	32.5	4.4	17.7	43.4	24.9	6.4	3.6	8.0	16.5	
	70～74歳	293	115	28	53	92	88	19	12	26	37
	100	39.2	9.6	18.1	31.4	30.0	6.5	4.1	8.9	12.6	
	75～79歳	262	124	10	30	52	98	21	7	21	36
	100	47.3	3.8	11.5	19.8	37.4	8.0	2.7	8.0	13.7	
	80～84歳	215	106	11	16	36	75	9	9	18	33
	100	49.3	5.1	7.4	16.7	34.9	4.2	4.2	8.4	15.3	
85～89歳	105	53	6	13	18	29	3	6	10	16	
100	50.5	5.7	12.4	17.1	27.6	2.9	5.7	9.5	15.2		
90歳以上	29	15	0	0	4	6	2	0	3	6	
100	51.7	0	0	13.8	20.7	6.9	0	10.3	20.7		
趣味の有無	ある	956	412	61	138	270	348	63	41	50	139
	100	43.1	6.4	14.4	28.2	36.4	6.6	4.3	5.2	14.5	
	思いつかない	210	75	7	16	38	13	3	5	50	36
100	35.7	3.3	7.6	18.1	6.2	1.4	2.4	23.8	17.1		

II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

〔6〕日常生活の手助け

問55：近所の人やボランティアに、手助けをしてもらいたいことはありますか。

(○はいくつでも)

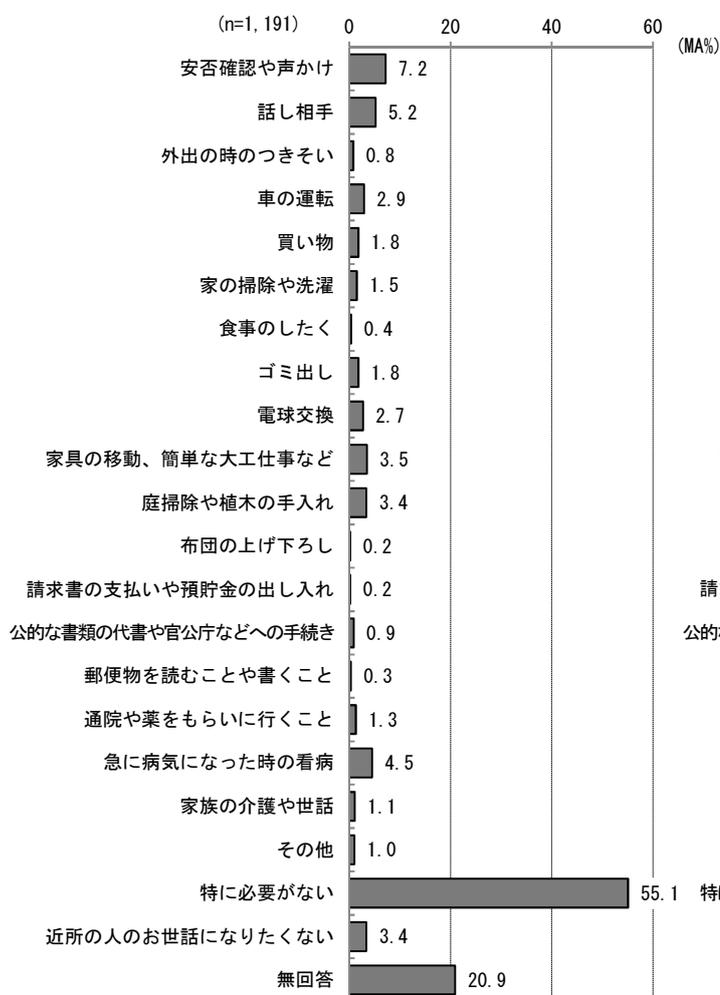
問56：近所の人困っている時に、あなたご自身が支援できることはありますか。

(○はいくつでも)

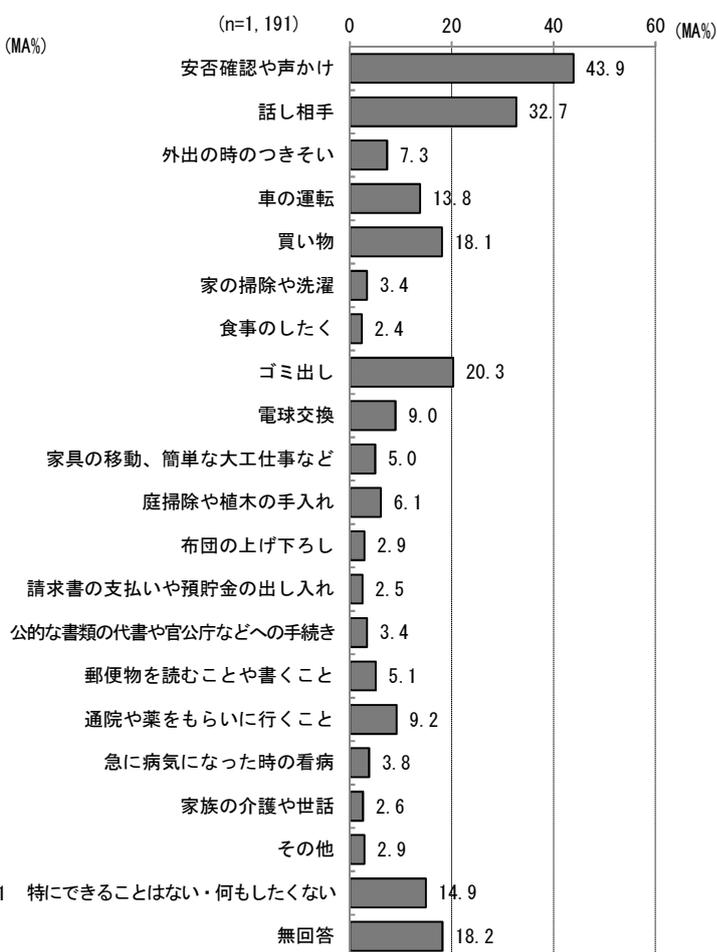
問55の近所の人やボランティアの手助けについては、「特に必要がない」が55.1%と半数を占めています。手助けをしてもらいたいことでは、「安否確認や声かけ」が7.2%と最も多く、次いで、「話し相手」が5.2%となっています。

次に、問56の近所の人困っている時にご自身が支援できることは、「安否確認や声かけ」が43.9%と最も多く、次いで、「話し相手」が32.7%、「ゴミ出し」が20.3%となっています。

【手助けしてもらいたいこと】



【自身が支援できること】



Ⅱ. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

「安否確認や声かけ」以外で、近所の人困っている時にご自身が支援できることを性別にみると、男性で特徴的なものとしては「車の運転」、「電球交換」など、女性で特徴的なものとしては「話し相手」、「買い物」が、全体に比べて多くなっています。

また、ボランティアや地域活動（町内会、老人クラブなど）を「今後やってみたい」と回答されている人や、地域の健康づくり活動やグループ活動に企画・運営（お世話役）としての参加意向のある人（「是非参加したい」「参加してもよい」「既に参加している」の合計）では、「安否確認や声かけ」、「話し相手」、「車の運転」、「買い物」、「ゴミ出し」、「電球交換」、「庭掃除や植木の手入れ」、「通院や薬をもらいに行くこと」など多くの項目に「支援できる」と回答しています。

【自身が支援できること 性別、ボランティアや地域活動への参加意向別】

		n	安 否 確 認 や 声 か け	話 し 相 手	い 外 出 の 時 の つ き そ	車 の 運 転	買 い 物	家 の 掃 除 や 洗 濯	食 事 の し た く	ゴ ミ 出 し	電 球 交 換	な 家 具 の 移 動 、 簡 単	入 庭 掃 除 や 植 木 の 手	(MA%)
全体		1191 100	523 43.9	389 32.7	87 7.3	164 13.8	216 18.1	40 3.4	28 2.4	242 20.3	107 9.0	59 5.0	73 6.1	
性別	男性	541 100	223 41.2	132 24.4	34 6.3	120 22.2	65 12.0	14 2.6	3 0.6	104 19.2	93 17.2	55 10.2	46 8.5	
	女性	606 100	286 47.2	248 40.9	50 8.3	38 6.3	143 23.6	25 4.1	23 3.8	130 21.5	11 1.8	1 0.2	24 4.0	
参加 地 域 活 動 に ア リ	ボ ラ ン テ ィ ア を 「 や っ て み た い 」 （ 問 44⑨）	192 100	110 57.3	78 40.6	19 9.9	46 24.0	54 28.1	15 7.8	8 4.2	59 30.7	32 16.7	24 12.5	23 12.0	
	地 域 活 動 （ 町 内 会 、 老 人 ク ラ ブ な ど） を 「 や っ て み た い 」 （ 問 44⑩）	152 100	76 50.0	60 39.5	15 9.9	36 23.7	41 27.0	15 9.9	7 4.6	42 27.6	23 15.1	13 8.6	17 11.2	
	グ ル ー プ 活 動 に 企 画 ・ 運 営 （ お 世 話 役） と し て 「 参 加 し た い 」 （ 問 47）	346 100	198 57.2	157 45.4	51 14.7	72 20.8	92 26.6	26 7.5	16 4.6	98 28.3	44 12.7	29 8.4	37 10.7	
		n	布 団 の 上 げ 下 ろ し	預 貯 金 の 出 し 入 れ や	請 求 書 の 支 払 い や	手 続 公 的 な 公 的 な 支 払 い の 書	や 郵 書 便 物 を 読 む こ と	に 通 院 や 薬 を も ら い	時 急 に 病 気 に な つ た	家 族 の 介 護 や 世 話	そ の 他	な な い に で き る こ と は	無 回 答	
全体		1191 100	34 2.9	30 2.5	40 3.4	61 5.1	109 9.2	45 3.8	31 2.6	34 2.9	178 14.9	217 18.2		
性別	男性	541 100	18 3.3	14 2.6	28 5.2	25 4.6	49 9.1	17 3.1	19 3.5	15 2.8	90 16.6	103 19.0		
	女性	606 100	14 2.3	15 2.5	11 1.8	34 5.6	54 8.9	25 4.1	11 1.8	17 2.8	81 13.4	103 17.0		
参加 地 域 活 動 に ア リ	ボ ラ ン テ ィ ア を 「 や っ て み た い 」 （ 問 44⑨）	192 100	8 4.2	10 5.2	12 6.3	16 8.3	28 14.6	10 5.2	11 5.7	3 1.6	7 3.6	35 18.2		
	地 域 活 動 （ 町 内 会 、 老 人 ク ラ ブ な ど） を 「 や っ て み た い 」 （ 問 44⑩）	152 100	8 5.3	9 5.9	10 6.6	13 8.6	26 17.1	10 6.6	8 5.3	2 1.3	11 7.2	29 19.1		
	グ ル ー プ 活 動 に 企 画 ・ 運 営 （ お 世 話 役） と し て 「 参 加 し た い 」 （ 問 47）	346 100	18 5.2	16 4.6	27 7.8	33 9.5	62 17.9	29 8.4	17 4.9	8 2.3	22 6.4	56 16.2		

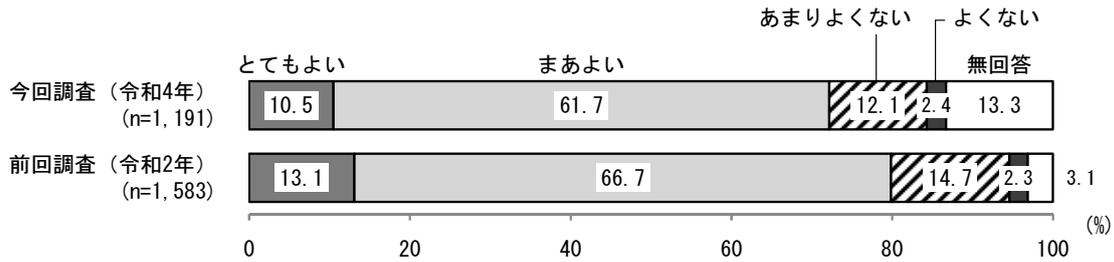
7 健康について

〔1〕主観的健康感

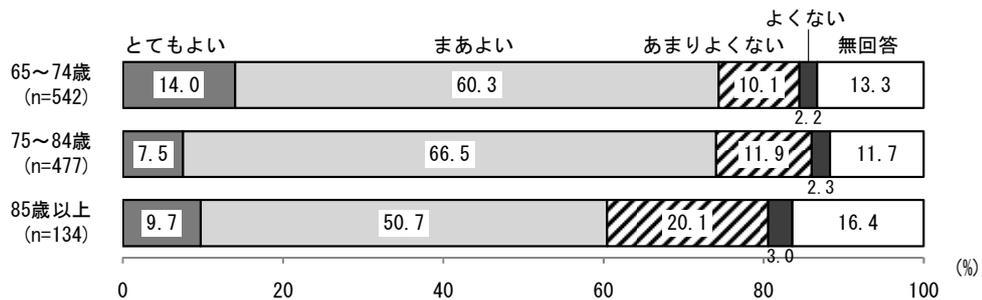
問57：現在のあなたの健康状態はいかがですか。（○は1つ）

現在の健康状態については、「とてもよい」と「まあよい」を合わせた『よい』が72.2%、「よくない」と「あまりよくない」を合わせた『よくない』が14.5%となっています。

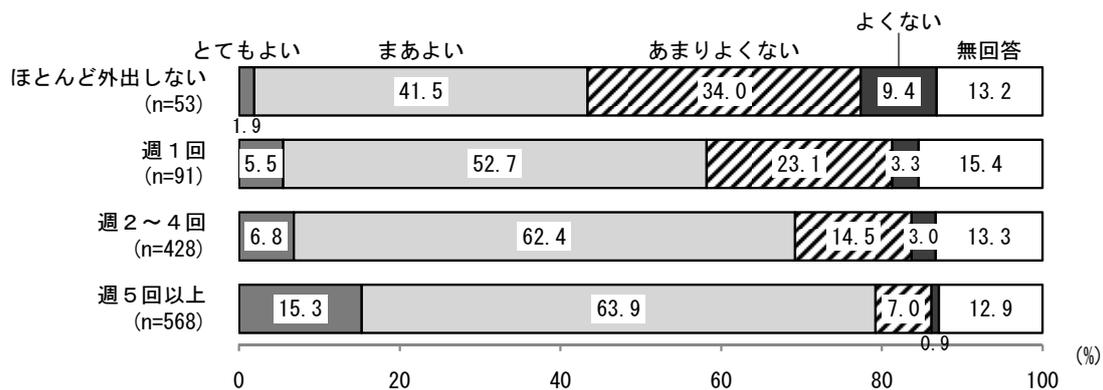
「よくない」「あまりよくない」は85歳以上で23.1%、外出が「週1回」の人で26.4%、「ほとんど外出しない」人では43.4%と多くなっています。



【主観的健康感 年齢別】



【主観的健康感 外出頻度別】



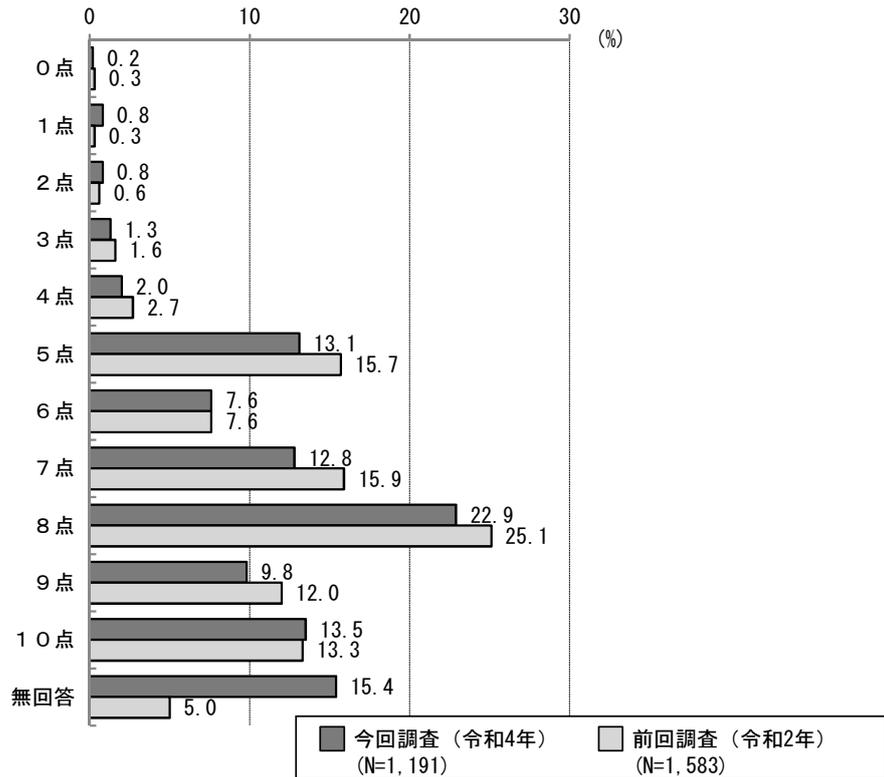
〔2〕主観的幸福感

問58：あなたは、現在どの程度幸せですか。

※「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として評価

現在の幸福感を10点満点で評価してもらったところ、「8点」が22.9%と最も多く、次いで、「10点」が13.5%、「5点」が13.1%で、平均は7.3点と、前回調査と変わっていません。

経済的に「大変苦しい」、「やや苦しい」人や、趣味や生きがいが「思いつかない」人では「5点」が最も多く、幸福感が低い傾向がみられます。



【主観的幸福感 経済状況別、趣味の有無別、生きがいの有無別】

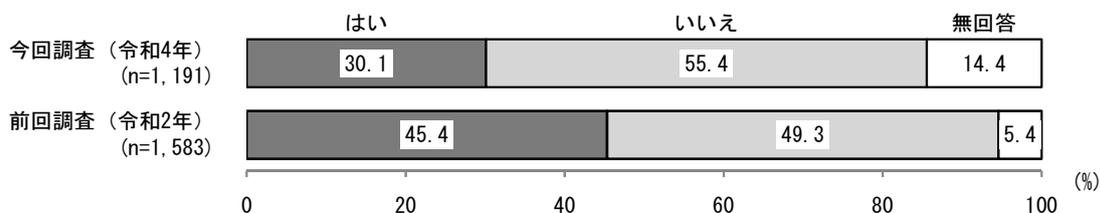
		n	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体		1191	2	9	9	15	24	156	90	152	273	117	161	183
		100	0.2	0.8	0.8	1.3	2.0	13.1	7.6	12.8	22.9	9.8	13.5	15.4
経済状況別	大変苦しい	85	1	4	7	6	7	15	6	6	7	1	8	17
		100	1.2	4.7	8.2	7.1	8.2	17.6	7.1	7.1	8.2	1.2	9.4	20.0
	やや苦しい	274	0	5	1	6	10	57	22	40	49	16	25	43
		100	0	1.8	0.4	2.2	3.6	20.8	8.0	14.6	17.9	5.8	9.1	15.7
	ふつう	650	0	0	0	2	6	71	48	88	175	65	99	96
		100	0	0	0	0.3	0.9	10.9	7.4	13.5	26.9	10.0	15.2	14.8
ややゆとりがある		92	0	0	0	0	1	3	6	9	26	20	16	11
		100	0	0	0	0	1.1	3.3	6.5	9.8	28.3	21.7	17.4	12.0
大変ゆとりがある		16	0	0	0	0	0	0	0	1	3	6	3	3
		100	0	0	0	0	0	0	0	6.3	18.8	37.5	18.8	18.8
趣味別	ある	956	0	3	4	12	17	105	70	125	229	98	146	147
		100	0	0.3	0.4	1.3	1.8	11.0	7.3	13.1	24.0	10.3	15.3	15.4
思いつかない		210	1	5	5	3	7	46	19	25	40	13	13	33
		100	0.5	2.4	2.4	1.4	3.3	21.9	9.0	11.9	19.0	6.2	6.2	15.7
生きがいが別	ある	884	0	1	4	3	15	74	57	121	222	102	144	141
		100	0	0.1	0.5	0.3	1.7	8.4	6.4	13.7	25.1	11.5	16.3	16.0
思いつかない		276	1	7	5	11	9	76	31	27	47	10	14	38
		100	0.4	2.5	1.8	4.0	3.3	27.5	11.2	9.8	17.0	3.6	5.1	13.8

II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

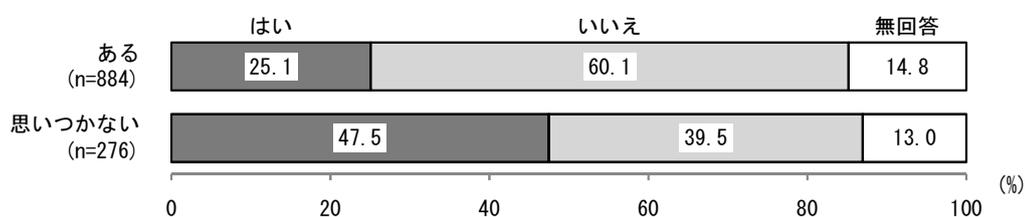
〔3〕 ゆうつ感や物事に対する興味の喪失感

問59：この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○は1つ)

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについては、生きがいが「思いつかない」と回答した人の47.5%が「はい（ゆううつな気持ちになったりすることがあった）」と回答しています。

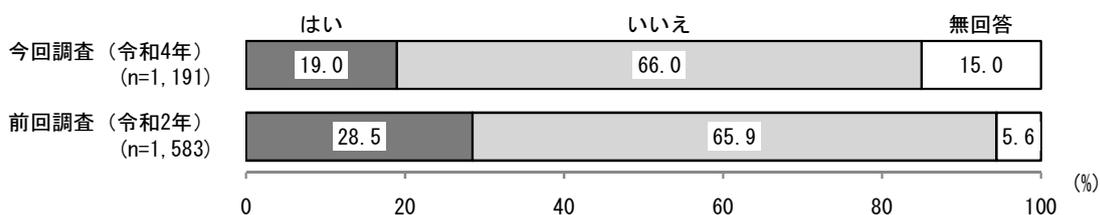


【ゆううつ感 生きがいの有無別】

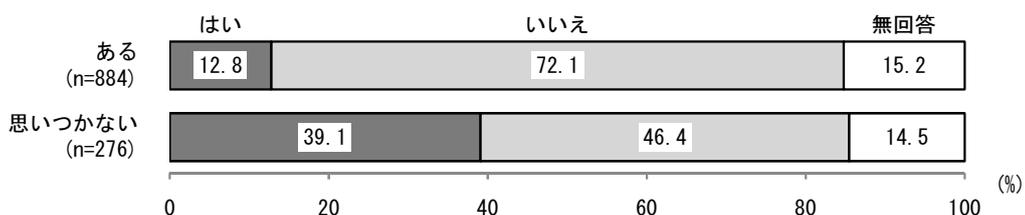


問60：この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ)

この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったかについては、生きがいが「思いつかない」と回答した人の39.1%が「はい（物事に対して興味がわかない、心から楽しめないことがあった）」と回答しています。

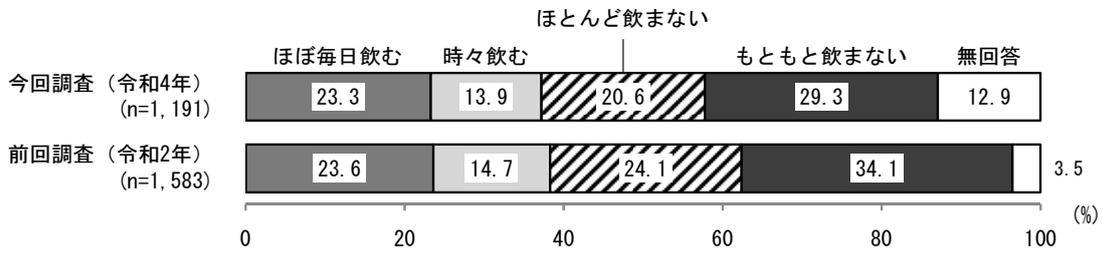


【物事に対する興味の喪失感 生きがいの有無別】

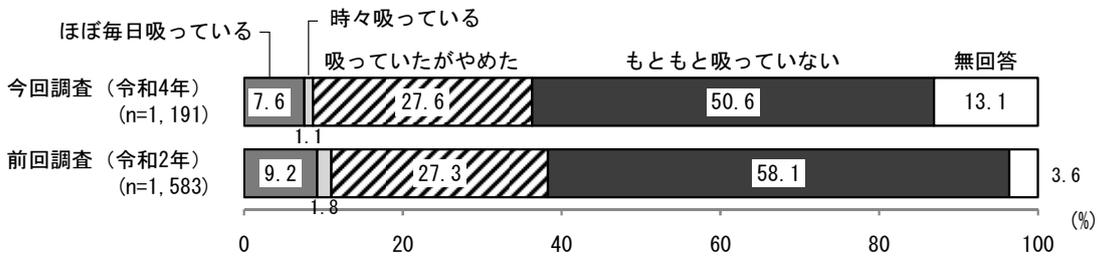


〔4〕 飲酒・喫煙習慣

問61：お酒は飲みますか。(○は1つ)



問62：タバコは吸っていますか。(○は1つ)

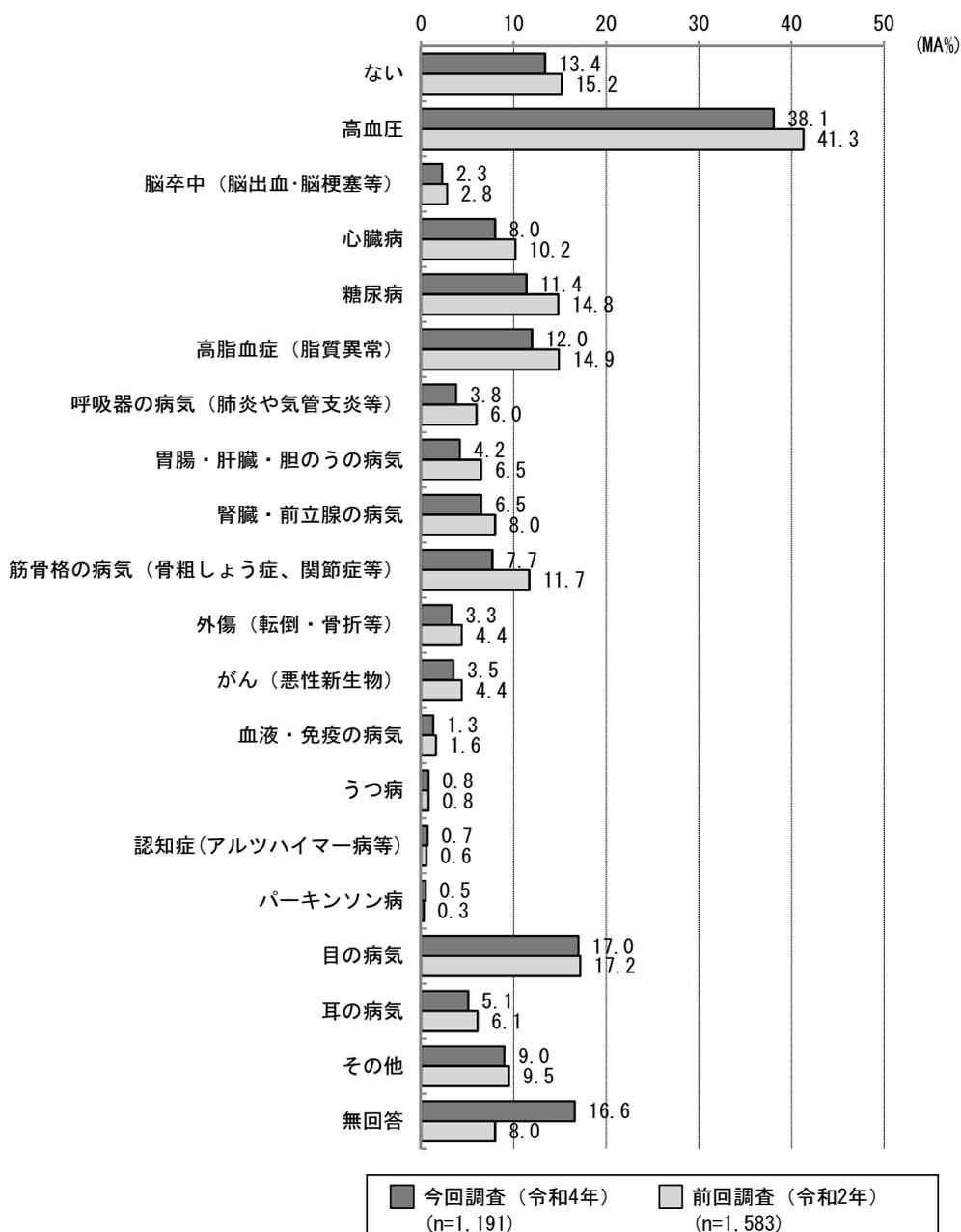


〔5〕治療中、後遺症のある病気

問63：現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(〇はいくつでも)

治療中や後遺症のある病気については、「高血圧」が38.1%と最も多く、次いで、「目の病気」が17.0%となっています。

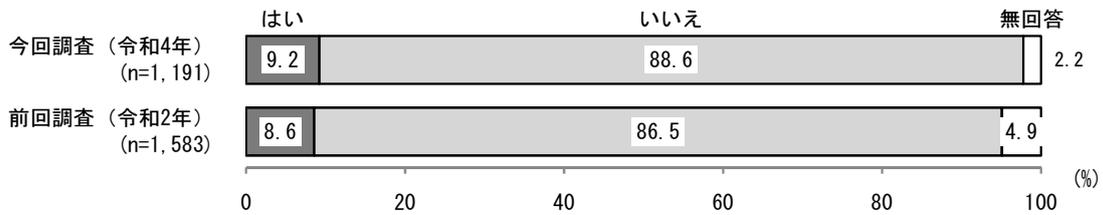
前回調査に比べて、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が4.0ポイント、「糖尿病」が3.4ポイント、「高血圧」が3.2ポイント、「高脂血症（脂質異常）」が2.9ポイント減少しており、大きく増えたものはありませんでした。



8 認知症や在宅医療などについて

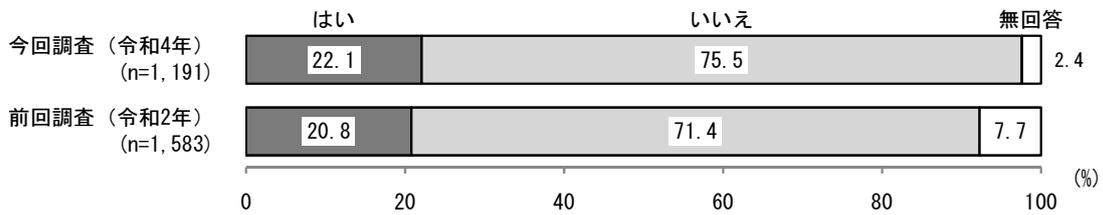
〔1〕 認知症状の有無

問64：あなたは認知症の症状がありますか。又はご家族に認知症の症状がある人がいますか。
(○は1つ)



〔2〕 相談窓口の認知

問65：認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)



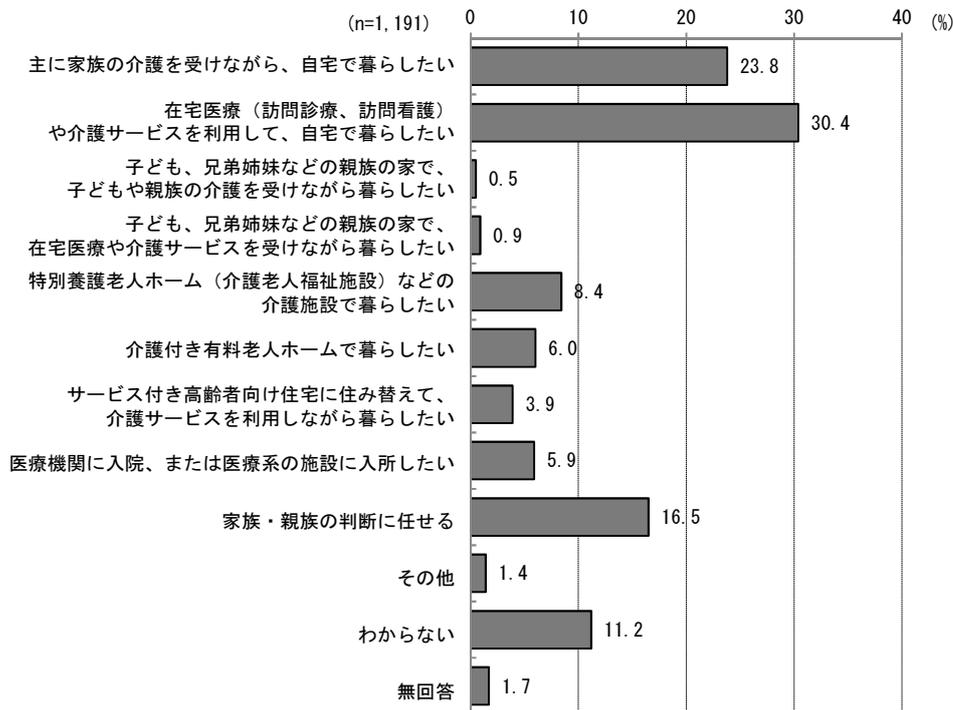
II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

〔3〕療養や介護が必要になった場合の住まいの希望

問66：あなたは、病気等により療養や介護が必要になった場合、どこでどのように過ごしたいですか。(○は1つ)

病気等により療養や介護が必要になった場合の住まいの希望としては、「在宅医療（訪問診療、訪問看護）や介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい」が30.4%と最も多く、次いで、「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」が23.8%と、自宅での生活を望む人が多くなっています。

介護の必要性別にみると、何らかの介護が必要な人で、「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」がそれぞれ35%台と多くなっています。



※複数回答も有効として集計

【療養や介護が必要になった場合の住まいの希望 介護の必要性別】

介護の必要性別	n	住まいの希望 (%)											
		主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい	在宅医療（訪問診療、訪問看護）や介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい	子ども、兄弟姉妹などの親族の家で、子どもや親族の介護を受けながら暮らしたい	子ども、兄弟姉妹などの親族の家で、在宅医療や介護サービスを受けながら暮らしたい	特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）などの介護施設で暮らしたい	介護付き有料老人ホームで暮らしたい	サービス付き高齢者向け住宅に住み替えて、介護サービスを利用しながら暮らしたい	医療機関に入院、または医療系の施設に入所したい	家族・親族の判断に任せる	その他	わからない	無回答
全体	1191	23.8	30.4	0.5	0.9	8.4	6.0	3.9	5.9	16.5	1.4	11.2	1.7
介護の必要性別	介護・介助は必要ない	217	29.4	3	8	81	61	44	58	162	14	109	12
	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	80	28	25	1	2	5	3	3	14	2	4	5
	現在、何らかの介護を受けている	67	24	23	1	1	7	3	0	5	8	9	0
	100	22.3	30.3	0.3	0.8	8.3	6.3	4.5	6.0	16.7	1.4	11.2	1.2
	100	35.0	31.3	1.3	2.5	6.3	3.8	1.3	3.8	17.5	2.5	5.0	6.3
	100	35.8	34.3	1.5	1.5	10.4	4.5	0	7.5	11.9	0	13.4	0

9 生活機能評価等に関する分析

本調査は、地域における高齢者の課題や必要な支援・サービス等をよりの確に把握するため、国が示す「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の調査項目を取り入れており、介護予防事業の「基本チェックリスト」や「手段的自立度（IADL）」などの指標の判定に関する調査項目が設定されています。

本報告書の『生活機能評価等に関する分析』では、これらの調査項目を使用し、各指標の判定（リスク評価等）を行っています。

〔1〕生活機能評価

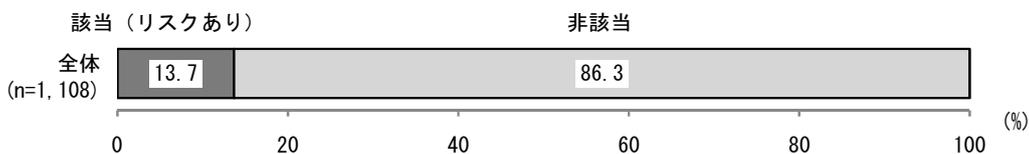
①運動器の機能低下

国の手引きに基づいて、調査票の以下の設問を抽出し、下記の5項目のうち3項目以上に該当する人を「運動器の機能低下」のリスク該当者と判定しています。

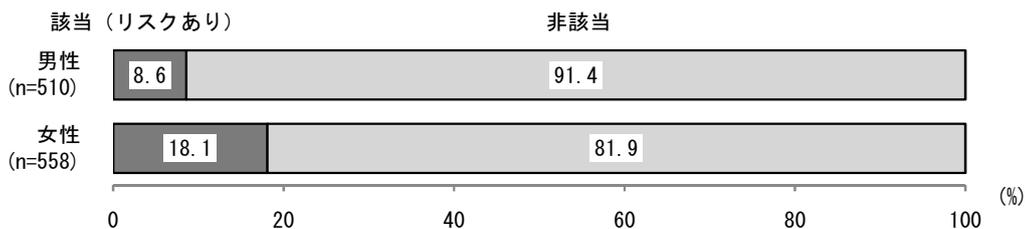
問番号	設問	該当する選択肢
問8	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	3. できない
問9	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	3. できない
問10	15分位続けて歩いていますか	3. できない
問11	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある
問12	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である

II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

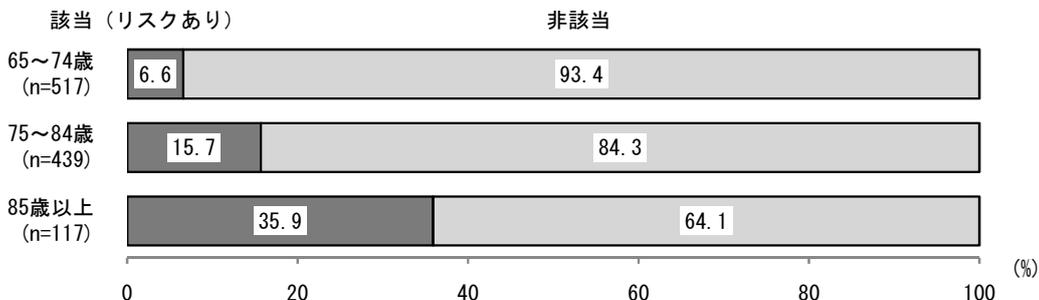
該当者（リスクあり）は全体で 13.7%となっています。性別には女性で 18.1%と多く、また、年齢が上がるほどリスク該当者は増加し、85歳以上では 35.9%となっています。居住校区分には藤井寺小学校区で 17.2%と多く、道明寺南小学校区では 8.7%と少なくなっています。



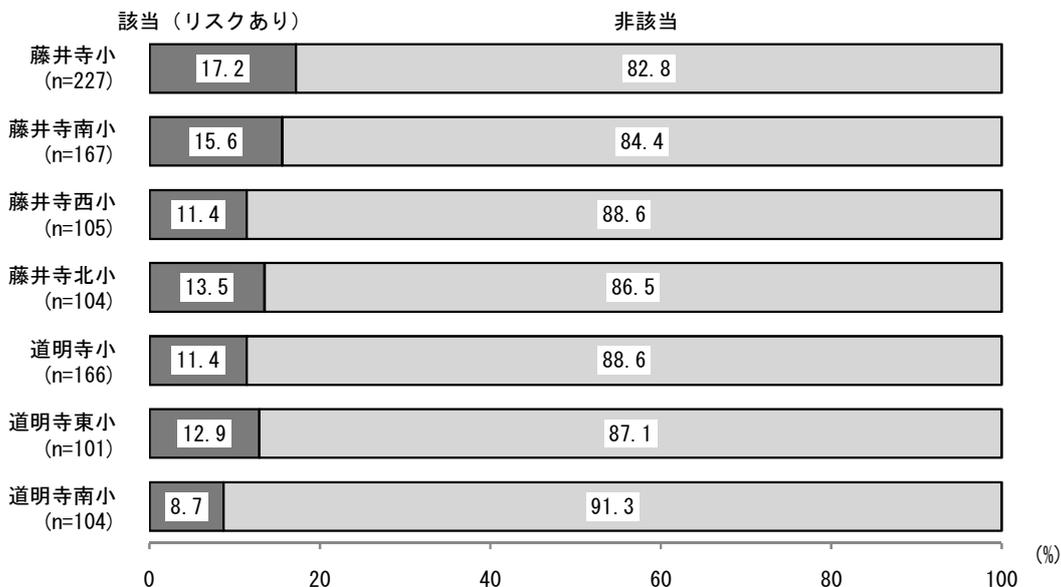
【運動器の機能低下 性別】



【運動器の機能低下 年齢別】



【運動器の機能低下 居住校区分別】



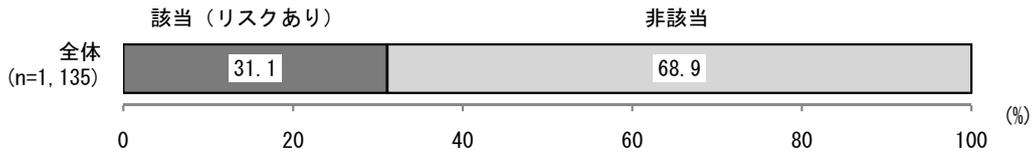
※無回答により判定・評価困難な場合は、調査数（n数）から除外して集計しています（以下同様）。

②転倒リスク

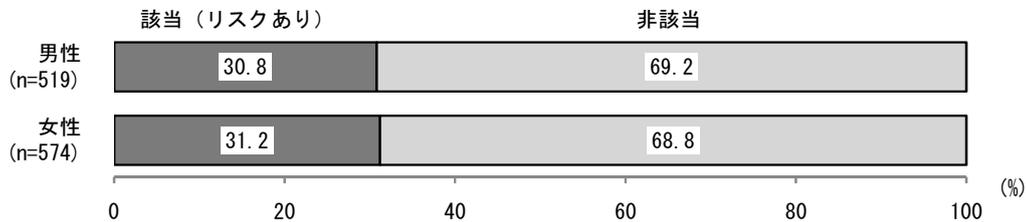
国の手引きに基づいて、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を「転倒」のリスク該当者と判定しました。

問番号	設問	該当する選択肢
問 11	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある

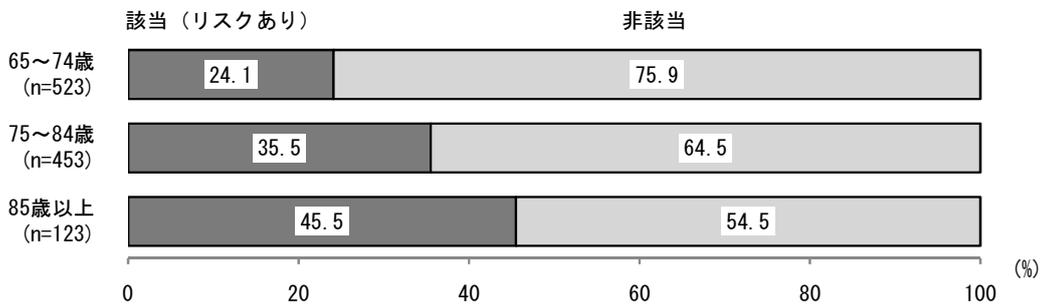
該当者（リスクあり）は全体で 31.1%となっています。性別には差はみられず、また、年齢が上がるほどリスク該当者は増加し、85歳以上では 45.5%となっています。居住校区别には藤井寺小学校区で 35.2%、道明寺小学校区で 33.1%とやや多くなっています。



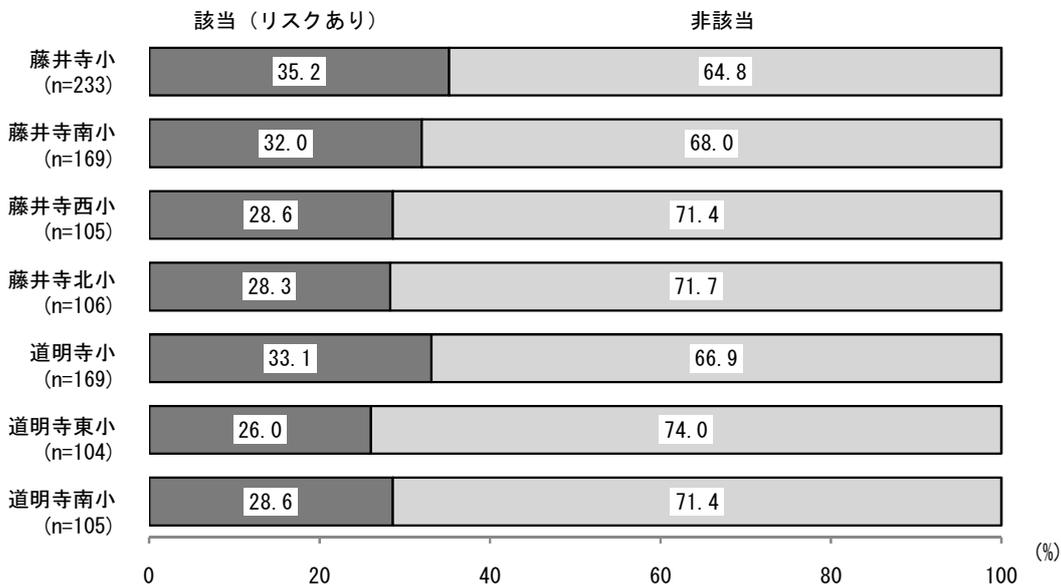
【転倒リスク 性別】



【転倒リスク 年齢別】



【転倒リスク 居住校区别】



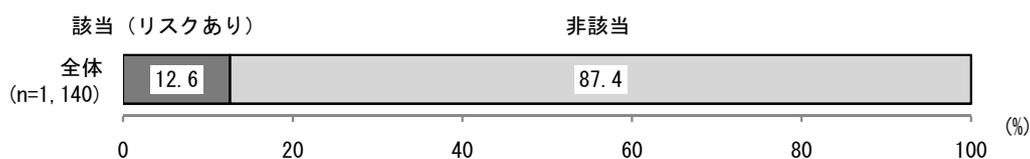
II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

③閉じこもり傾向

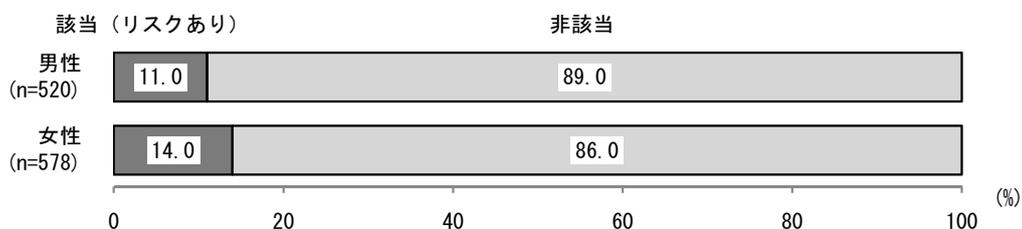
国の手引きに基づいて、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を「閉じこもり傾向」のリスク該当者と判定しました。

問番号	設問	該当する選択肢
問 13	週に何回外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

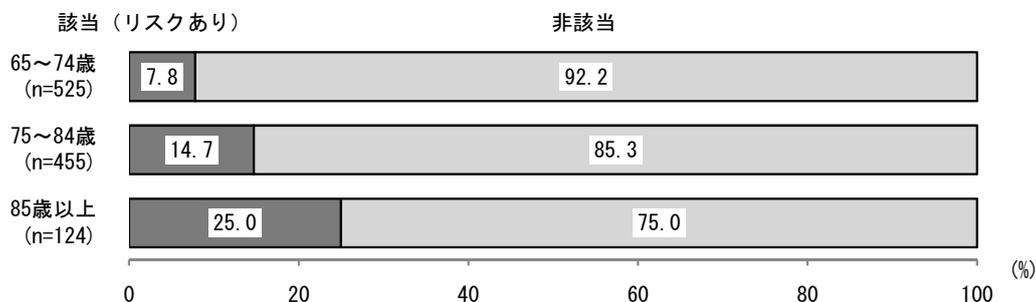
該当者（リスクあり）は全体で 12.6%となっています。性別にはやや女性で多く、年齢が上がるほどリスク該当者は増加し、85歳以上では 25.0%となっています。居住校区别には道明寺東小学校区で 15.2%とやや多くなっています。



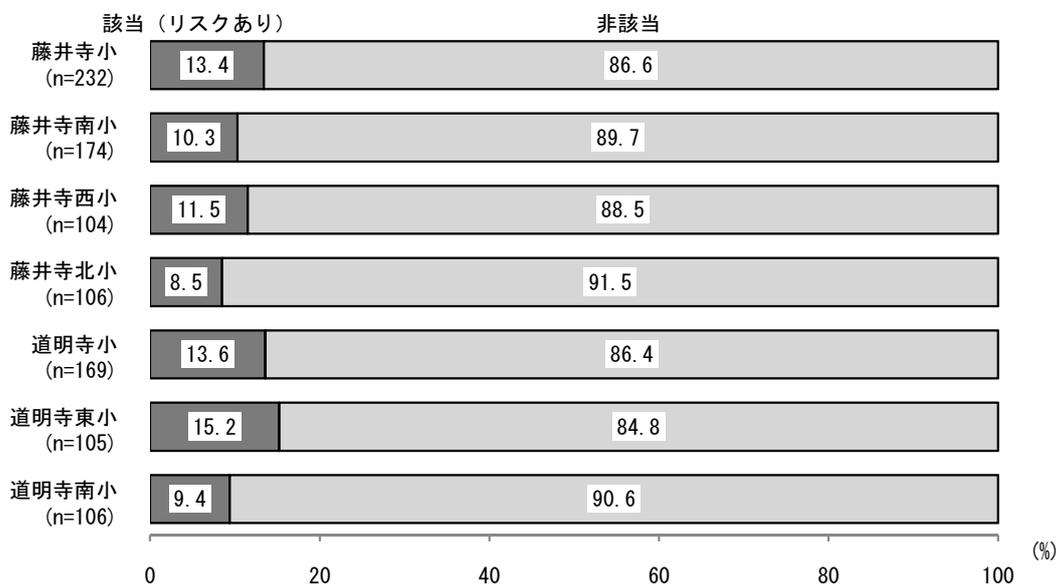
【閉じこもり傾向 性別】



【閉じこもり傾向 年齢別】



【閉じこもり傾向 居住校区别】

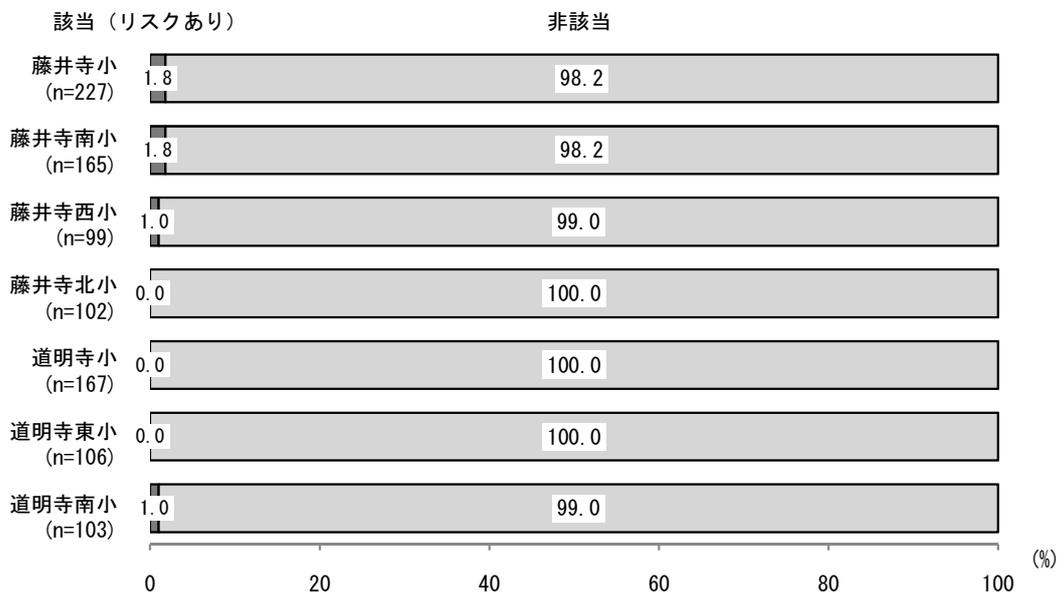
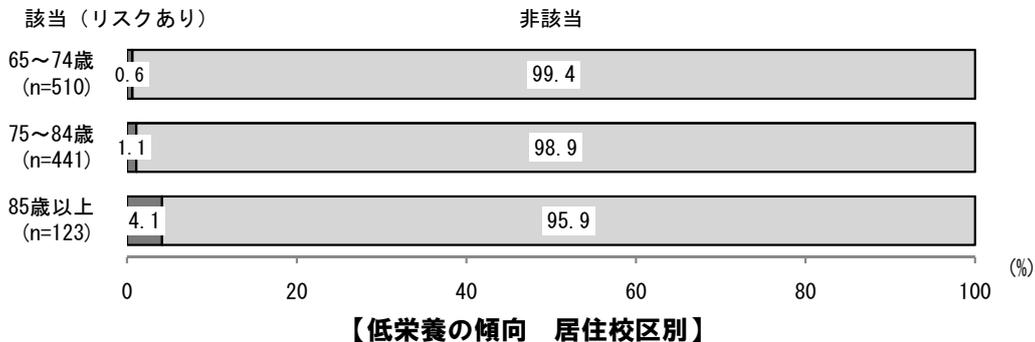
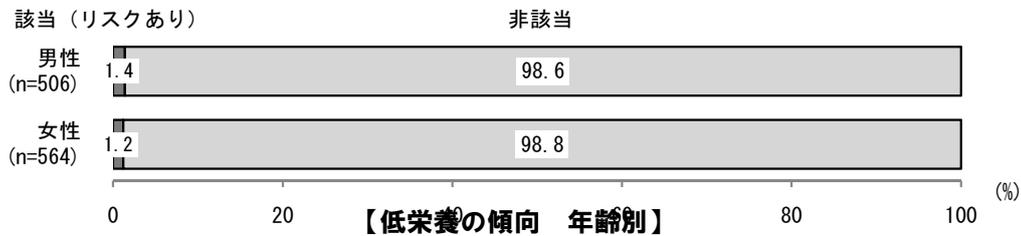


④低栄養の傾向

国の手引きに基づいて、調査票の以下の設問を抽出し、2項目ともに該当する人を『低栄養の傾向』のリスク該当者と判定しました。

問番号	設問	該当する選択肢
問 17	身長と体重をお教えてください	身長・体重から算出したBMI値が18.5未満
問 24	最近6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい

該当者（リスクあり）は全体で1.4%となっています。性別には差はみられず、年齢別には85歳以上で4.1%とやや多くなっています。居住校区別には藤井寺小学校区や藤井寺南小学校区で1.8%みられます。



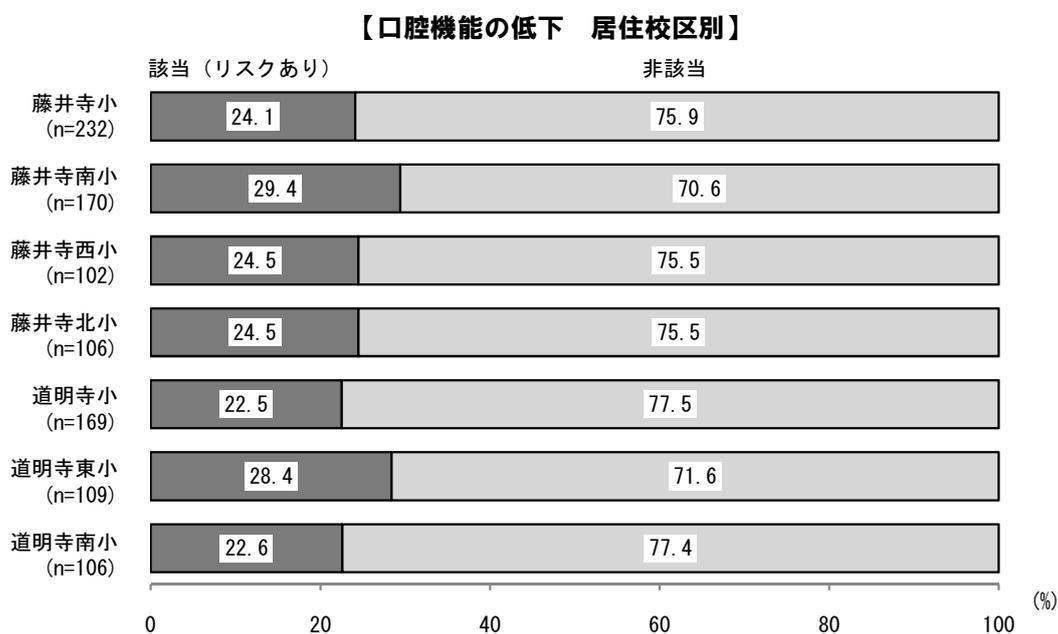
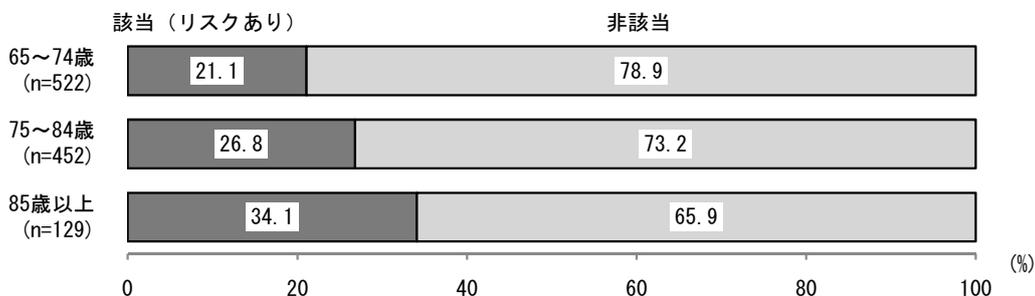
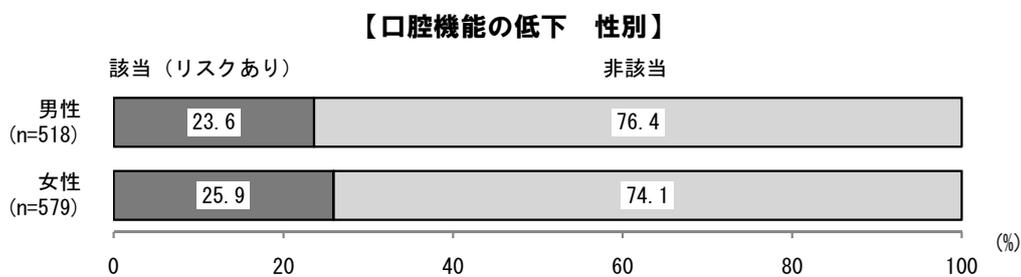
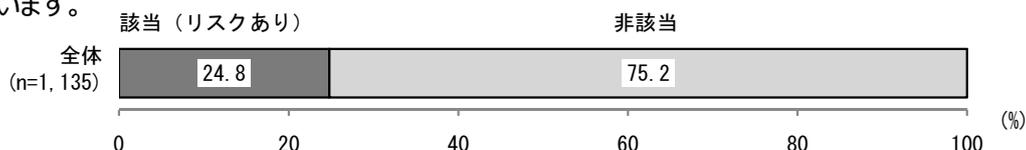
II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

⑤口腔機能の低下

国の手引きに基づいて、調査票の以下の設問を抽出し、3項目のうち2項目以上に該当する人を「口腔機能の低下」のリスク該当者と判定しました。

問番号	設問	該当する選択肢
問 18	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい
問 19	お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい
問 20	口の渇きが気になりますか	1. はい

該当者（リスクあり）は全体で 24.8%となっています。性別にはあまりは差はなく、年齢別には 85 歳以上で 34.1%と多くなっています。居住校区别には藤井寺南小学校区で 29.4%、道明寺東小学校区で 28.4%とや多くなっています。

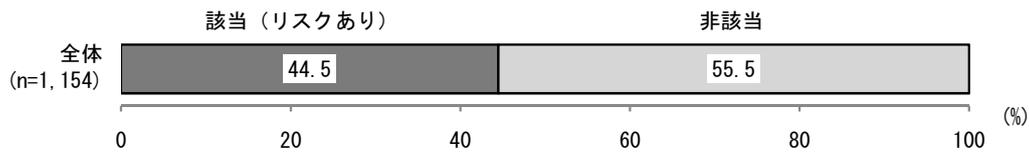


⑥認知機能の低下

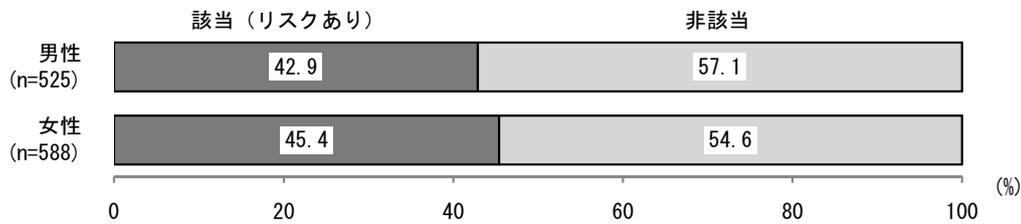
国の手引きに基づいて、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を「認知機能の低下」のリスク該当者と判定しました。

問番号	設問	該当する選択肢
問 26	物忘れが多いと感じますか	1. はい

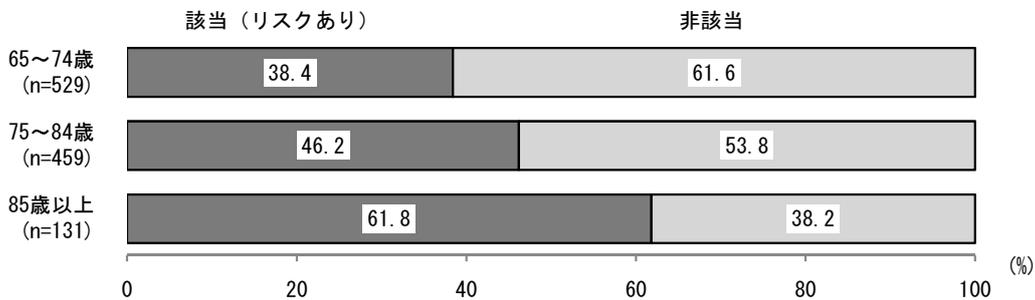
該当者（リスクあり）は全体で 44.5%となっています。性別にはあまり差はなく、年齢別には 85 歳以上で 61.8%と多くなっています。居住校区別には藤井寺小学校区で 50.0%、道明寺東小学校区で 49.5%、道明寺南小学校区で 47.2%とやや多くなっています。



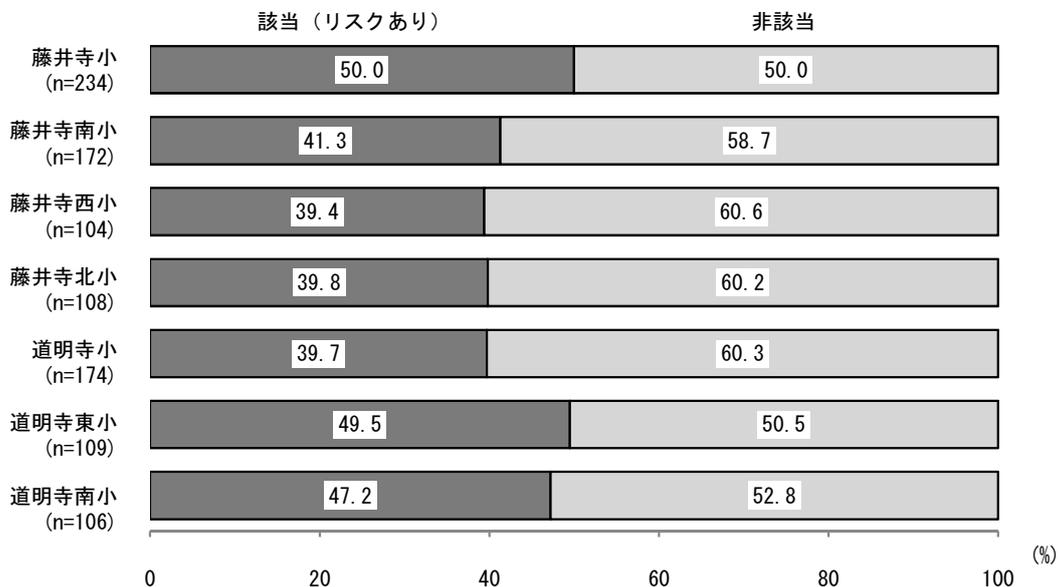
【認知機能の低下 性別】



【認知機能の低下 年齢別】



【認知機能の低下 居住校区別】



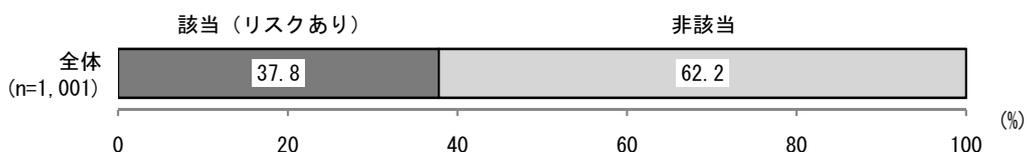
II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

⑦うつ傾向

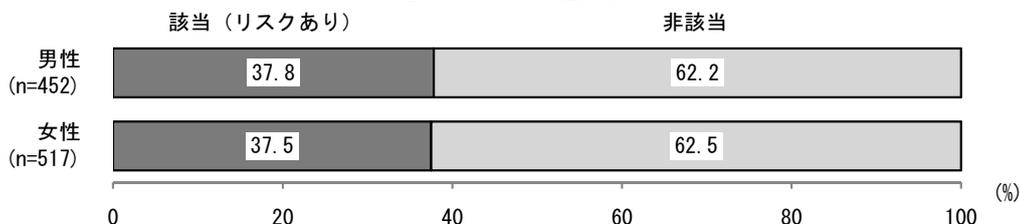
国の手引きに基づいて、調査票の以下の設問を抽出し、2項目のいずれかに該当する人を「うつ傾向」のリスク該当者と判定しました。

問番号	設問	該当する選択肢
問 59	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい
問 60	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい

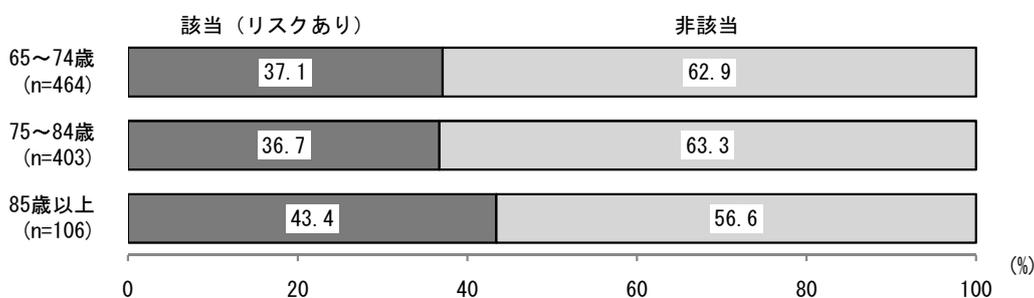
該当者（リスクあり）は全体で 37.8%となっています。性別には差はなく、年齢別には 85 歳以上で 43.4%とやや多くなっています。居住校区别には藤井寺北小学校区で 43.4%とやや多く、道明寺小学校区では 30.3%と少なくなっています。



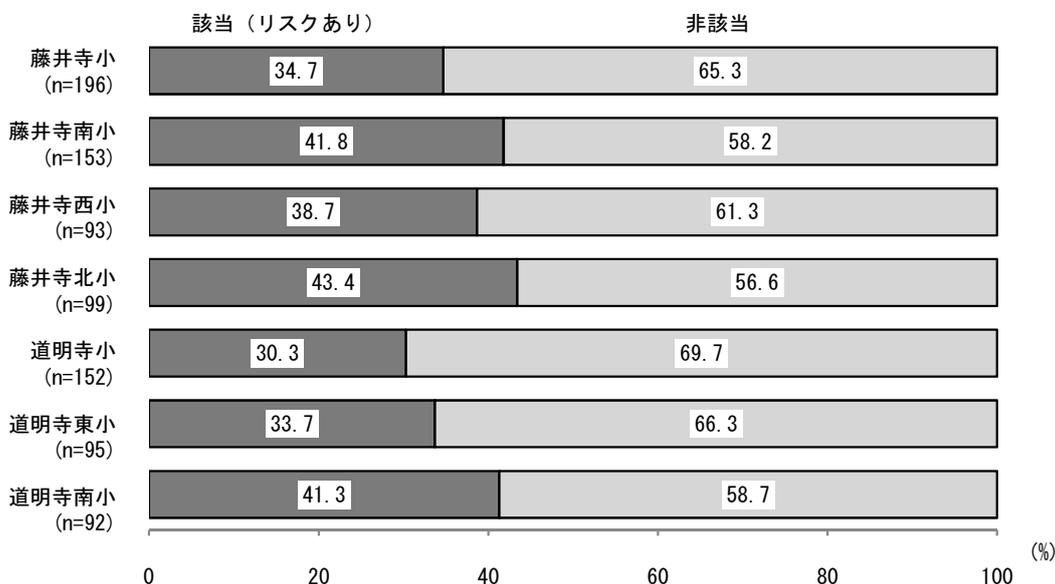
【うつ傾向 性別】



【うつ傾向 年齢別】



【うつ傾向 居住校区别】



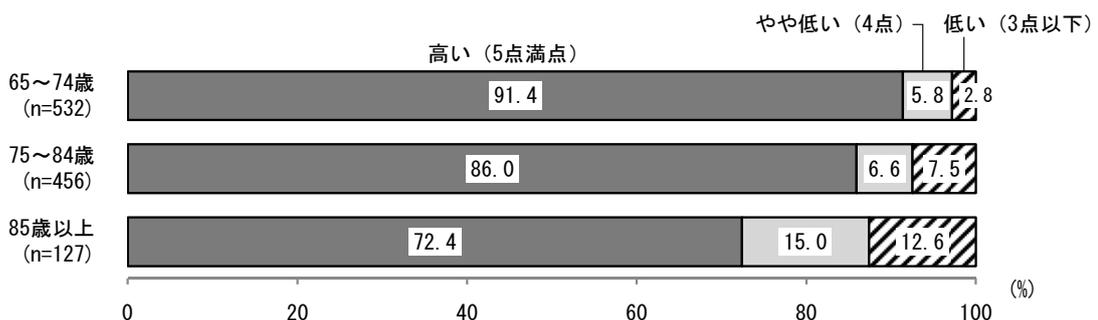
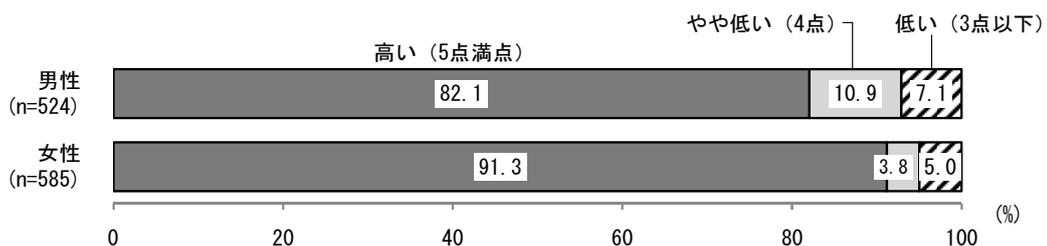
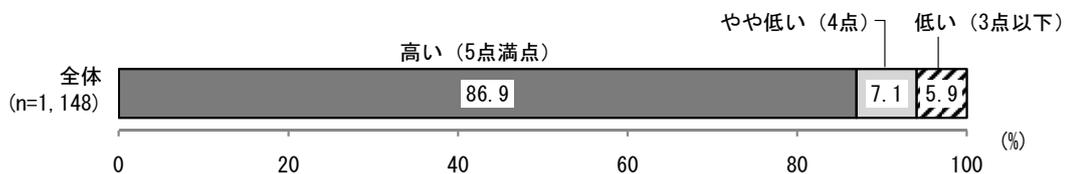
〔2〕日常生活評価

①手段的自立度（IADL）

高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標に準じた設問に基づき、活動的な日常生活をおくるための能力（手段的自立度：IADL）が低下している人の状況を把握します。評価は、調査票の以下の5つの設問に対し「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を“1点”として5問の合計点を算出し、5点満点中5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」（※4点以下は手段的自立度（IADL）が低下している人）と評価しました。

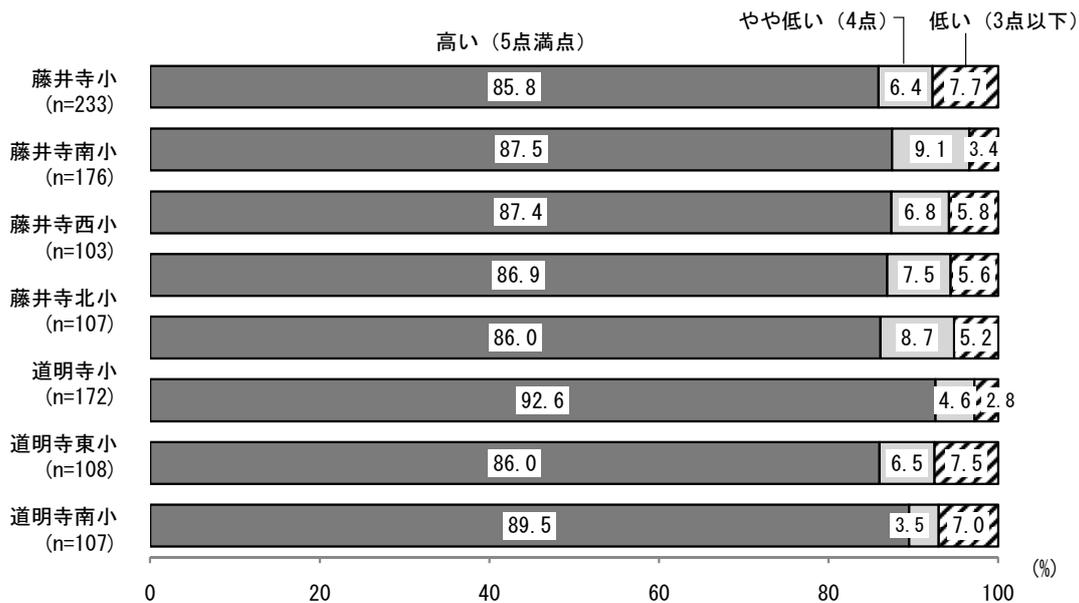
問番号	設問	該当する選択肢
問 29	バスや電車を使って1人で外出していますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない
問 30	自分で食品・日用品の買物をしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない
問 31	自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない
問 32	自分で請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない
問 33	自分で預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない

「手段的自立度（IADL）」が低下している人（「やや低い」「低い」の計）は全体で13.0%となっています。性別には男性で18.0%と女性よりも多く、年齢別には85歳以上で27.6%と多くなっています。居住校区別には道明寺小学校区で7.4%と少なくなっています。



II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

【手段的自立度（IADL） 居住校区別】



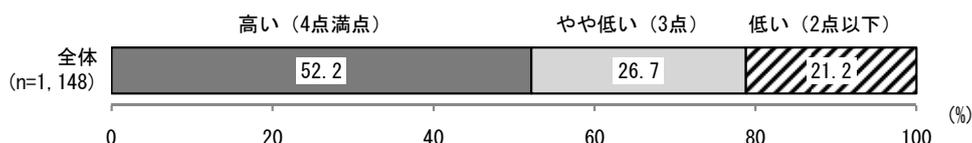
〔3〕社会参加評価

①知的能動性

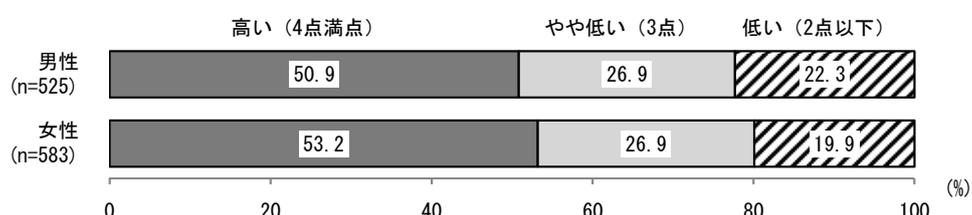
老研式活動能力指標に準じた設問に基づき、余暇や創作など生活を楽しむ能力が低下している人の状況を把握します。評価は、調査票の以下の4つの設問に対し「はい」と回答した場合を“1点”として4問の合計点を算出し、4点満点中4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」（※3点以下を知的能動性が低下している人）と評価しました。

問番号	設問	該当する選択肢
問 34	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	1. はい
問 35	新聞を読んでいますか	1. はい
問 36	本や雑誌を読んでいますか	1. はい
問 37	健康についての記事や番組に関心がありますか	1. はい

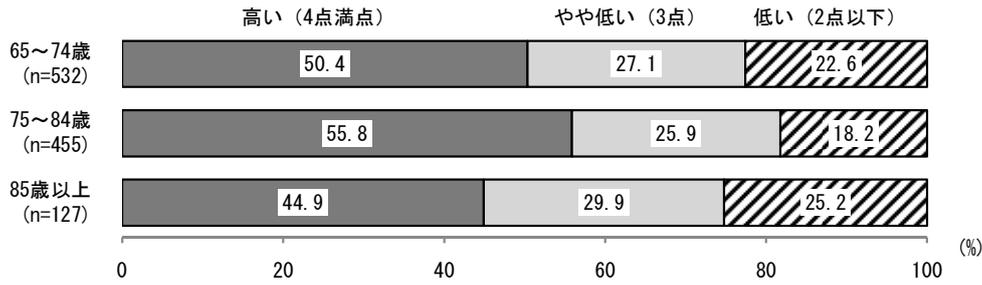
「知的能動性」の低下している人（「やや低い」「低い」の計）は全体で 47.9%となっています。性別には男性で 49.2%と女性よりもやや多く、年齢別には 85 歳以上で 55.1%と多くなっています。居住校区別には藤井寺南小学校区で 39.3%と少なくなっています。



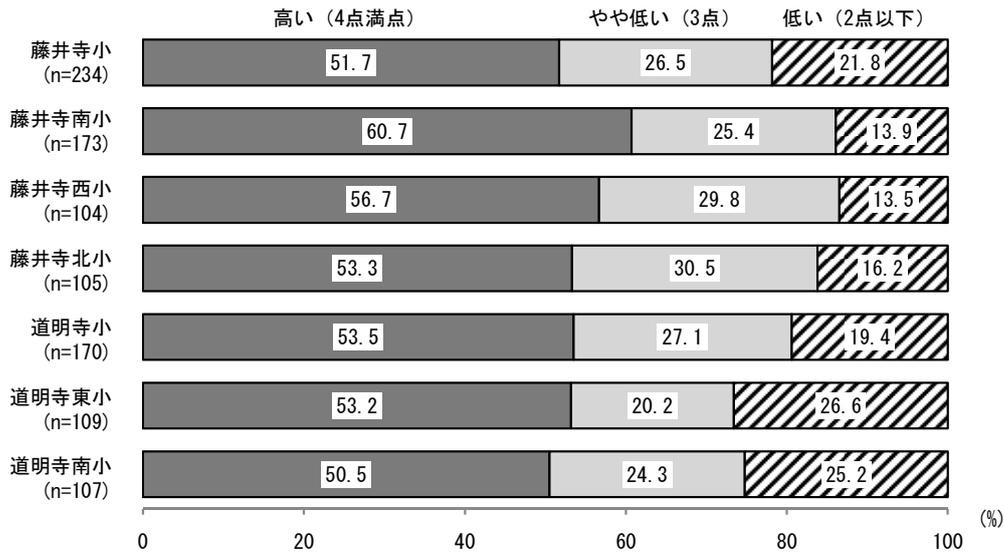
【知的能動性 性別】



【知的能動性 年齢別】



【知的能動性 居住校区別】



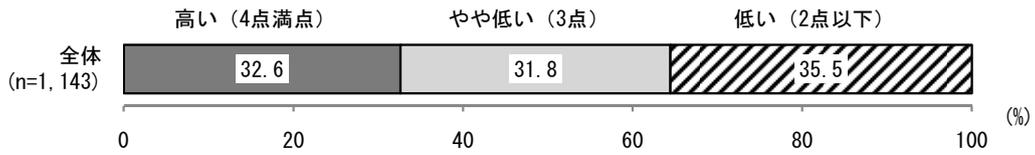
②社会的役割

老研式活動能力指標に準じた設問に基づき、地域で社会的な役割を果たす能力が低下している人の状況を把握します。評価は、調査票の以下の4つの設問に対し「はい」と回答した場合を“1点”として4問の合計点を算出し、4点満点中4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」（※3点以下を社会的役割が低下している人）と評価しました。

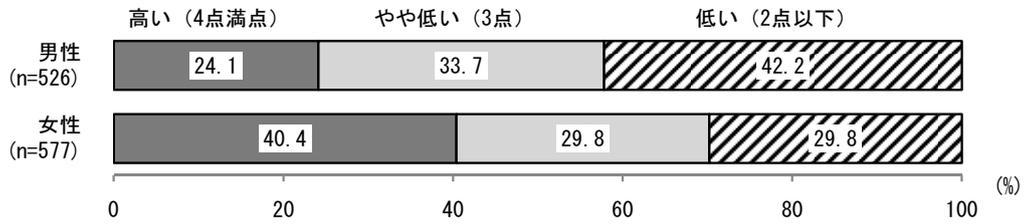
問番号	設問	該当する選択肢
問 38	友人の家を訪ねていますか	1. はい
問 39	家族や友人の相談にのっていますか	1. はい
問 40	病人を見舞うことができますか	1. はい
問 41	若い人に自分から話しかけることがありますか	1. はい

「社会的役割」の低下している人（「やや低い」「低い」の計）は全体で 67.3%となっています。性別には男性で 75.9%と女性よりも多く、年齢別には 85 歳以上で 77.0%と多くなっています。居住校区別には道明寺南小学校区で 71.0%とやや多くなっています。

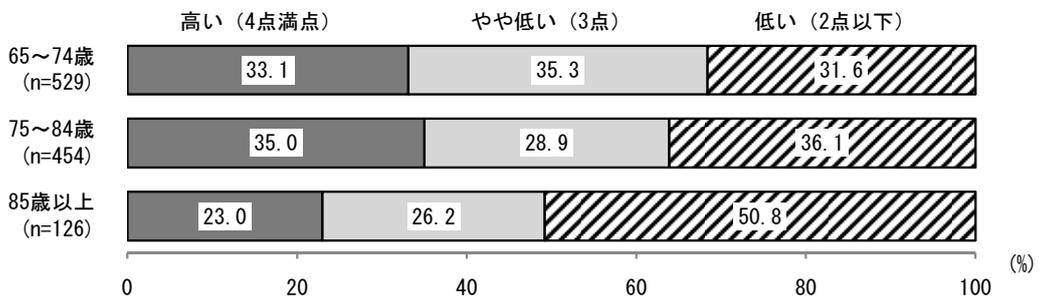
II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査



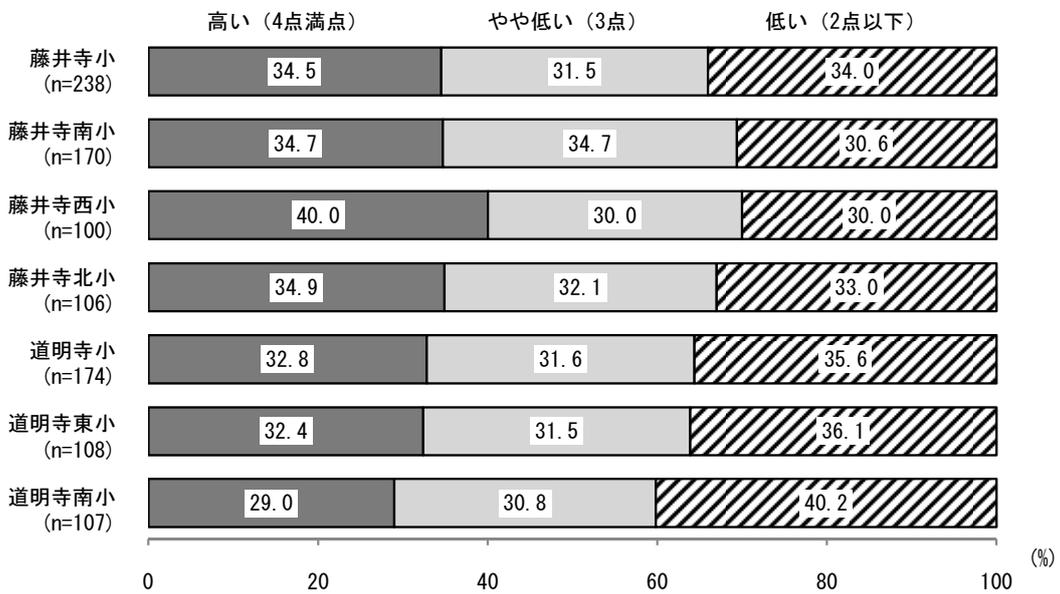
【社会的役割 性別】



【社会的役割 年齢別】



【社会的役割 居住校区別】

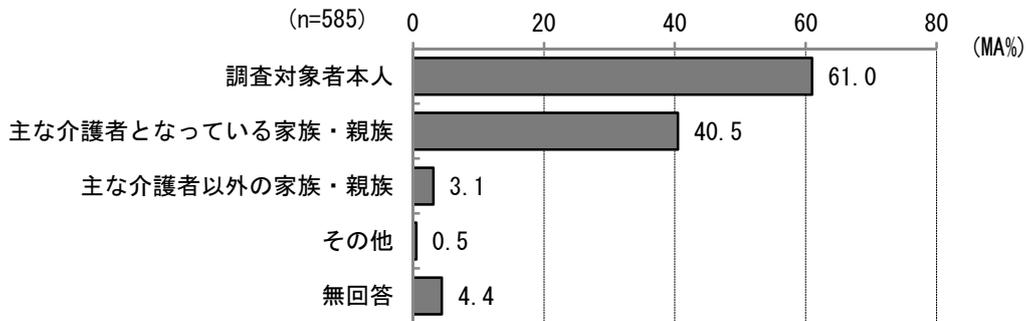


2. 在宅介護実態調査

1 調査対象者について

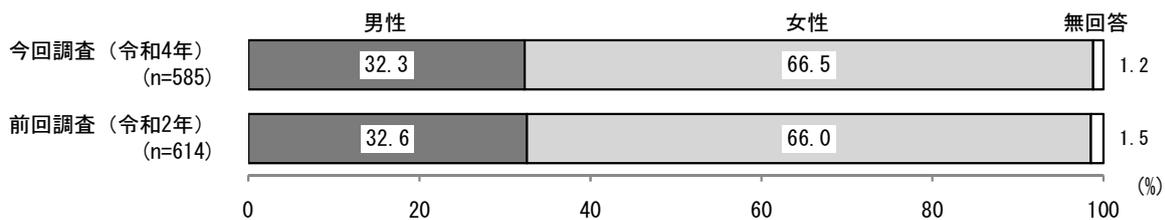
〔1〕 調査票の記入者

この調査票にご回答されるのは、どなたですか。(○はいくつでも)



〔2〕 性別

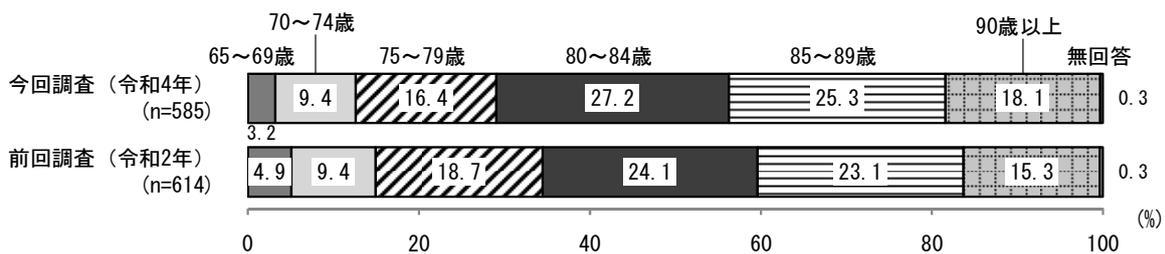
問1：性別はどちらですか。(○は1つ)



〔3〕 年齢

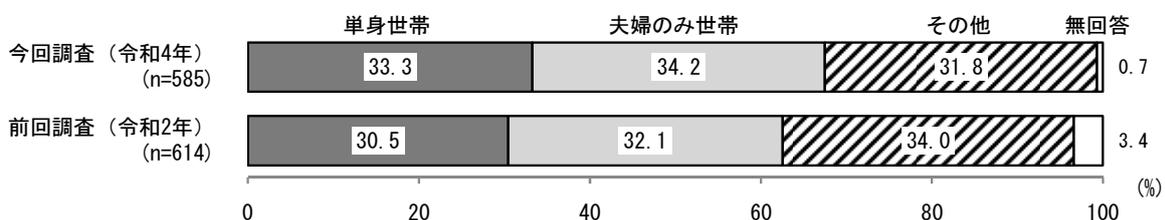
問2：令和4年11月1日現在の年齢はおいくつですか。(○は1つ)

前回調査に比べて、後期高齢者が5.8ポイント増加しています。



〔4〕 世帯類型

問3：世帯類型はどのようになっていますか。(○は1つ)

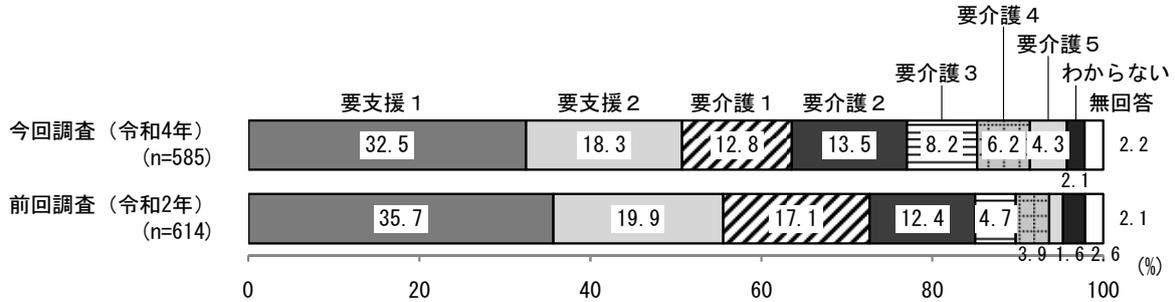


II. 調査結果 2. 在宅介護実態調査

〔5〕要介護度

問4：調査対象者様ご本人の要介護度について、ご回答ください。(○は1つ)

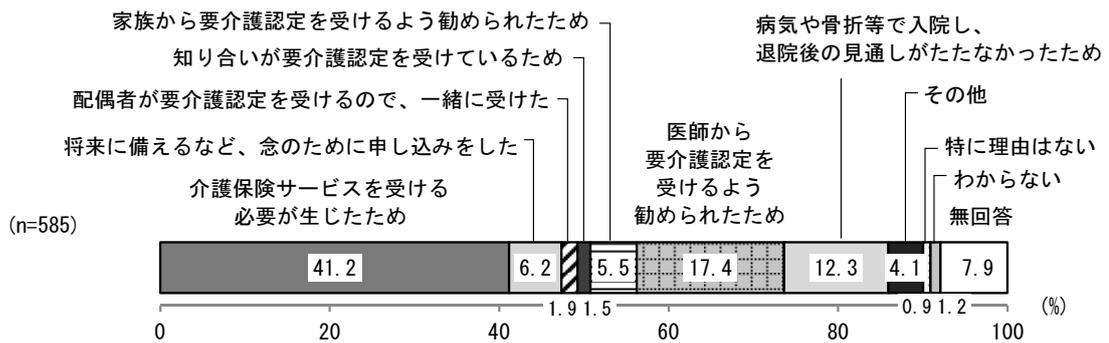
「要支援1」が32.5%と最も多く、次いで、「要支援2」が18.3%、「要介護2」が13.5%、「要介護1」が12.8%で、『要介護3以上』は合計18.7%となっています。前回調査に比べて、『要介護3以上』は8.5ポイント増加しています。



〔6〕要介護認定を申請したきっかけ

問5：要介護認定を初めて申請したきっかけは何ですか。(○は1つ)

「介護保険サービスを受ける必要が生じたため」が41.2%と最も多く、次いで、「医師から要介護認定を受けるよう勧められたため」が17.4%、「病気や骨折等で入院し、退院後の見通しがたたなかったため」が12.3%となっています。

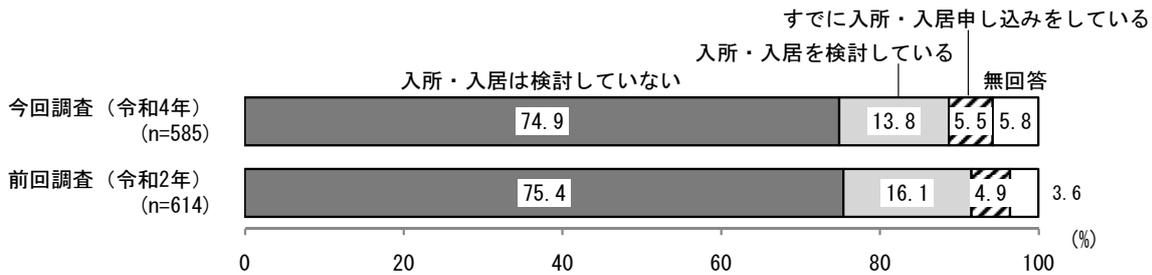


〔7〕施設等入所の検討状況

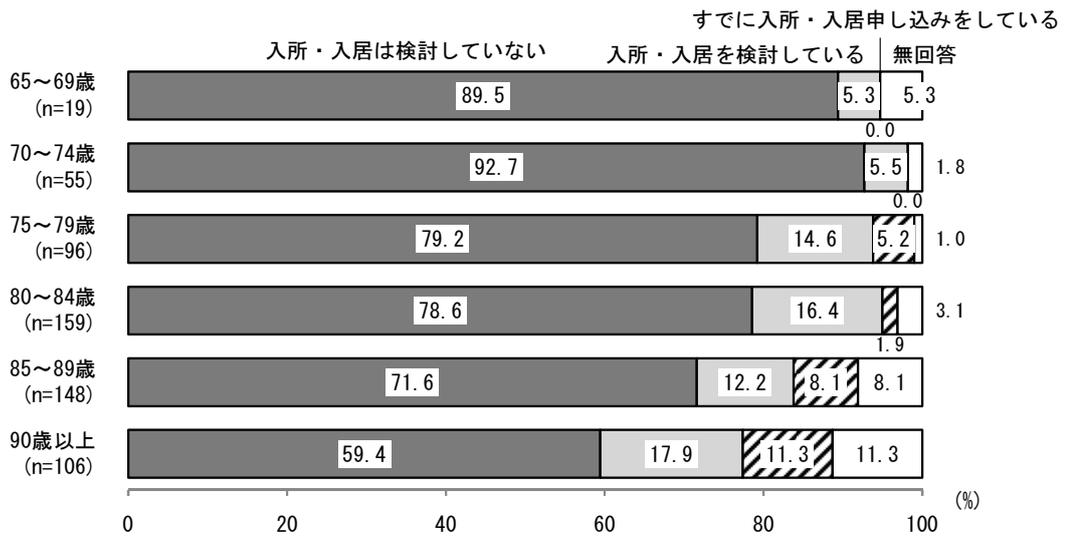
問6：現時点で、施設等への入所・入居を検討されていますか。(○は1つ)

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指す。

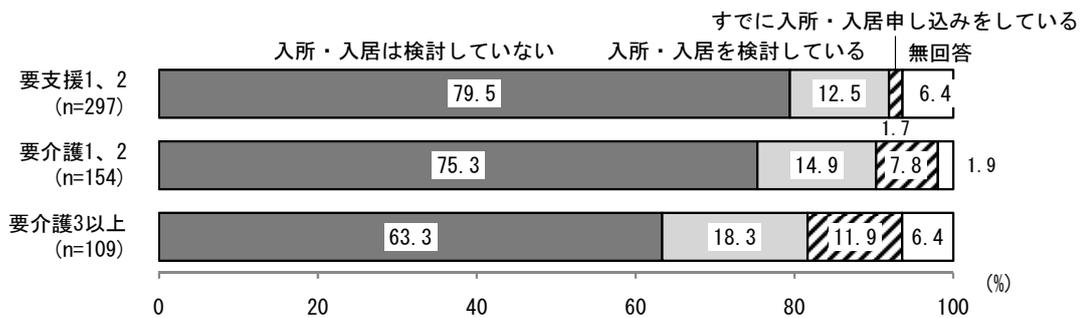
施設等入所の検討状況については、「入所・入居を検討している」は80～84歳で16.4%、90歳以上で17.9%、要介護3以上で18.3%と多くなっています。



【施設等入所の検討状況 年齢別】



【施設等入所の検討状況 要介護度別】



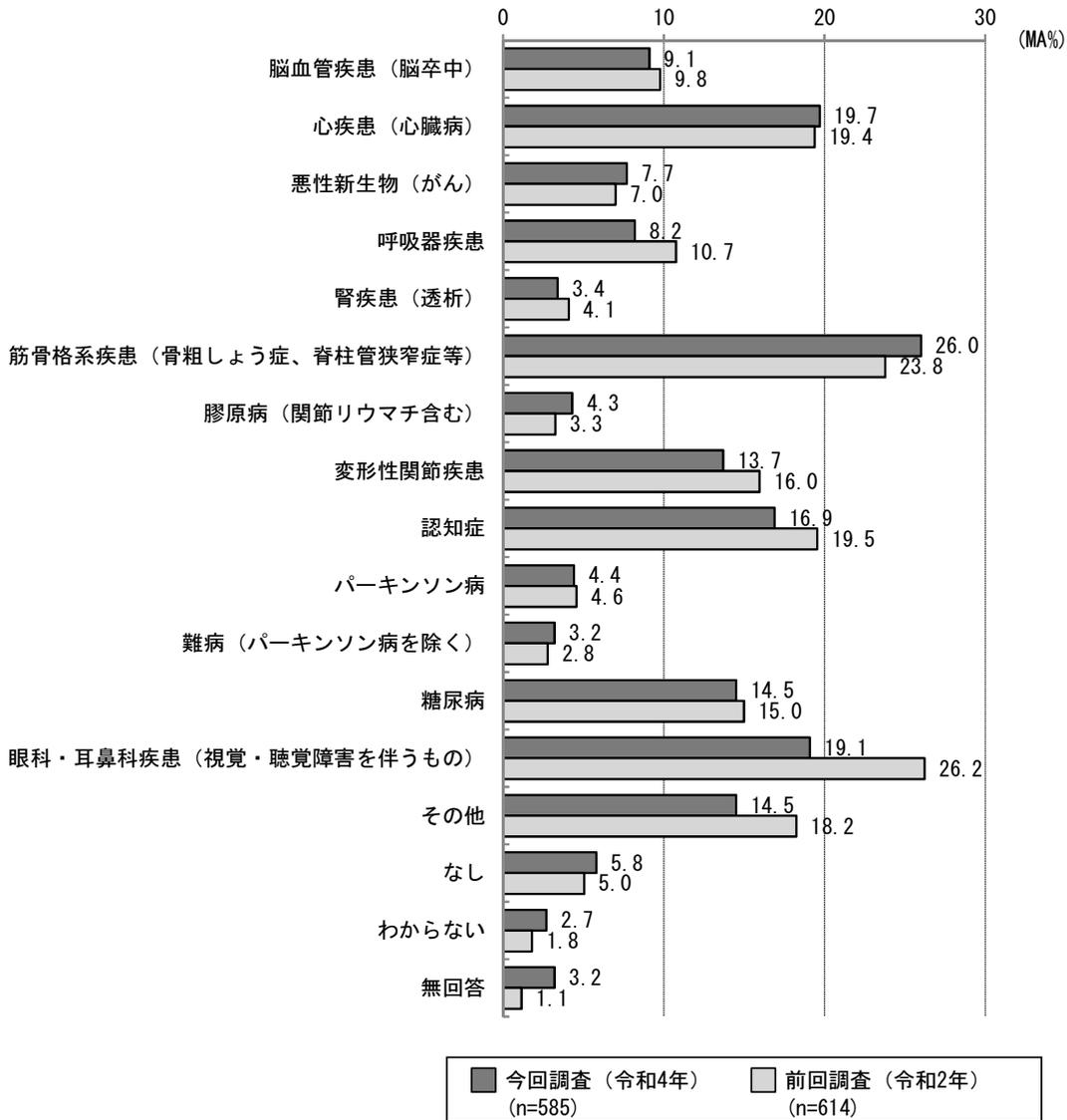
II. 調査結果 2. 在宅介護実態調査

〔8〕抱えている傷病

問7：調査対象者様ご本人が、現在抱えている傷病はありますか。(〇はいくつでも)

本人が抱えている傷病は、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が26.0%と最も多く、次いで、「心疾患（心臓病）」が19.7%、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が19.1%となっています。

「認知症」は要介護1、2で30.5%、要介護3以上で33.9%と多くなっています。



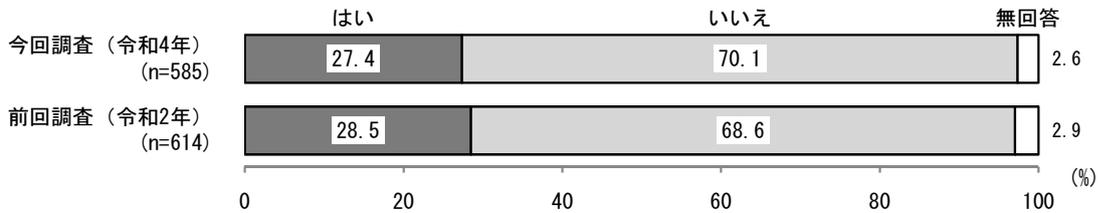
【抱えている傷病 要介護度別】

	n	脳血管疾患 (脳卒中)	心疾患 (心臓病)	悪性新生物 (がん)	呼吸器疾患	腎疾患 (透析)	筋骨格系疾患 (骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)	膠原病 (関節リウマチ含む)	変形性関節疾患	認知症	パーキンソン病	難病 (パーキンソン病を除く)	糖尿病	眼科・耳鼻科疾患 (視覚・聴覚障害を伴うもの)	その他	なし	わからない	無回答
全体	585	53	115	45	48	20	152	25	80	99	26	19	85	112	85	34	16	19
要介護1、2	297	14	64	17	23	11	100	11	54	14	11	9	41	61	32	21	8	13
要介護1、2	100	4.7	21.5	5.7	7.7	3.7	33.7	3.7	18.2	4.7	3.7	3.0	13.8	20.5	10.8	7.1	2.7	4.4
要介護3以上	154	21	20	16	12	4	28	8	14	47	8	3	23	29	34	6	1	2
要介護3以上	100	13.6	13.0	10.4	7.8	2.6	18.2	5.2	9.1	30.5	5.2	1.9	14.9	18.8	22.1	3.9	0.6	1.3
要介護3以上	109	14	25	9	12	4	22	3	10	37	7	7	18	18	19	2	5	1
要介護3以上	100	12.8	22.9	8.3	11.0	3.7	20.2	2.8	9.2	33.9	6.4	6.4	16.5	16.5	17.4	1.8	4.6	0.9

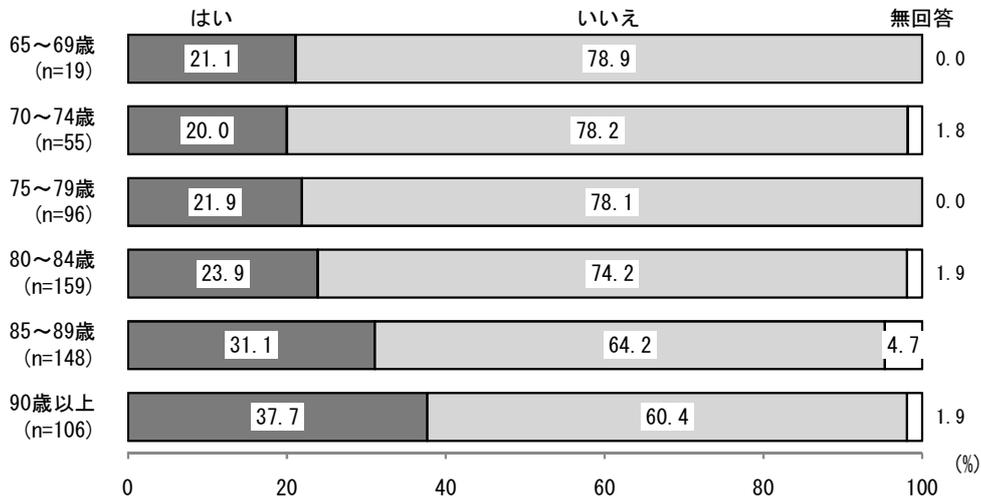
〔9〕 認知症状の有無

問8：認知症の症状がありますか。又はご家族に認知症の症状がある人がいますか。
（1つだけ○）

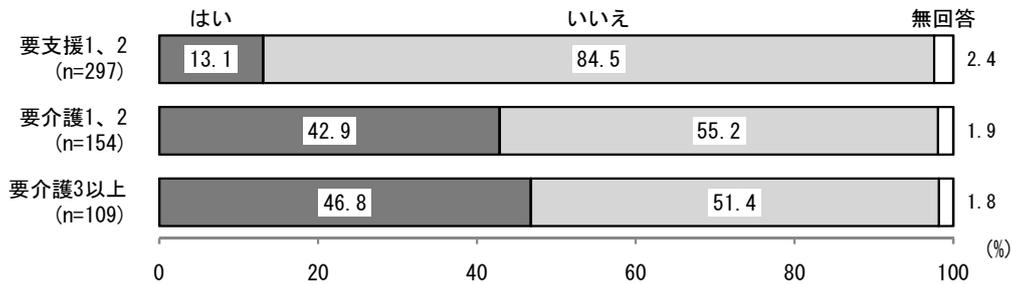
認知症の症状の有無については、「はい」は85～89歳以上で31.1%、90歳以上で37.7%と多く、要介護1、2では42.9%、要介護3以上では46.8%と、要介護者では4割以上の人に認知症の症状がみられます。



【認知症状の有無 年齢別】



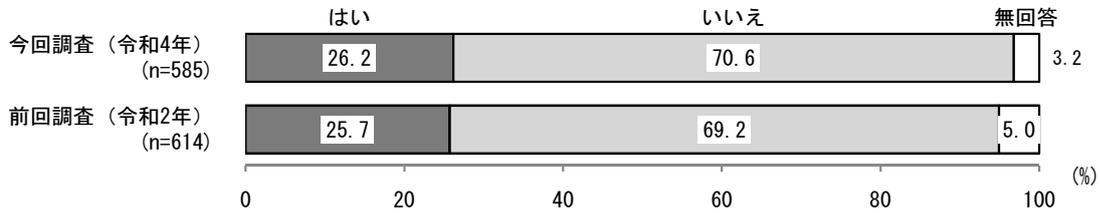
【認知症状の有無 要介護度別】



II. 調査結果 2. 在宅介護実態調査

〔10〕 相談窓口の認知

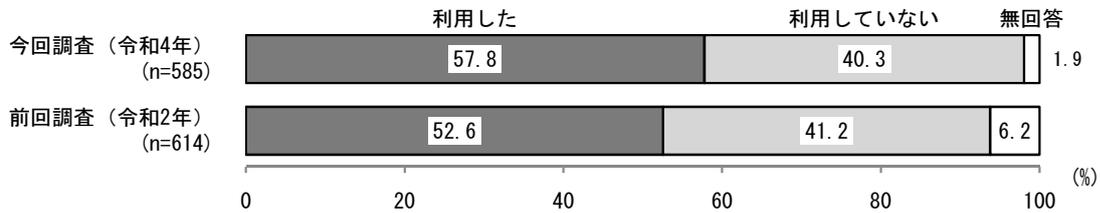
問 9 : 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つだけ○)



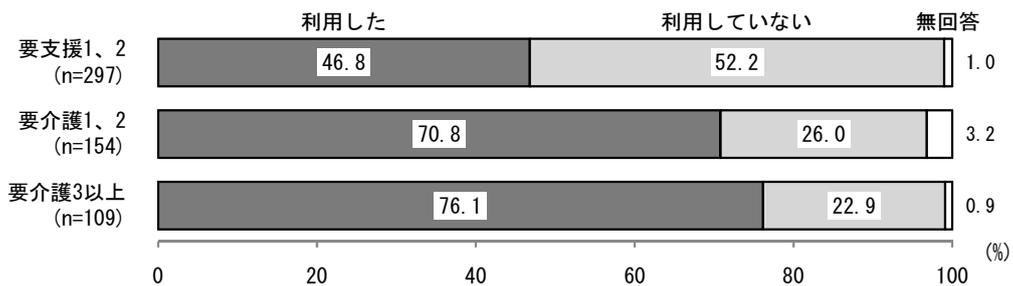
〔11〕 介護保険サービスの利用状況

問 10 : 令和4年11月の1か月間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の) 介護保険サービスを利用しましたか。(○は1つ)

令和4年11月1か月間の、介護保険サービスの利用状況については、「利用した」は、要介護1、2で70.8%、要介護3以上で76.1%と、要介護者では7割以上の方がサービスを利用しています。一方、要支援1、2では52.2%が「利用していない」と回答しています。



【介護保険サービスの利用状況 要介護度別】

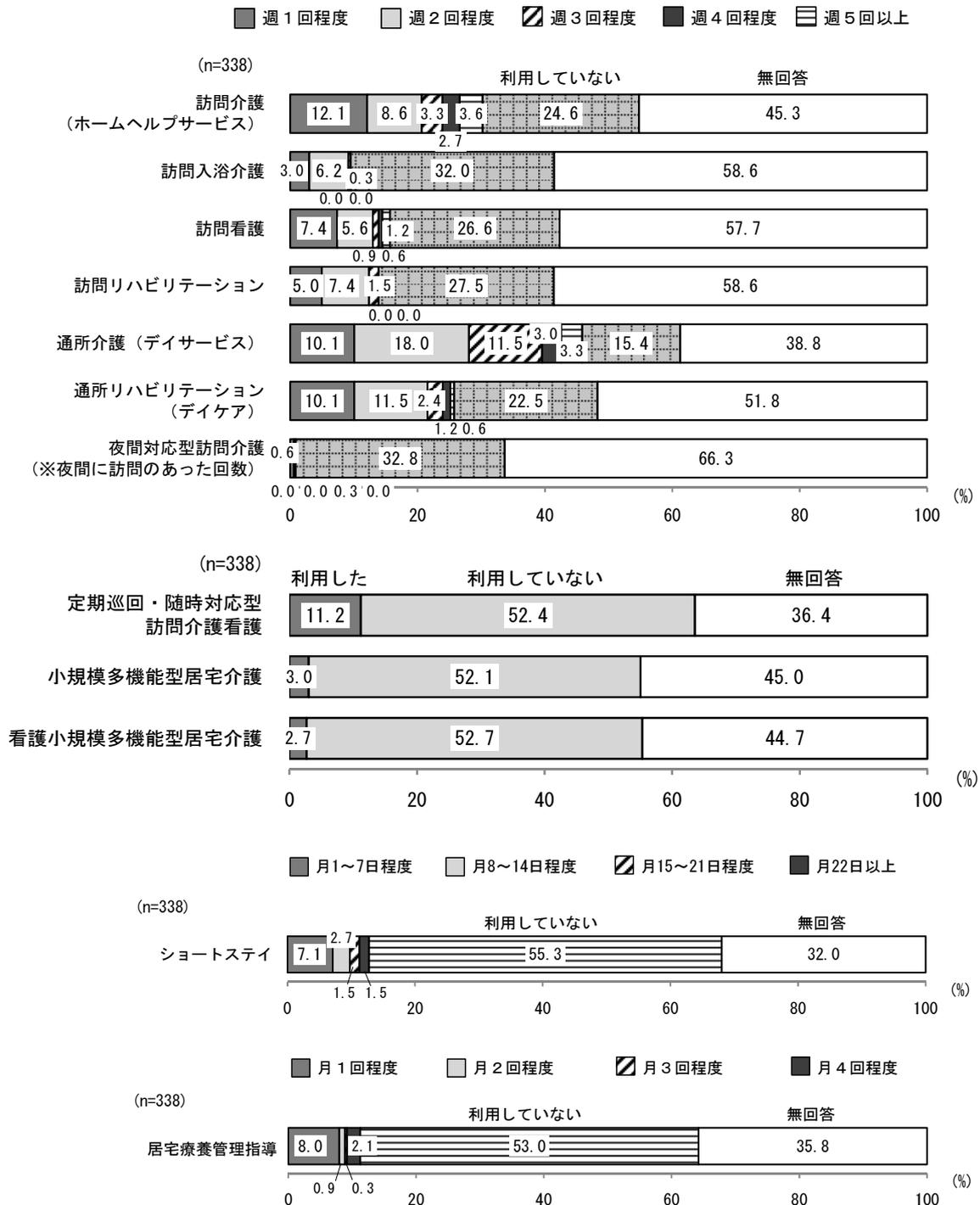


問10で「1. 利用した」と回答した方のみ

問11：各介護保険サービスについて、令和4年11月の1か月間の利用状況をご回答ください。
(それぞれに○は1つ)

最も利用が多いのは「通所介護（デイサービス）」で、「週1回程度」から「週5回以上」までを合わせた『利用している』は45.9%、「週2回程度」の利用が最も多くなっています。次いで、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」では、『利用している』は30.3%、「週1回程度」の利用が最も多くなっています。

『利用している』は「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」で11.2%、「ショートステイ」で12.8%、「居宅療養管理指導」で11.3%、「小規模多機能型居宅介護」で3.0%、「看護小規模多機能型居宅介護」では2.7%と少なくなっています。



II. 調査結果 2. 在宅介護実態調査

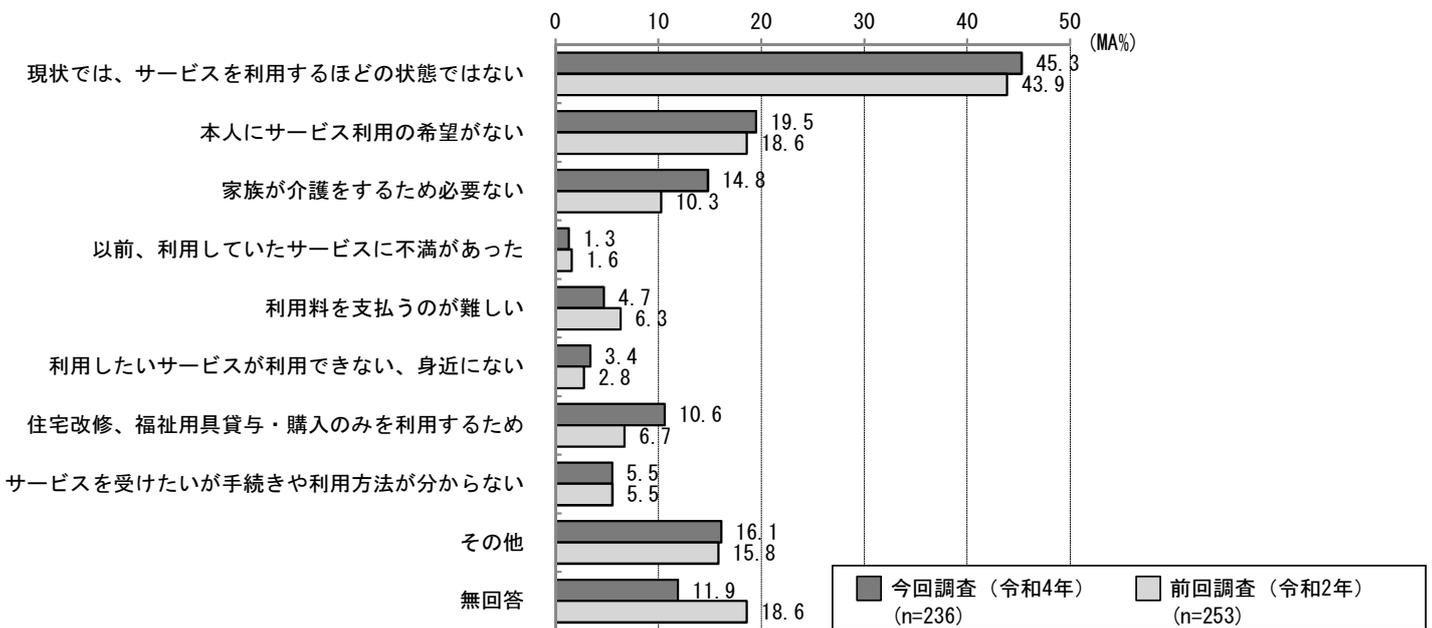
〔12〕 介護保険サービス未利用の理由

問10で「2. 利用していない」と回答した方のみ

問12：介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

介護保険サービス未利用の理由は、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が45.3%と最も多く、次いで、「本人にサービス利用の希望がない」が19.5%となっています。

問10で、要支援1、2の半数はサービスを「利用していない」と回答していますが、その理由は、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が52.9%と最も多くなっています。要介護者では、「家族が介護をするため必要ない」が、要介護1、2で22.5%、要介護3以上で36.0%と多くなっています。



【「その他」 主なご意見】

- ・以前デイサービスを利用していたが、コロナ禍で本人が利用したくないため。
- ・主人の介護のため、誰か家人がいないと行けない。
- ・相談するところがわからなかった。
- ・利用したいが同居人がいるため使えない。 など

【介護保険サービス未利用の理由 要介護度別】

		n	現状では、サービス利用しない理由	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい	利用したいサービスが利用できない、身近にない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	その他	無回答
全体		236	107	46	35	3	11	8	25	13	38	28
		100	45.3	19.5	14.8	1.3	4.7	3.4	10.6	5.5	16.1	11.9
要介護度別	要支援1、2	155	82	32	15	1	5	8	10	11	19	21
		100	52.9	20.6	9.7	0.6	3.2	5.2	6.5	7.1	12.3	13.5
	要介護1、2	40	13	8	9	1	3	0	7	0	8	3
		100	32.5	20.0	22.5	2.5	7.5	0	17.5	0	20.0	7.5
要介護3以上	25	1	5	9	1	1	0	6	1	10	2	
	100	4.0	20.0	36.0	4.0	4.0	0	24.0	4.0	40.0	8.0	

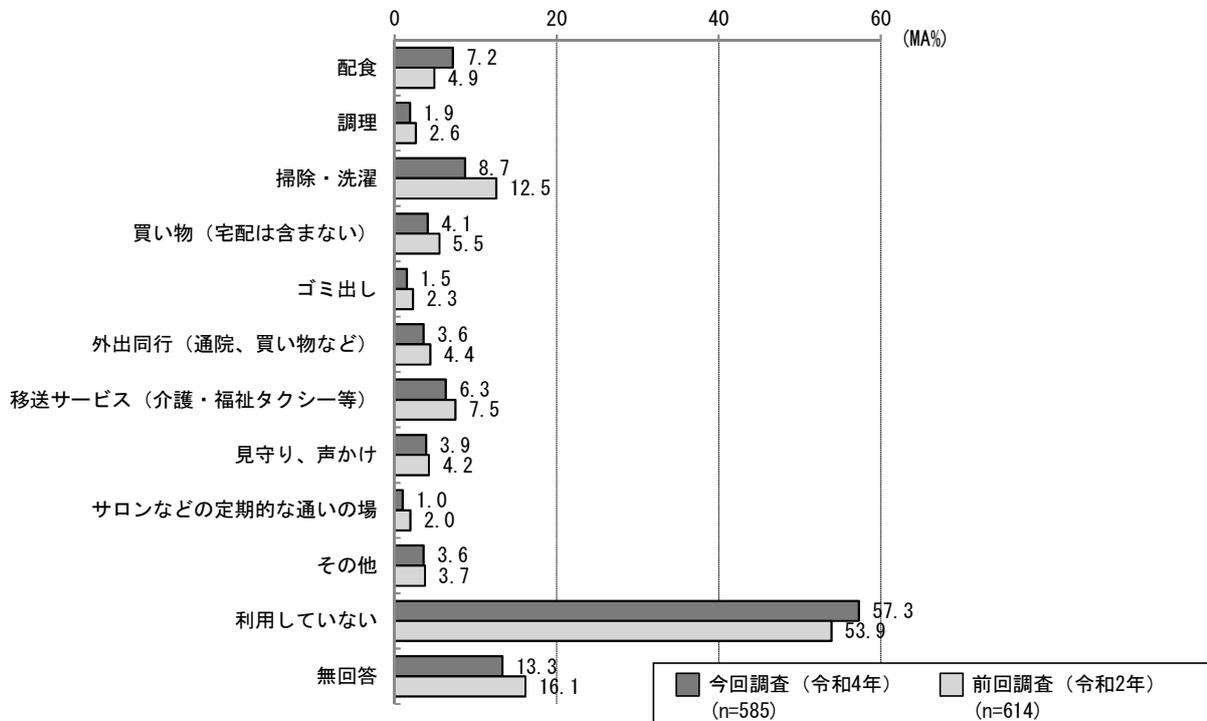
〔13〕 保険外の支援・サービスについて

問 1 3 : 現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスは何ですか。
(○はいくつでも)

※民間のサービスも含む

介護保険外の支援・サービスについては、「利用していない」が 57.3%を占めています。利用しているサービスでは、「掃除・洗濯」が 8.7%と最も多く、次いで、「配食」が 7.2%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 6.3%となっています。

要介護度により利用しているサービスは異なり、要支援 1、2 では「掃除・洗濯」が 10.4%と最も多く、ほかにも、「調理」、「見守り、声かけ」、「サロンなどの定期的な通いの場」などで要介護者よりも利用がみられます。要介護 1、2 では「配食」が 10.4%と最も多く、要介護 3 以上では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 13.8%と最も多くなっています。



【保険外の支援・サービス 要介護度別】

(MA%)

		n	配食	調理	掃除・洗濯	買い物 (宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行 (通院、買い物など)	移送サービス (介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	利用していない	無回答
全体		585	4.2	1.1	5.1	2.4	0.9	2.1	3.7	2.3	0.6	2.1	33.5	7.8
要介護度別	要支援1、2	297	7.2	1.9	8.7	4.1	1.5	3.6	6.3	3.9	1.0	3.6	57.3	13.3
	要介護1、2	154	10.4	3.0	12.4	8.0	3.0	8.0	10.0	2.0	0.0	3.0	87.0	24.0
	要介護3以上	109	7.0	1.0	7.0	3.0	2.0	3.0	15.0	5.0	1.0	7.0	58.0	13.0
	全体	100	6.4	0.9	6.4	2.8	1.8	2.8	13.8	4.6	0.9	6.4	53.2	11.9

II. 調査結果 2. 在宅介護実態調査

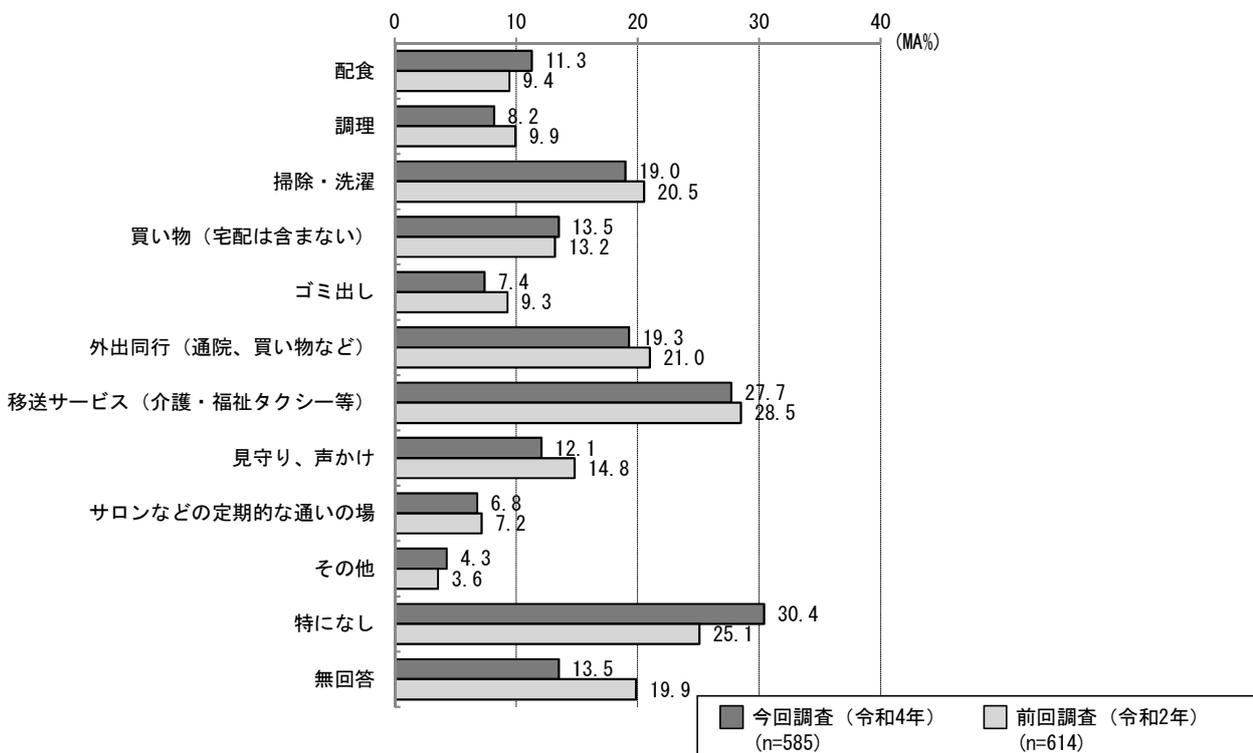
〔14〕 在宅生活の継続に必要と感じるサービス

問 1 4 : 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）は何ですか。（〇はいくつでも）

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含む

在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 27.7%と最も多く、次いで、「外出同行（通院、買い物など）」が 19.3%、「掃除・洗濯」が 19.0%となっています。

「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」は要介護度別のどの層でも最も多くなっていますが、要支援 1、2 では 26.3%、要介護 1、2 では 29.9%、要介護 3 以上では 31.2%と、重度化にともなって必要度も高くなる傾向がみられます。



【在宅生活の継続に必要と感じるサービス 要介護度別】

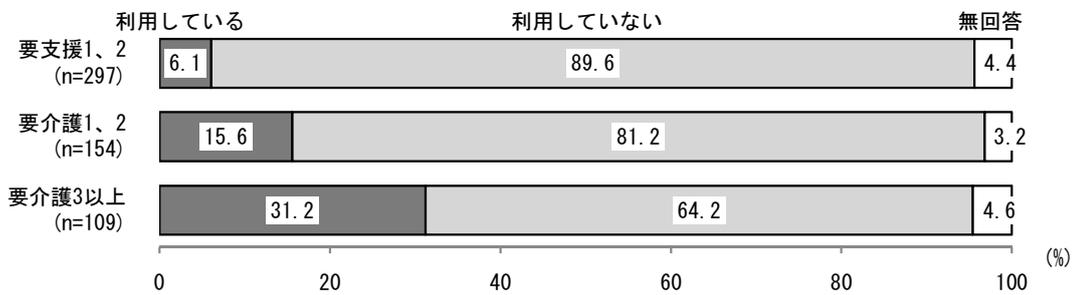
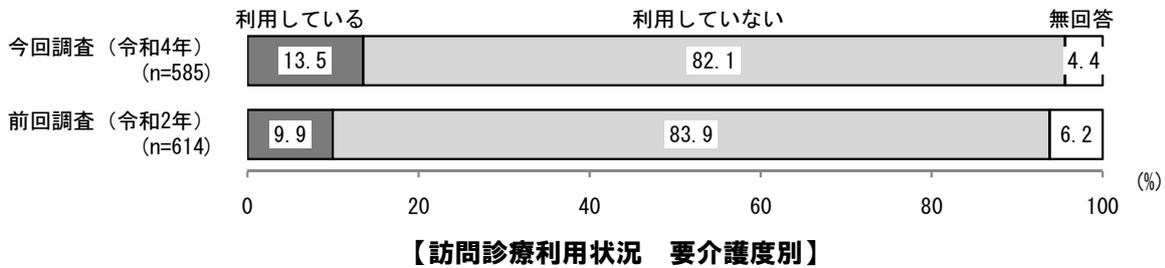
		(MA%)												
n		配食	調理	掃除・洗濯	買い物 (宅配は含)	ゴミ出し	外出同行 (通院、)	移送サービス (介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答	
要介護度別	全体	585	66	48	111	79	43	113	162	71	40	25	178	79
		100	11.3	8.2	19.0	13.5	7.4	19.3	27.7	12.1	6.8	4.3	30.4	13.5
	要支援1、2	297	33	21	60	39	21	57	78	40	23	10	92	35
		100	11.1	7.1	20.2	13.1	7.1	19.2	26.3	13.5	7.7	3.4	31.0	11.8
要介護1、2	154	23	19	32	25	16	33	46	13	12	4	41	22	
	100	14.9	12.3	20.8	16.2	10.4	21.4	29.9	8.4	7.8	2.6	26.6	14.3	
要介護3以上	109	10	7	18	13	5	20	34	17	5	10	33	17	
	100	9.2	6.4	16.5	11.9	4.6	18.3	31.2	15.6	4.6	9.2	30.3	15.6	

〔15〕 訪問診療利用状況

問 1 5 : 調査対象者様ご本人は、現在、訪問診療を利用されていますか。(○は1つ)

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含まない

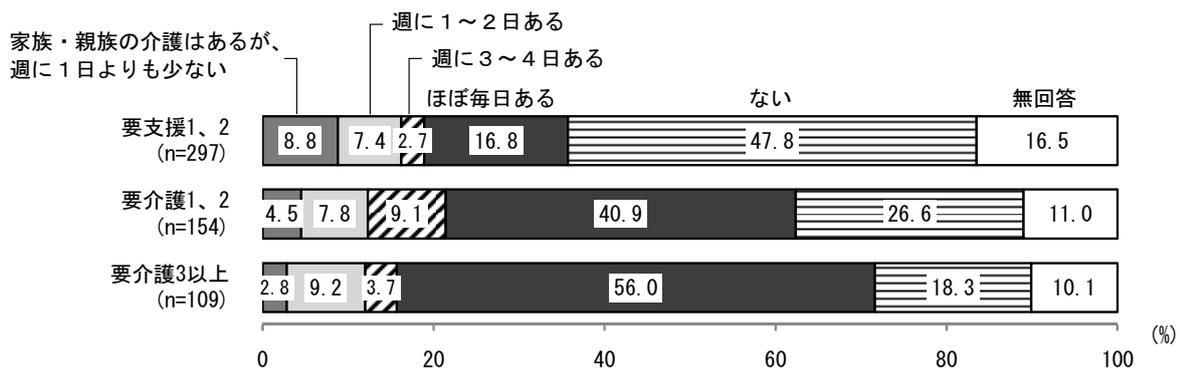
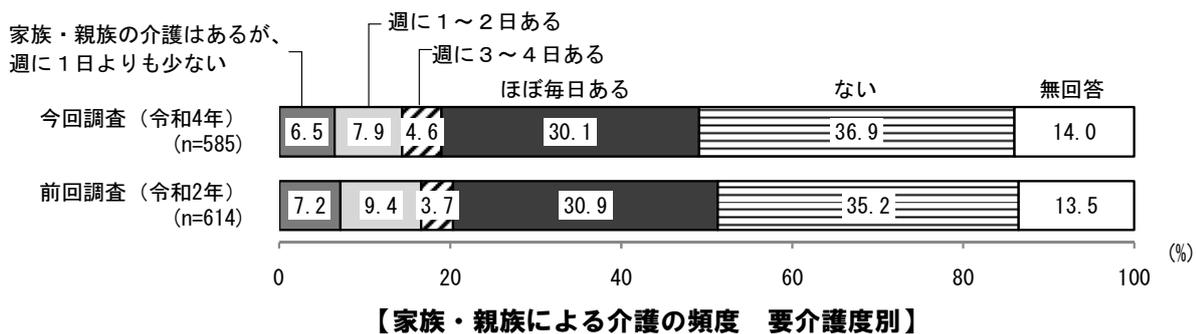
訪問診療を「利用している」は、要介護3以上では31.2%と多くなっています。



〔16〕 家族・親族による介護の頻度

問 1 6 : ご家族やご親族の方 (同居していない場合を含む) から週にどのくらい介護を受けていますか。(○は1つ)

家族・親族による介護の頻度が「ほぼ毎日ある」は、要介護1、2で40.9%、要介護3以上で56.0%と多くなっています。



2 主な介護者について

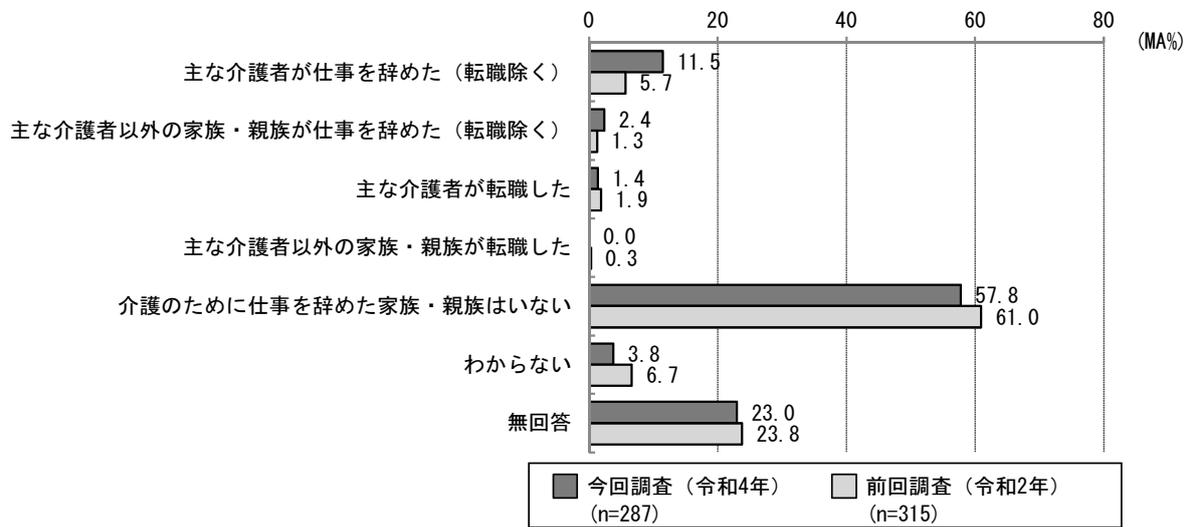
ここからは、問16で「1」～「4」（家族や親族の介護を受けている）と回答した方のみ

〔1〕介護のための離職の有無

問17：ご家族やご親族の中で、調査対象者様ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（○はいくつでも）

※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方も含む

介護のための離職の有無について、「主な介護者が仕事を辞めた」は前回調査に比べて5.8ポイント増加しています。また、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」は、要介護3以上で17.9%と多くなっています。

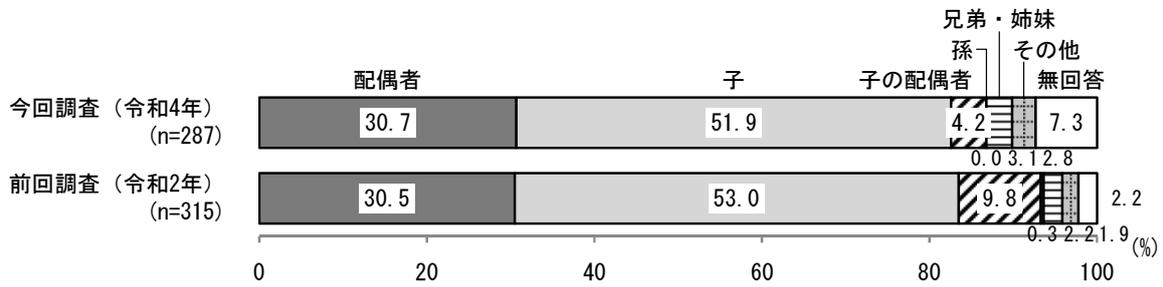


【介護のための離職の有無 要介護度別】

	n	(MA%)						
		くを主 辞な め介 た護 （者 転が 職仕 除事	くを家主 辞族な め・介 た親護 （族者 転が以 職仕外 除事の	し主 たな 介 護 者 が 転 職	し家主 た族な ・介 親護 族者 が以 転外 職の	族を介 は辞護 いめの なたた い家め 族に ・仕 親事	わ か ら な い	無 回 答
全体	287	33	7	4	0	166	11	66
	100	11.5	2.4	1.4	0	57.8	3.8	23
要 介 護 度 別	要支援1、2	106	8	0	1	66	5	26
		100	7.5	0	0.9	62.3	4.7	24.5
	要介護1、2	96	11	3	3	52	3	24
		100	11.5	3.1	3.1	54.2	3.1	25
要介護3以上	78	14	4	0	0	44	2	14
	100	17.9	5.1	0	0	56.4	2.6	17.9

〔2〕 介護者と本人の関係

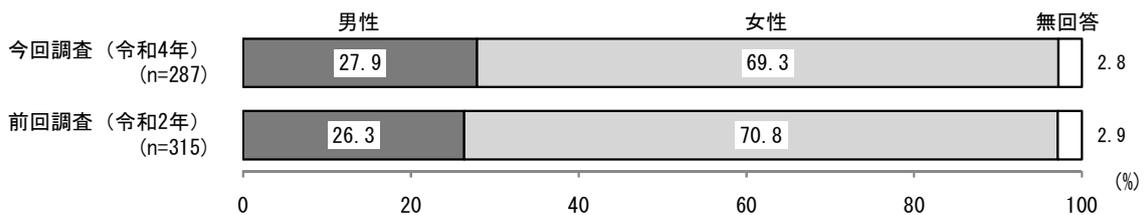
問18：主な介護者の方は、どなたですか。（○は1つ）



〔3〕 主な介護者の性別

問19：主な介護者の方の性別はどちらですか。（○は1つ）

主な介護者の性別は、「女性」が69.3%と多くなっています。



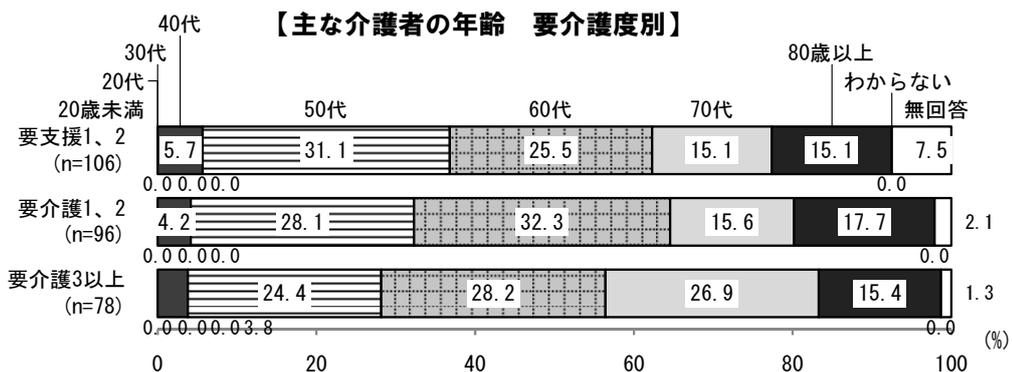
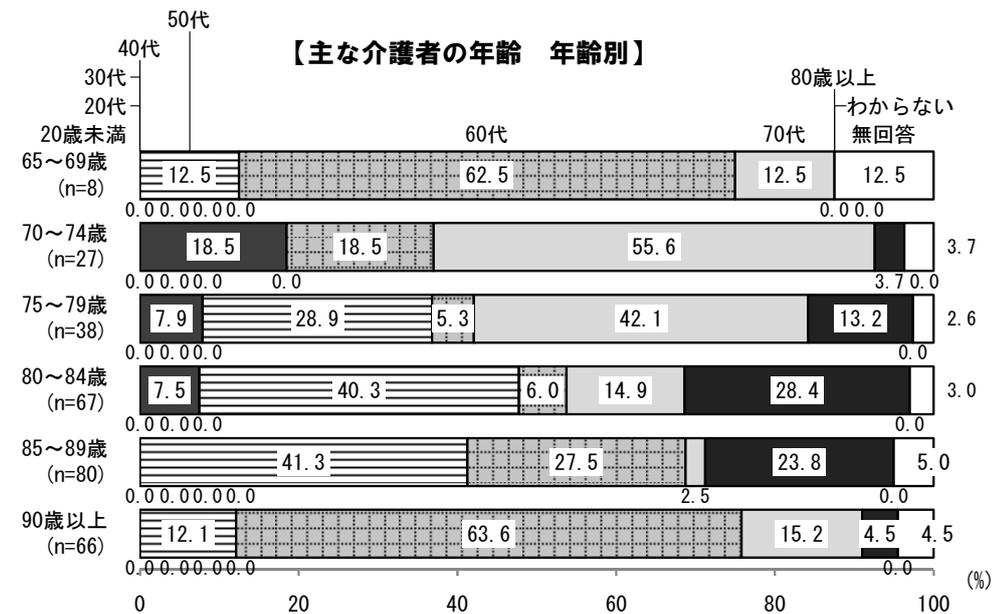
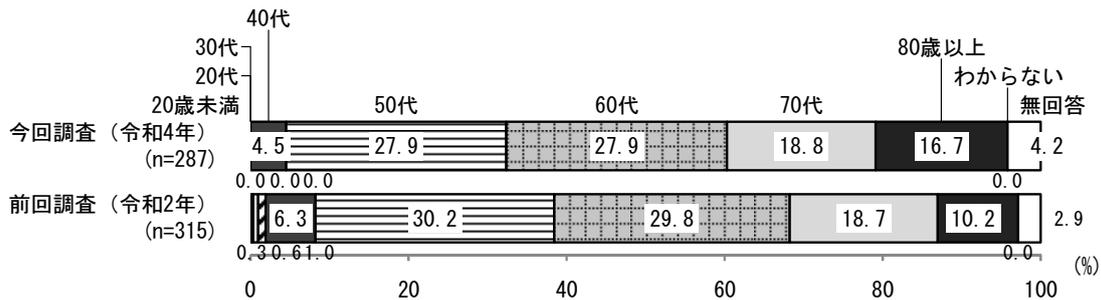
II. 調査結果 2. 在宅介護実態調査

〔4〕 主な介護者の年齢

問20：主な介護者の方の令和4年11月1日現在の年齢はおいくつですか。(○は1つ)

主な介護者の年齢は、「50代」、「60代」がそれぞれ27.9%と最も多く、次いで、70代が18.8%となっています。60代以上による介護は合計63.4%と半数以上を占め、80歳以上も16.7%みられます。前回調査と比べても、60代以上の介護は4.7ポイント増加しており、高齢者による介護は今後も増加していくものと思われます。

70～79歳では70代の介護者が4～5割を占め、80～89歳では50代の介護者が約4割、90歳以上では60代の介護者が6割強となっています。要介護3以上では、60歳代以上による介護が約7割となっています。

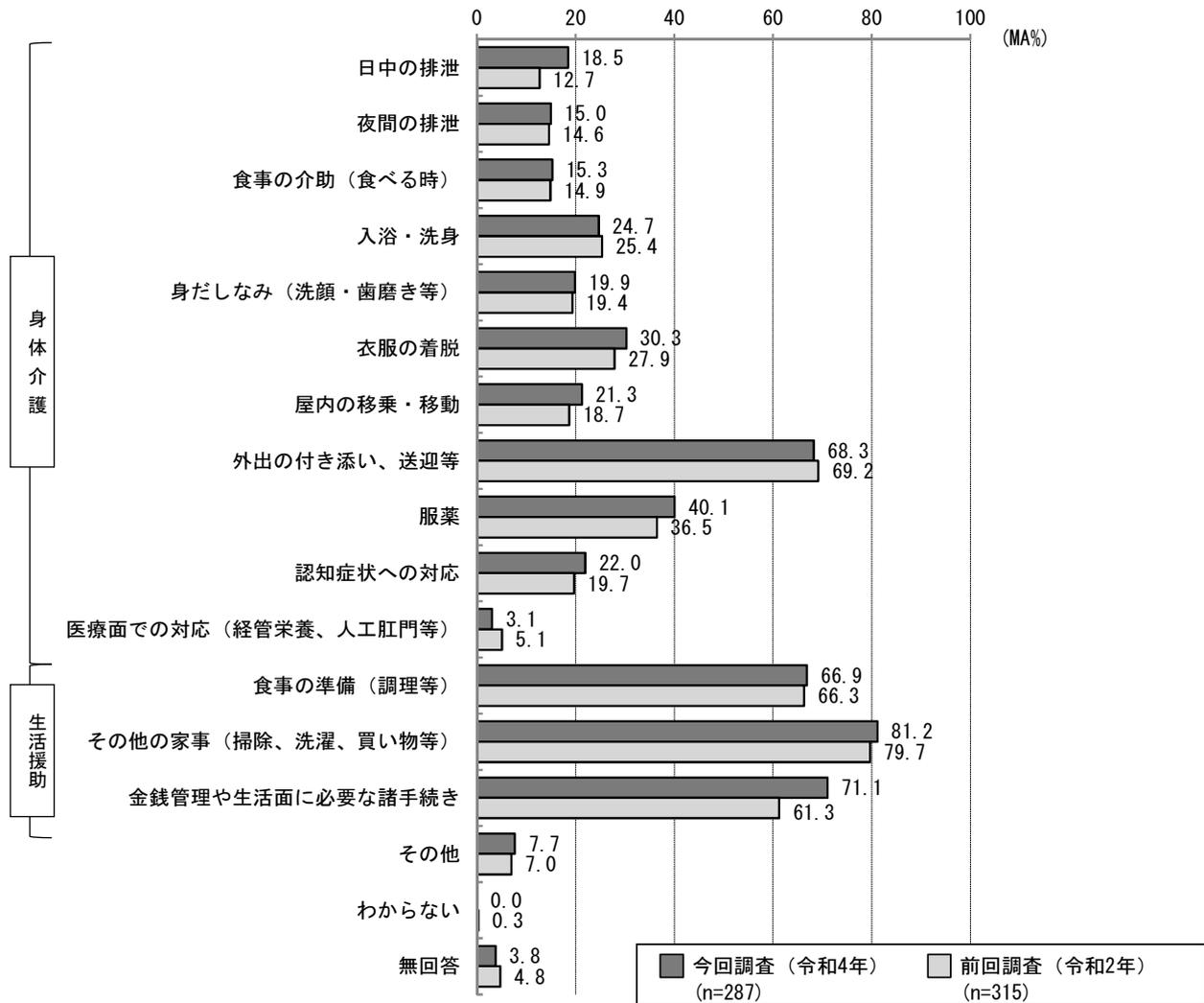


〔5〕 主な介護者が行っている介護

問 2 1 : 現在、主な介護者の方が行っている介護等はどのようなことですか。(○はいくつでも)

主な介護者が行っている介護は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が 81.2%と最も多く、次いで、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 71.1%、「外出の付き添い、送迎等」が 68.3%となっています。

要介護度別にみると、要支援 1、2 では生活援助および「外出の付き添い、送迎など」以外は 2 割以下と少なく、要介護 3 以上では「医療面での対応（経管栄養、人工肛門等）」以外のほとんどの介護等が 3 割以上行われています。



【主な介護者が行っている介護 要介護度別】

	n	身体介護											生活援助				その他		無回答
		日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べる時)	入浴・洗身	顔身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	送外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応	肛門 (経管栄養、人工肛門等)	医療面での対応 (経管栄養、人工肛門等)	食事の準備 (調理等)	生活援助 (調理等)	その他 (掃除、洗濯、買い物)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	
全体	287	53	43	44	71	57	87	61	196	115	63	9	192	233	204	22	0	11	
	100	18.5	15.0	15.3	24.7	19.9	30.3	21.3	68.3	40.1	22.0	3.1	66.9	81.2	71.1	7.7	0	3.8	
要支援1,2	106	6	4	7	16	2	10	11	68	20	5	1	52	82	55	5	0	6	
	100	5.7	3.8	6.6	15.1	1.9	9.4	10.4	64.2	18.9	4.7	0.9	49.1	77.4	51.9	4.7	0	5.7	
要介護1,2	96	11	5	12	30	18	26	17	69	45	31	4	71	80	81	11	0	4	
	100	11.5	5.2	12.5	31.3	18.8	27.1	17.7	71.9	46.9	32.3	4.2	74.0	83.3	84.4	11.5	0	4.2	
要介護3以上	78	35	32	24	24	36	48	32	54	48	27	4	65	68	65	6	0	1	
	100	44.9	41.0	30.8	30.8	46.2	61.5	41.0	69.2	61.5	34.6	5.1	83.3	87.2	83.3	7.7	0	1.3	

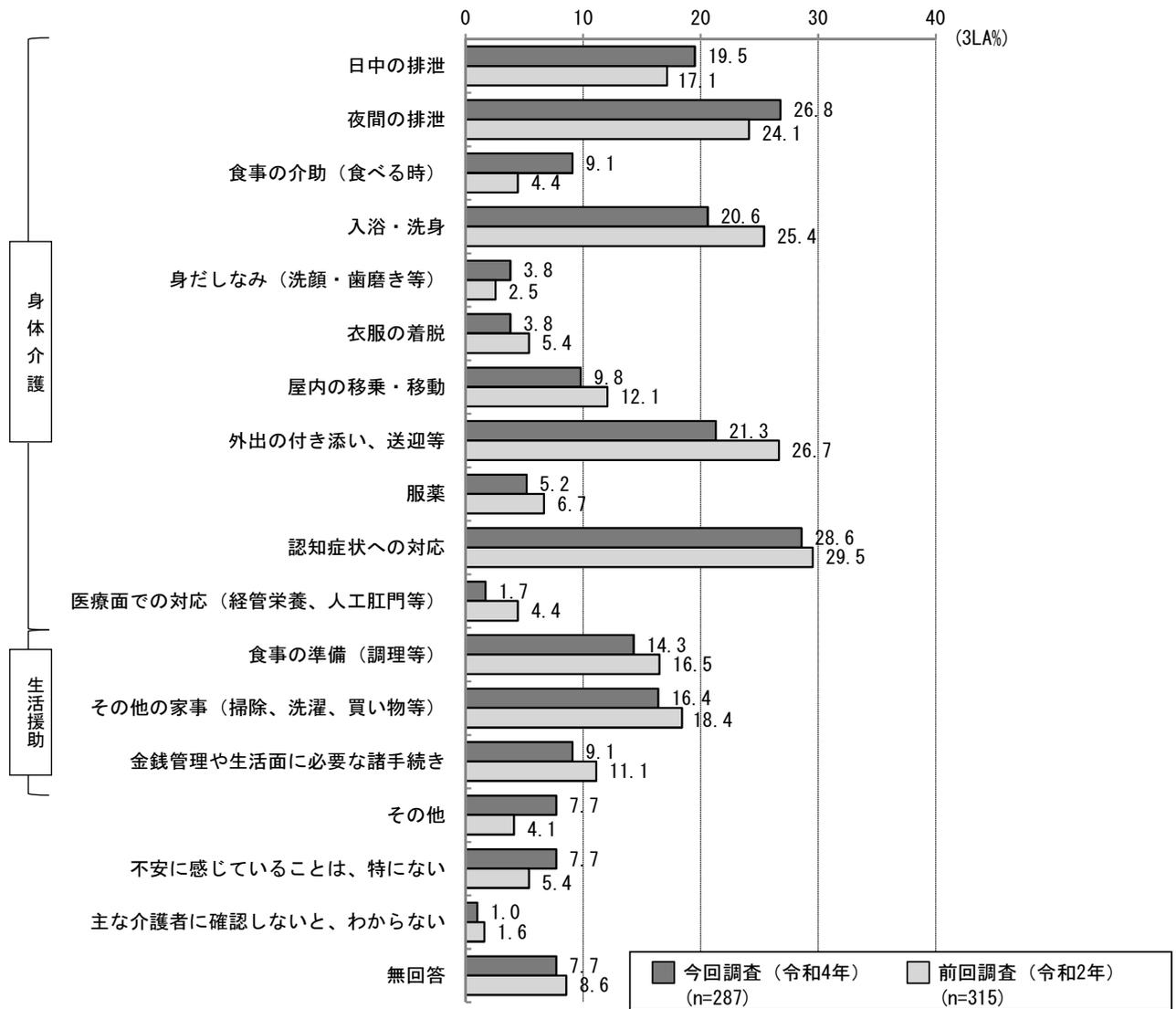
II. 調査結果 2. 在宅介護実態調査

〔6〕介護者が不安に感じる介護

問22：現在の生活を継続していくにあたって、現在行っていない介護も含め、主な介護の方が不安に感じる介護等は何ですか。（○は3つまで）

在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護は、「認知症状への対応」が28.6%と最も多く、次いで、「夜間の排泄」が26.8%、「外出の付き添い、送迎等」が21.3%、「入浴・洗身」が20.6%となっています。

要介護度別にみると、要支援1、2では「外出の付き添い、送迎等」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が他の区分より多く、「夜間の排泄」、「認知症状への対応」は要介護1、2で多くなっています。



【介護者が不安に感じる介護 要介護度別】

要介護度別	n	身体介護													生活援助				その他			無回答
		日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	送迎等	外出の付き添い	服薬	認知症状への対応	肛門 (医療面での対応)	食事の準備 (調理等)	掃除・洗濯・買い物	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じている	特にない	確認できない		
全体	287	56	77	26	59	11	11	28	61	15	82	5	41	47	26	22	22	3	22			
	100	19.5	26.8	9.1	20.6	3.8	3.8	9.8	21.3	5.2	28.6	1.7	14.3	16.4	9.1	7.7	7.7	1.0	7.7			
要支援1、2	106	10	17	5	19	2	0	10	30	4	21	2	19	27	10	5	11	2	13			
	100	9.4	16.0	4.7	17.9	1.9	0	9.4	28.3	3.8	19.8	1.9	17.9	25.5	9.4	4.7	10.4	1.9	12.3			
要介護1、2	96	25	32	11	23	5	5	9	18	9	39	0	10	12	10	6	3	1	4			
	100	26.0	33.3	11.5	24.0	5.2	5.2	9.4	18.8	9.4	40.6	0	10.4	12.5	10.4	6.3	3.1	1.0	4.2			
要介護3以上	78	21	27	10	17	3	4	8	11	2	22	3	11	7	5	11	6	0	4			
	100	26.9	34.6	12.8	21.8	3.8	5.1	10.3	14.1	2.6	28.2	3.8	14.1	9.0	6.4	14.1	7.7	0	5.1			

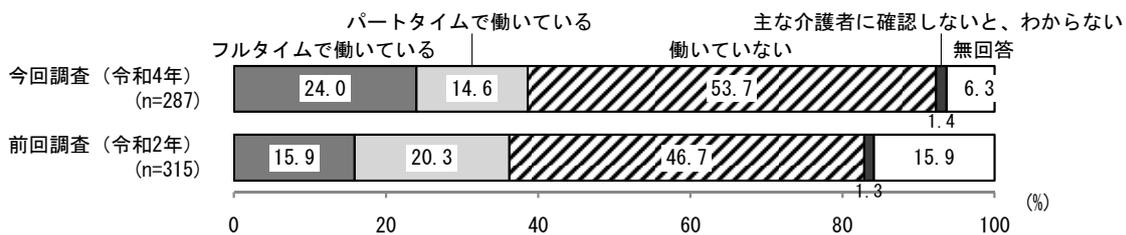
〔7〕 主な介護者の勤務形態

問23：主な介護者の方の現在の勤務形態についてお伺いします。(○は1つ)

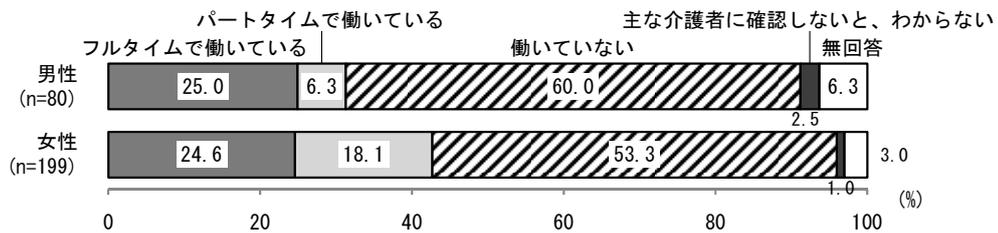
※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含む。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択。

介護者の勤務形態は、「働いていない」が53.7%と多く、「フルタイムで働いている」は24.0%、「パートタイムで働いている」は14.6%で、就業している介護者は合計38.6%となっています。

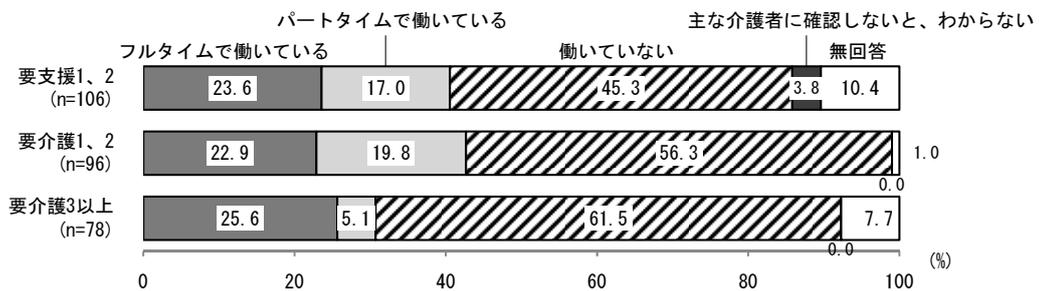
要介護度別には、要支援1、2、要介護1、2の人の介護者の約4割、要介護3以上の人の介護者の約3割が就業しています。



【主な介護者の勤務形態 介護者の性別】



【主な介護者の勤務形態 要介護度別】



II. 調査結果 2. 在宅介護実態調査

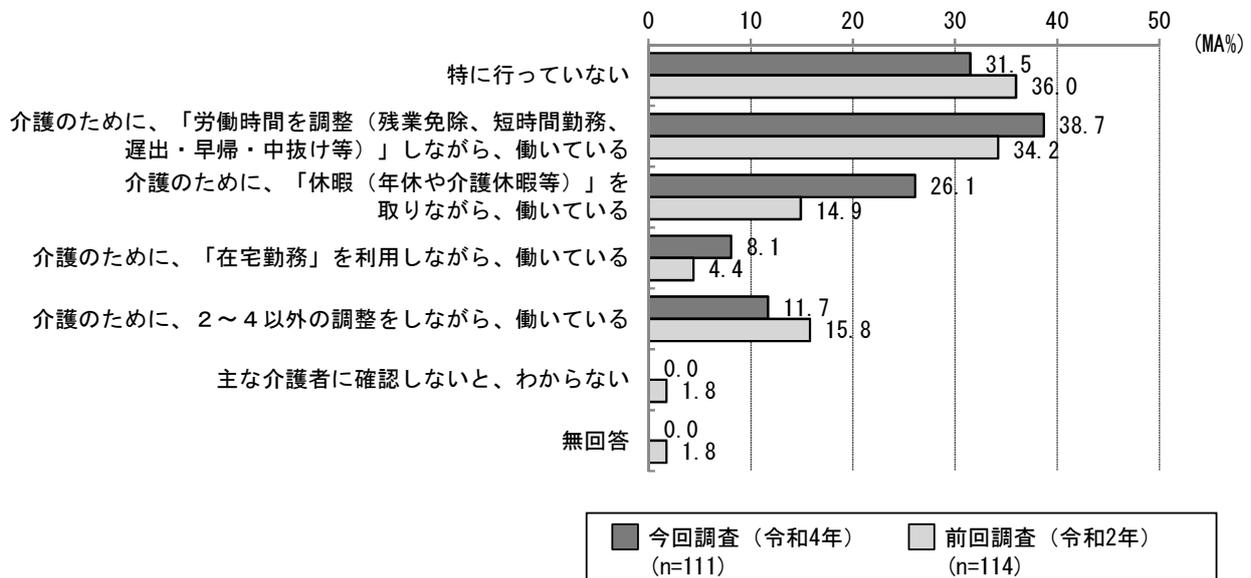
〔8〕主な介護者の働き方の調整の状況

問23で「1」「2」（働いている）と回答した方のみ

問24：主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていま
すか。（○はいくつでも）

主な介護者の方の働き方については、約7割の介護者が、介護のために何らかの働き方の調整を行っており、なかでも、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」人が38.7%と最も多くなっています。

要介護度別にみると、要支援者では「特に行っていない」や「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が多くなっていますが、要介護者では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が最も多く、要介護3以上では何らかの働き方の調整をしている人（「特に行っていない」以外の人）が9割弱となっています。



【主な介護者の働き方の調整 要介護度別】

要介護度別	n	調整内容 (MA%)							
		特に行っていない	介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている	介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている	介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答	
全体	111	35	43	29	9	13	0	0	
	100	31.5	38.7	26.1	8.1	11.7	0	0	
要介護度別	要支援1、2	43	18	11	13	3	4	0	0
		100	41.9	25.6	30.2	7.0	9.3	0	0
	要介護1、2	41	14	19	7	2	3	0	0
		100	34.1	46.3	17.1	4.9	7.3	0	0
要介護3以上	24	3	10	9	4	6	0	0	
	100	12.5	41.7	37.5	16.7	25.0	0	0	

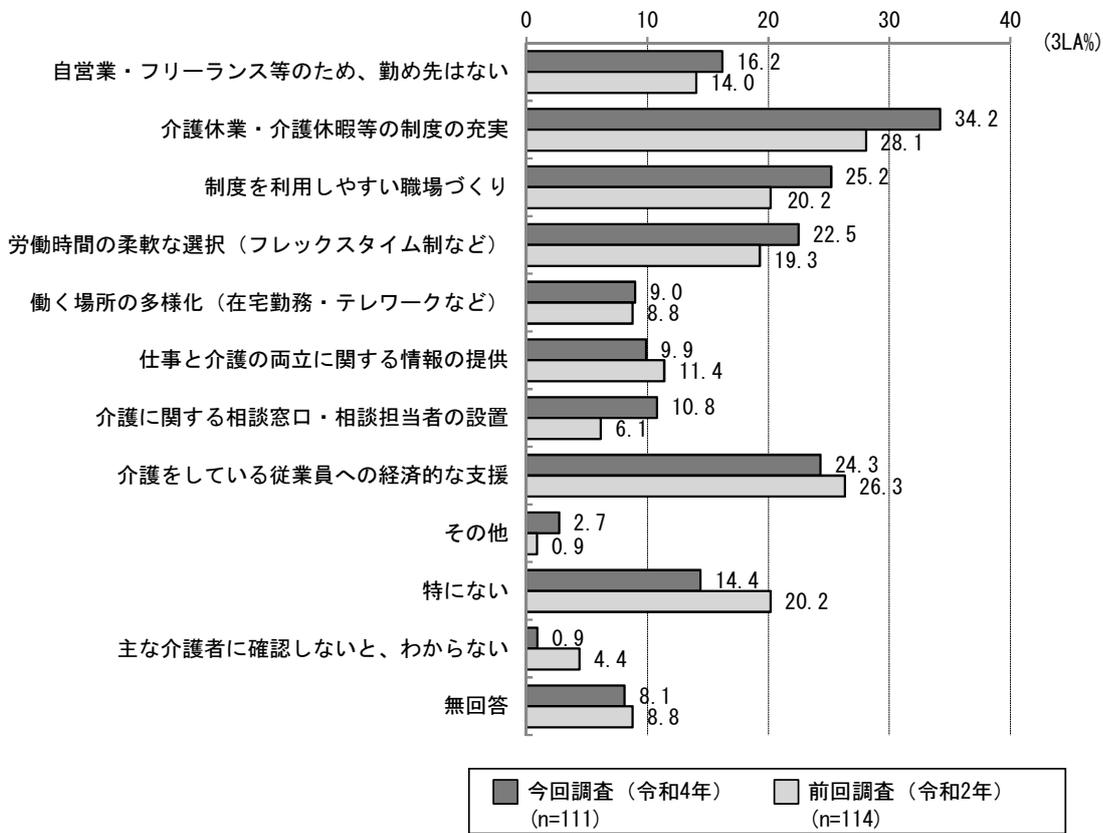
〔9〕就労の継続に効果的な勤め先からの支援

問23で「1」「2」（働いている）と回答した方のみ

問25：主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。（○は3つまで）

就労の継続のために必要な支援としては、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が34.2%と最も多く、次いで、「制度を利用しやすい職場づくり」が25.2%、「介護をしている従業員への経済的な支援」が24.3%となっています。

要介護度別にみると、要支援者では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が41.9%と最も多く、要介護者では「介護をしている従業員への経済的な支援」が要介護1、2で29.3%、要介護3以上で37.5%と最も多くなっています。要介護3以上では、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」も37.5%と多くなっています。



【就労の継続に効果的な勤め先からの支援 要介護度別】

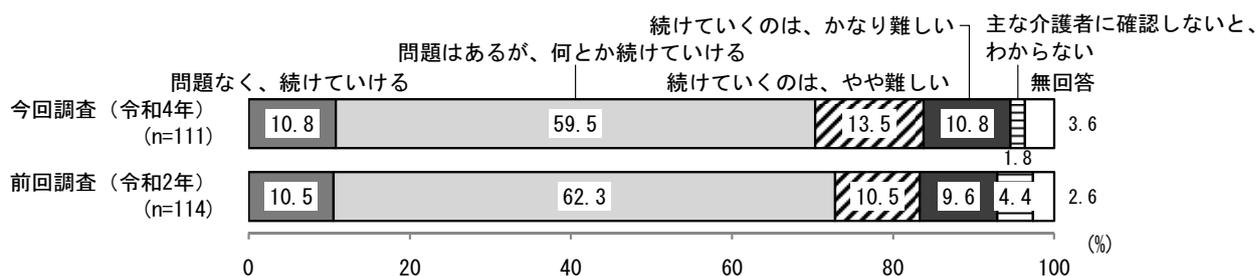
要介護度別	n	(3LA%)											
		自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	介護休業・介護休暇等の制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	介護をしている従業員への経済的な支援	その他	特になし	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体	111	18	38	28	25	10	11	12	27	3	16	1	9
	100	16.2	34.2	25.2	22.5	9.0	9.9	10.8	24.3	2.7	14.4	0.9	8.1
要支援1、2	43	6	18	11	10	4	2	4	6	0	5	1	5
	100	14.0	41.9	25.6	23.3	9.3	4.7	9.3	14.0	0	11.6	2.3	11.6
要介護1、2	41	8	11	9	6	2	6	5	12	2	8	0	2
	100	19.5	26.8	22.0	14.6	4.9	14.6	12.2	29.3	4.9	19.5	0	4.9
要介護3以上	24	4	8	8	9	4	3	3	9	1	2	0	1
	100	16.7	33.3	33.3	37.5	16.7	12.5	12.5	37.5	4.2	8.3	0	4.2

〔10〕 主な介護者の就労継続の可否

【問23で「1」「2」（働いている）と回答した方のみ】

問26：主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていくことができますか。
（○は1つ）

主な介護者の就労継続の可否について、就労を『続けていける』は合計 70.3%となっていますが、「問題なく、続けていける」と回答している人は 10.8%で、59.5%の人が「問題はある」と回答しており、介護をしながらの就労には、まだまだ困難をとまなう現状がうかがえます。



調 査 票

藤井寺市介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

【調査へのご協力をお願い】

日頃は藤井寺市の保健福祉行政、介護保険事業にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本市では、このたび、皆様が住み慣れた地域でいつまでもいきいきと元気に過ごし、また介護が必要な状態になっても安心して暮らし続けることができよう、令和6年度からの第9期藤井寺市いきいき長寿プランを策定いたします。

そこで、令和4年11月1日において65歳以上で、要介護1～5の認定を受けておられない市民の方の中から無作為に抽出された方に対し、アンケート調査を行うことになりました。

地域の実態にあった計画を策定するために大変重要な調査となりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

令和4年12月

藤井寺市長 岡田 一樹

ご記入に際しての注意事項

1. 記入は、必ず黒か青のボールペンまたは鉛筆でお願いいたします。
2. 回答にあたっては、あて名のご本人にお答えいただけますが、ご家族の方がご本人の代わりに回答されたり、ご一緒に回答されてもかまいません。
3. 回答は、あてはまる項目の番号を○で囲んでいただくもの、ご意見を記入していただくものがあります。
4. この調査で使う用語の意味は、以下のとおりです。
介護：介護保険のサービスを受けている場合のほか、認定を受けていない場合でも、常時ご家族などの援助を受けている状態
介助：ご自分の意思により、一時的に他人に援助を頼んでいる状態
5. 調査票記入後は3つ折りで同封の返信用封筒(切手不要・記名不要)に入れて、12月28日(水)までに郵便ポストへ投函してください。

【調査主体】

藤井寺市 健康福祉部 高齢介護課

TEL:072-939-1164 FAX:072-939-0399

【調査に関する問合先】

株式会社サーベイリサーチセンター大阪事務所(調査委託先)

フリーダイヤル: 0120-186-189

受付時間: 月～金曜日(土曜・日曜・祝日除く) 午前9時～12時、午後1時～5時

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。
なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

— 個人情報の保護および活用目的について —

○この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報は統計的に処理し、個人を特定することや、藤井寺市いきいき長寿プラン策定の目的以外に利用することは一切いたしません。また当該情報については、藤井寺市が適切に管理いたします。

○ただし、藤井寺市いきいき長寿プラン策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する市外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。この場合も、情報は統計的に処理し、個人を特定することなどは一切いたしません。

この調査票に回答した日を記入してください。(数字を記入)

記入日	令和	年	月	日
-----	----	---	---	---

この調査票に記入されるのはどなたですか。(○は1つ)

1. あて名のご本人が記入)
2. ご家族が記入(あて名のご本人からみた続柄:)
3. その他()

あなたの意見を
お聞かせください。



2. からだを動かすことについて

問8:階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。(○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

問9:椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

問10:15分位続けて歩いていますか。(○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

問11:過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)

1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない

問12:転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

1. とても不安である 2. やや不安である
3. あまり不安でない 4. 不安でない

問13:週に何回外出していますか。(○は1つ)

1. ほとんど外出しない 2. 週1回
3. 週2~4回 4. 週5回以上

問14:昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)

1. とても減っている 2. 減っている
3. あまり減っていない 4. 減っていない

問15:外出を控えていますか。(○は1つ)

1. はい → 問15-1ハ 2. いいえ → 問16ハ

★問15-1は問15において、「1」(外出を控えている)と回答された方にお伺いします。

問15-1:外出を控えている理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 病気 2. 障害(脳卒中の後遺症等)
3. 足腰などの痛み 4. トイレの心配(失禁など)
5. 耳の障害(聞こえの問題など) 6. 目の障害
7. 外での楽しみがない 8. 経済的に出られない
9. 交通手段がない 10. その他()

問16:外出する際の移動手段は何ですか。(○はいくつでも)

1. 徒歩 2. 自転車
3. バイク 4. 自動車(自分で運転)
5. 自動車(人に乗せてもらう) 6. 電車
7. 路線バス 8. 病院や施設のバス
9. 車いす 10. 電動車いす(カート)
11. 歩行器・シルバーカー 12. タクシー
13. その他()

問16-1:問16でお答えいただいたような移動手段が利用できない場合、どんなことに困りますか。(○はいくつでも)

1. 通院 2. 買い物
3. 銀行や郵便局等に出かけること 4. 美容院や理髪店に行くこと
5. 駅や停留所に行くこと 6. 市役所に行くこと
7. 家族や友人・知人宅を訪問すること 8. 趣味の活動等に出かけること
9. その他() 10. あまり困らない

問16-2:今現在、外出や移動に関して困っていることがあれば、お聞かせください。

問34:年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか。(○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問35:新聞を読んでいますか。(○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問36:本や雑誌を読んでいますか。(○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問37:健康についての記事や番組に関心がありますか。(○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問38:友人の家を訪ねていますか。(○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問39:家族や友人の相談にのっていますか。(○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問40:病人を見舞うことができますか。(○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問41:若い人に自分から話しかけることがありますか。(○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問42:趣味はありますか。(○は1つ)

1. ある	2. 思いつかない
-------	-----------

問43:生きがいはありますか。(○は1つ)

1. ある	2. 思いつかない
-------	-----------

問44:以下の活動などに関して、趣味や生きがいになっているものはありませんか。また、現在やっていないもので今後やってみたいことや、やりたいが諦めていることはいくつですか。(以下の①～⑳の項目ごとに○はいくつでも)

項目	趣味	生きがい	今後やってみたい	やめたい
(記入例) ペットの世話	1	②	3	4
(記入例) 旅行	①	2	3	④
① 孫・子供と過ごす、世話をする	1	2	3	4
② 家族や友人とのだんらん	1	2	3	4
③ ペットの世話	1	2	3	4
④ 畑・庭・お花等の手入れ	1	2	3	4
⑤ 買い物	1	2	3	4
⑥ 外食	1	2	3	4
⑦ 旅行	1	2	3	4
⑧ 仕事	1	2	3	4
⑨ ボランティア	1	2	3	4
⑩ 地域活動(町内会、老人クラブなど)	1	2	3	4
⑪ 運動・スポーツ	1	2	3	4
⑫ スポーツ観戦	1	2	3	4
⑬ 映画・演劇・音楽・絵画等の鑑賞	1	2	3	4
⑭ 歌・楽器の演奏	1	2	3	4
⑮ 料理	1	2	3	4
⑯ 読書・学習	1	2	3	4
⑰ 習字・絵を描く	1	2	3	4
⑱ パソコン・スマートフォン	1	2	3	4
⑲ 囲碁・将棋・麻雀等のゲーム	1	2	3	4
⑳ 手芸(裁縫・編物・刺繍等)	1	2	3	4
㉑ その他()	1	2	3	4

5. 地域での活動について

問45: ボランティア活動や趣味・スポーツのサークル、町内会の活動や収入のある仕事など、どの程度行っていますか。(以下の①～⑧の項目ごとに○は1つ)

項目	週 4回以上	週 2～3回	週 1回	月 1～3回	年 に数回	参加 して いない
①ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
②スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤市が主催する体操等の介護予防のための教室	1	2	3	4	5	6
⑥老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

★問45-1は問45において、①～⑧のいずれかで「6」(参加していない)と回答された方にお伺いします。

問45-1: 問45のような活動に参加しない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 興味・関心がないから
2. 友達や知り合いが参加していないから
3. 近くに参加できる場所がないから
4. 参加したいが参加できる時間がないから
5. 人づきあいが苦手だから
6. 参加する方法が分からないから
7. 参加する必要があるから
8. その他()

問46: 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

1. 是非参加したい
2. 参加してもよい
3. 参加したくない
4. 既に参加している

問47: 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

1. 是非参加したい
2. 参加してもよい
3. 参加したくない
4. 既に参加している

問48: お住まいの地域の地区会館がどこにあるかを知っていますか。(○は1つ)

1. 知っている
2. 知らない

問48-1: お住まいの地域の地区会館ではどのような活動が行われているかを知っていますか。(○は1つ)

1. 知っている
2. 知らない

問48-2: お住まいの地域の地区会館での活動に参加したことがありますか。(○は1つ)

1. 現在、参加している → (活動内容:)
2. 以前は参加していたが、現在は参加していない
3. 参加したことはない

★問48-2で「2. 以前は参加していたが、現在は参加していない」と回答された方にお伺いします。

問48-3: 現在活動に参加していない理由は何ですか。
また、今後再び活動に参加したいお気持ちはありますか。(○は1つ)

(活動に参加していない理由)

(今後の参加意向)

1. 再び参加する予定
2. 条件が整えば参加したい
3. 参加する予定はない

問49: 藤井寺市のご当地体操、「ええとこふじいでら」体操を知っていますか。(○は1つ)

1. 知っているし、やったことがある
2. 名前は知っているが、やったことはない
3. 知らない

★問49で「1. 知っているし、やったことがある」と回答された方にお伺いします。

問49-1: 「ええとこふじいでら」体操はどこでされましたか。(○はいくつでも)

1. 市が主催するイベントで
2. 地区会館での催しで
3. 近所でやっている体操グループで
4. デイサービスや介護施設でのレクリエーションで
5. 自宅で YouTube や DVD を見ながら
6. その他()

6. 助け合いについて

問50:心配事を聞いてくれる人や、聞いてあげてくれる人などはなただですか。
(以下の①～④の項目ごとに○はいくつでも)

項目	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹	親戚	友人	その他	そのような人はいない
①あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人	1	2	3	4	5	6	7	8
②反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人	1	2	3	4	5	6	7	8
③あなたが病気で数日間寝込んだ時に、看病や世話をしてくれる人	1	2	3	4	5	6	7	8
④反対に、看病や世話をしてくれる人	1	2	3	4	5	6	7	8

問51:家族や友人・知人以外で、何かあった時に相談する相手を教えてください。
(○はいくつでも)

1. 自治会・町内会・老人クラブ	2. 社会福祉協議会・民生委員
3. ケアマネジャー	4. 医師・歯科医師・看護師
5. 地域包括支援センター・役所	6. その他()
7. そのような人はいない	

問52:友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

1. 毎日ある	2. 週に何度かある	3. 月に何度かある
4. 年に何度かある	5. ほとんどない	

問53:この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。(○は1つ)

※同じ人には何度会っても1人と数えることとします		
1. 0人(いない)	2. 1～2人	3. 3～5人
4. 6～9人	5. 10人以上	

問54:よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(○はいくつでも)

1. 近所・同じ地域の人	2. 幼なじみ
3. 学生時代の友人	4. 仕事での同僚・元同僚
5. 趣味や関心が同じ友人	6. ボランティア等の活動での友人
7. その他()	8. いない

問55:近所の人やボランティアに、手助けをしてもらいたいことはありませんか。
(○はいくつでも)

1. 安否確認や声かけ	2. 話し相手
3. 外出の時のつきそい	4. 車の運転
5. 買い物	6. 家の掃除や洗濯
7. 食事のしたく	8. ゴミ出し
9. 電球交換	10. 家具の移動、簡単な大工仕事など
11. 庭掃除や植木の手入れ	12. 布団の上げ下ろし
13. 請求書の支払いや預貯金の出し入れ	14. 公的な書類の代書や官公庁などへの手続き
15. 郵便物を読むことや書くこと	16. 通院や薬をもらいに行くこと
17. 急に病気になる時の看病	18. 家族の介護や世話
19. その他()	20. 特に必要がない
21. 近所の人のお世話になりたくない	

問56:近所の人困っている時に、あなたご自身が支援できることはありませんか。
(○はいくつでも)

1. 安否確認や声かけ	2. 話し相手
3. 外出の時のつきそい	4. 車の運転
5. 買い物	6. 家の掃除や洗濯
7. 食事のしたく	8. ゴミ出し
9. 電球交換	10. 家具の移動、簡単な大工仕事など
11. 庭掃除や植木の手入れ	12. 布団の上げ下ろし
13. 請求書の支払いや預貯金の出し入れ	14. 公的な書類の代書や官公庁などへの手続き
15. 郵便物を読むことや書くこと	16. 通院や薬をもらいに行くこと
17. 急に病気になる時の看病	18. 家族の介護や世話

7. 健康について

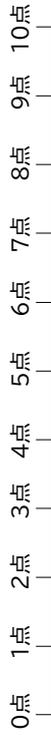
問57:現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない

問58:あなたは、現在のどの程度幸せですか。

※「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、点数に○をしてください

とても不幸 とても幸せ



問59:この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

問60:この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

問61:お酒は飲みますか。(○は1つ)

1. ほほ毎日飲む 2. 時々飲む 3. ほとんど飲まない 4. もともと飲まない

問62:タバコは吸っていますか。(○は1つ)

1. ほほ毎日吸っている 2. 時々吸っている
3. 吸っていたがやめた 4. もともと吸っていない

問63:現在治療中、または後遺症のある病気がありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. ない | 2. 高血圧 |
| 3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) | 4. 心臓病 |
| 5. 糖尿病 | 6. 高脂血症(脂質異常) |
| 7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等) | 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 |
| 9. 腎臓・前立腺の病気 | 10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) |
| 11. 外傷(転倒・骨折等) | 12. がん(悪性新生物) |
| 13. 血液・免疫の病気 | 14. うつ病 |
| 15. 認知症(アルツハイマー病等) | 16. パーキンソン病 |
| 17. 目の病気 | 18. 耳の病気 |
| 19. その他() | |

8. 認知症や在宅医療などについて

問64:あなたは認知症の症状がありますか。又はご家族に認知症の症状がある人がいますか(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

問65:認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

問66:あなたは、病气等により療養や介護が必要になった場合、どこどのように過ごしたいですか。(○は1つ)

1. 主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい
2. 在宅医療(訪問診療、訪問看護)や介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい
3. 子ども、兄弟姉妹などの親族の家で、子どもや親族の介護を受けながら暮らしたい
4. 子ども、兄弟姉妹などの親族の家で、在宅医療や介護サービスを受けながら暮らしたい
5. 特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)などの介護施設で暮らしたい
6. 介護付き有料老人ホームで暮らしたい
7. サービス付き高齢者向け住宅に住み替えて、介護サービスを利用しながら暮らしたい
8. 医療機関に入院、または医療系の施設に入所したい
9. 家族・親族の判断に任せる
10. その他(具体的に:)
11. わからない

質問は以上です。ご協力ありがとうございます。

このアンケート調査票は、
同封の返信用封筒(切手不要・記名不要)に入れて、
12月28日(水)までに郵便ポストへ投函してください。

藤井寺市在宅介護実態調査

【調査へのご協力をお願いします】

日頃は藤井寺市の保健福祉行政、介護保険事業にご理解とご協力をお願い厚くお礼申し上げます。

本市では、このたび、皆様が住み慣れた地域でいつまでもいきいきと元気に過ごし、また介護が必要な状態になっても安心して暮らし続けることができるよう、令和6年度からの第9期藤井寺市いきいき長寿プランを策定いたします。

そこで、令和4年11月1日において要支援1・2及び要介護1～5の認定を受けられる在宅の市民の方の中から無作為に抽出された方に対し、アンケート調査を行うことになりました。

地域の実態にあった計画を策定するために大変重要な調査となりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

令和4年12月

藤井寺市長 岡田 一樹

ご記入に際しての注意事項

1. 記入は、必ず黒か青のボールペンまたは鉛筆でお願いいたします。
2. 回答にあたっては、問1～16はあて名のご本人(調査対象者ご本人)にお答えいただきますが、ご家族の方がご本人の代わりに回答されたり、一緒に回答されてもかまいません。
また、問17～26は主な介護者の方にお答えいただけます。
3. 回答は、あてはまる項目の番号を○で囲んでいただくもの、ご意見を記入していたり、ご意見がないものがあります。
4. 調査票記入後は3つ折りで同封の返信用封筒(切手不要・記名不要)に入れて、12月28日(水)までに郵便ポストへ投函してください。



【調査主体】

藤井寺市 健康福祉部 高齢介護課

TEL:072-939-1164 FAX:072-939-0399

【調査に関する問合先】

株式会社サードパーティリサーチセンター大阪事務所(調査委託先)
フリーダイヤル: 0120-186-189

受付時間: 月～金曜日(土曜・日曜・祝日除く) 午前9時～12時、午後1時～5時

個人情報取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。
なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

— 個人情報の保護および活用目的について —

○この調査は、有効な介護サービスのあるあり方を検討するために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、藤井寺市いきいき長寿プラン策定の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、藤井寺市が適切に管理いたします。

○ただし、藤井寺市いきいき長寿プラン策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する市外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。なお、情報は統計的に処理し、個人を特定することなどは一切いたしません。

この調査票にご回答されるのは、どなたですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 調査対象者様ご本人 | 2. 主な介護者となっている家族・親族 |
| 3. 主な介護者以外の家族・親族 | 4. その他 |

※アンケートのご回答にあたっては、現在の状況についてお答えください。

1 調査対象者様ご本人についてお伺いします

問1:性別はどちらですか。(○は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2:令和4年11月1日現在の年齢はおいくつですか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 65～69歳 | 2. 70～74歳 | 3. 75～79歳 |
| 4. 80～84歳 | 5. 85～89歳 | 6. 90歳以上 |

問3:世帯類型はどのようになっていますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------|-----------|--------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦のみ世帯 | 3. その他 |
|---------|-----------|--------|

問4: 調査対象者様ご本人の要介護度について、ご回答ください。(○は1つ)

1. 要支援1	2. 要支援2	3. 要介護1	4. 要介護2
5. 要介護3	6. 要介護4	7. 要介護5	8. わからない

問5: 要介護認定を初めて申請したとききっかけは何ですか。(○は1つ)

1. 介護保険サービスを受ける必要が生じたため	10. わからない
2. 将来に備えるなど、念のために申し込みをした	
3. 配偶者が要介護認定を受けるので、一緒に受けた	
4. 知り合いが要介護認定を受けているため	
5. 家族から要介護認定を受けよう勧められたため	
6. 医師から要介護認定を受けよう勧められたため	
7. 病气や骨折等で入院し、退院後の見通しがたまたま良かったため	
8. その他()	

問6: 現時点で、施設等への入所・入居を検討されていますか。(○は1つ)

※「施設等」とは、特別介護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別介護老人ホームを指します。

1. 入所・入居を検討していない	2. 入所・入居を検討している	3. すでに入所・入居の申し込みをしている
------------------	-----------------	-----------------------

問7: 調査対象者様ご本人が、現在抱えている傷病はありますか。(○はいくつでも)

1. 脳血管疾患(脳卒中)	2. 心疾患(心臓病)	3. 悪性新生物(がん)
4. 呼吸器疾患	5. 腎疾患(透析)	
6. 筋骨格系疾患(肩こり、腰痛、首こり、肩こり、腰痛、首こり)	8. 変形性関節疾患	9. 認知症
7. 膠原病(関節リウマチ含む)	11. 難病(パーキンソン病を除く)	12. 糖尿病
10. パーキンソン病	13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)	
	14. その他	15. ない
		16. わからない

問8: 認知症の症状がありますか。又はご家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つだけ○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問9: 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つだけ○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問10: 令和4年11月の1か月間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか。(○は1つ)

1. 利用した → 問11	2. 利用していない → 問12
---------------	------------------

★問11は問10において、「1. 利用した」と回答された方にお伺いします。

問11: ①～⑦の介護保険サービスについて、令和4年11月の1か月間の利用状況をご回答ください。(○～⑦のそれぞれに○は1つ)

項目	1週間当たりの平均利用回数				
	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上
①訪問介護(ホームヘルプサービス)	1	2	3	4	5
②訪問入浴介護	1	2	3	4	5
③訪問看護	1	2	3	4	5
④訪問リハビリテーション	1	2	3	4	5
⑤通所介護(デイサービス)	1	2	3	4	5
⑥通所リハビリテーション(デイケア)	1	2	3	4	5
⑦夜間対応型訪問介護(※夜間に訪問のあった回数)	1	2	3	4	5

項目	1か月あたりの利用の有無	
	利用した	利用していない
⑧定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	2
⑨小規模多機能型居宅介護	1	2
⑩看護小規模多機能型居宅介護	1	2

項目	1か月あたりの利用日数			
	月1～7日程度	月8～14日程度	月15～21日程度	月22日以上
⑪ショートステイ	1	2	3	4

項目	1か月当たりの利用回数			
	月1回程度	月2回程度	月3回程度	月4回程度
⑫居宅療養管理指導	1	2	3	4

★問12は問10において、「2. 利用していない」と回答された方にお伺いします。

問12:介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
9. その他()

★ここから再び、全員の方にお伺いします。

問13:現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスは何ですか。(○はいくつでも)

※民間のサービスも含みます。

1. 配食	2. 調理	3. 掃除・洗濯
4. 買い物(宅配は含まない)	5. ゴミ出し	6. 外出同行(通院、買い物など)
7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)	8. 見守り、声かけ	
9. サロンなどの定期的な通いの場	10. その他()	
11. 利用していない		

問14:今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)は何ですか。(○はいくつでも)

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスにも含みます。

1. 配食	2. 調理	3. 掃除・洗濯
4. 買い物(宅配は含まない)	5. ゴミ出し	6. 外出同行(通院、買い物など)
7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)	8. 見守り、声かけ	
9. サロンなどの定期的な通いの場	10. その他()	
11. 特になし		

問15:調査対象者様ご本人は、現在、訪問診療を利用されていますか。(○は1つ)

※訪問診療や居宅療養管理指導等は含みません。

1. 利用している	2. 利用していない
-----------	------------

問16:ご家族やご親族の方(同居していない場合を含む)から週にどのくらい介護を受けていますか。(○は1つ)

1. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない	
2. 週に1~2日ある	
3. 週に3~4日ある	問17へ →
4. ほぼ毎日ある	
5. ない → 質問は終了です	

● ここからは、問16で「1」~「4」(家族や親族の介護を受けている)と回答された方への質問になります。「主な介護者」の方にご回答をお願いいたします。
 ● 「主な介護者」の方のご回答・ご記入が難しい場合は、調査対象者様ご本人にご回答・ご記入をお願いいたします。

2 主な介護者の方についてお伺いします

問17:ご家族やご親族の中で、調査対象者様ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(○はいくつでも)

※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方も含みます。

1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

問18:主な介護者の方は、どなたですか。(○は1つ)

1. 配偶者	2. 子	3. 子の配偶者
4. 孫	5. 兄弟・姉妹	6. その他

問19:主な介護者の方の性別はどちらですか。(○は1つ)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問20:主な介護者の方の令和4年11月1日現在の年齢はおいくつですか。(○は1つ)

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20代 | 3. 30代 |
| 4. 40代 | 5. 50代 | 6. 60代 |
| 7. 70代 | 8. 80歳以上 | 9. わからない |

問21:現在、主な介護者の方が行っている介護等どのようなことですか。(○はいくつでも)

- 〔身体介護〕
- | | | |
|--------------|-------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 | 3. 食事の介助(食べる時) |
| 4. 入浴・洗身 | 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 | 9. 服薬 |
| 10. 認知症状への対応 | 11. 医療面での対応(経管栄養、人工肛門等) | |
- 〔生活援助〕
- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等) | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物物等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |
- 〔その他〕
15. その他() 16. わからない

問22:現在の生活を継続していくにあたって、現在行っていない介護も含め、主な介護者の方が不安に感じる介護等は何ですか。(○は3つまで)

- 〔身体介護〕
- | | | |
|--------------|-------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 | 3. 食事の介助(食べる時) |
| 4. 入浴・洗身 | 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 | 9. 服薬 |
| 10. 認知症状への対応 | 11. 医療面での対応(経管栄養、人工肛門等) | |
- 〔生活援助〕
- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等) | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物物等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |
- 〔その他〕
15. その他()
16. 不安に感じていることは、特になし
17. 主な介護者に確認しないと、わからない

問23:主な介護者の方の現在の勤務形態についてお伺いします。(○は1つ)

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」、「パートタイム」のいずれかを選択してください。

- | | | |
|----------------|-----------------------|-----------|
| 1. フルタイムで働いている | 2. パートタイムで働いている | → 問24へ |
| 3. 働いていない | 4. 主な介護者に確認しないと、わからない | → 質問は終了です |

★問24～26は問23において、「1. フルタイムで働いている」、「2. パートタイムで働いている」と回答された方にお伺いします。

問24:主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。(○はいくつでも)

- | |
|--|
| 1. 特に行っていない |
| 2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、退出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている |
| 3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている |
| 4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている |
| 5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている |
| 6. 主な介護者に確認しないと、わからない |

問25:主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(○は3つまで)

- | |
|----------------------------|
| 1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない |
| 2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実 |
| 3. 制度を利用しやすい職場づくり |
| 4. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など) |
| 5. 働く場所の多様化(在宅勤務、テレワークなど) |
| 6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供 |
| 7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置 |
| 8. 介護をしている従業員への経済的な支援 |
| 9. その他() |
| 10. 特にない |
| 11. 主な介護者に確認しないと、わからない |

問26:主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていくことができると思われますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 問題なく、続けていける | 2. 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3. 続けていくのは、やや難しい | 4. 続けていくのは、かなり難しい |
| 5. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

このアンケート調査票は、同封の返信用封筒(切手不要・記名不要)に入れて、
12月28日(水)までに郵便ポストへ投函してください。

藤井寺市
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
在宅介護実態調査
結果報告書

発行 藤井寺市 健康福祉部 高齢介護課
〒583-8583
大阪府藤井寺市岡1丁目1番1号
電話 072-939-1164
FAX 072-939-0399

令和5年3月